

1996年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 81-7354



1962895

目

次

◇ 日野市教育委員会の教育目標	1
◇ 学校における主な教育推進施策と指導の重点	6
◇ 東京都教育委員会の教育目標	9
◇ 日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点	13
◇ 日野市教育委員会学校教育関係及び日野市立幼・小・中学校（園）行事予定表	14
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	26
◇ 日野市教育委員会研修事業	32
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	38
◇ 日野市教育委員会事務局組織	40
◇ 指導主事事務分担	48
◇ 日野市立教職員研究室	50
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	53
◇ 日野市立小学校科学教育センター	55
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	58
◇ 校長・教頭事業担当一覧	60
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	64
◇ 日野市立小・中学校主任及び担当一覧	66
◇ 研究奨励事業	72
◇ 都教育研究員等一覧	76
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	77
◇ 就職・進学状況の推移	78
◇ 園児・児童・生徒・学級数	79
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	81
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	82
◇ 避難場所と地区割当表	84
日野市立第一幼稚園	85
" 第二 "	86
" 第三 "	87
" 第四 "	88
" 第五 "	89
" 第六 "	90
" 第七 "	91
日野市立日野第一小学校	92
" 日野第二 "	95
" 日野第三 "	98
" 日野第四 "	101
" 日野第五 "	104
" 日野第六 "	107
" 潤 徳 "	110
" 平 山 "	113
" 日野第八 "	116
" 百 草 台 "	119
" 滝 合 "	122
日野市立高幡台小学校	125
" 日野第七 "	128
" 南 平 "	131
" 程久保 "	134
" 旭が丘 "	137
" 平山台 "	140
" 東光寺 "	143
" 三沢台 "	146
" 仲 田 "	149
日野市立日野第一中学校	152
" 日野第二 "	155
" 七 生 "	158
" 日野第三 "	161
" 日野第四 "	164
" 三 沢 "	167
" 大 坂 上 "	170
" 平 山 "	173

日野市教育委員会の教育目標

1. 教 育 目 標

(1) 教育委員会の目標

日野市教育委員会は、日野市民一人一人が、いきいきと心豊かに、生涯を通じて学び続けることを目指し、教育・文化・スポーツの発展に努める。

- ① 自他を尊重する心豊かな人間性をのばす。
- ② たくましく生きる健やかな体をつくる。
- ③ 自ら学び続ける意欲と能力を高める。
- ④ 自然や文化を大切にする態度を養う。
- ⑤ 国際社会に生きる能力と態度を育む。

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ① 幼児・児童・生徒一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性を育むために、学校教育の内容・方法の改善・充実に努め、生涯にわたる学習の基礎を培う教育活動を一層推進する。
- ② 教育施設・設備を充実し、その有効な活用と保全に努め、地域社会の人々へ積極的に開放する。
- ③ 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の主旨を生かし、地域活動の活性化を図る。
- ④ 市民の多様な学習活動を支援するとともに、地域における青少年教育を進める。
- ⑤ 公民館活動及び図書館・ふるさと博物館の資料等の充実とその機能を生かし、市民の学習の機会を拡充する。
- ⑥ スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用に努め、地域の活動組織を育成し、市民の健康づくりを支援する。
- ⑦ 学校教育・家庭教育・社会教育の緊密な連携を図り、地域の自然や文化を愛し大切にする態度の育成に努める。
- ⑧ 地域に住む外国の人々とともに生きる態度の育成に努める。

2. 重点施策

《教育庶務課》

- (1) 教育用管理備品の充実
 - 学校事務のOA化の推進
 - 一体型印刷機のリース化
- (2) 学校施設の充実
 - 校舎棟等の大規模改修工事
 - 災害に強い施設への改善をするための耐震診断・耐震補強工事

《学 務 課》

- (1) 教育効果の向上
 - 小・中学校の教材教具の充実
 - 視聴覚機器の計画的整備
- (2) 学校給食の充実
 - 食事環境の整備と食事内容の多様化、児童・生徒に応じた給食の実施
- (3) 学校保健の改善・充実
 - 諸条件の整備、検診内容及び体制の改善・充実
- (4) 幼児教育の振興
 - 教職員の資質の向上を図るための研修制度の確立
 - 教材教具の充実、教育機器等の計画的整備

《指 導 室》

- (1) 人権尊重教育の推進
 - 体罰やいじめを根絶する
 - 男女平等教育を推進する
- (2) 安全教育の充実
 - 学校事故の防止と防災教育の充実
- (3) 心身障害教育の推進
 - 心身に障害のある児童・生徒への指導の充実と指導法の改善
- (4) 教育相談体制の充実
 - 各学校の教育相談の充実

《教職員研究室》

(1) 教育関係職員の研修

- 教育の内容・指導法及び実技についての研修

(2) 教育方法、情報教育の研究・活用及び資料収集

- 教科等に関する指導方法の研究及び教材教具の開発
- コンピュータ活用方法の研究及び実技研修
- 図書・ソフトの選定や購入、整理、その紹介提供を行う。

(3) 教育相談の充実と推進

- 幼児・児童・生徒の教育上の相談、生活適応に関する相談及び援助を行う。
- 心身に障害のある児童・生徒の適応相談、電話相談を行う。

(4) 健全育成に関する研究

- 生活指導、学校不適応解消に関する協力及び援助を行う。

《社会教育課》

(1) 成人教育の充実

- 市民の多様化、高度化する要望に応える学習機会の充実
- 高齢化社会に対応する学習機会の充実
- 家庭教育の推進と学習機会の充実
- 文化活動の推進と文化団体の育成・援助による市民文化の向上

(2) 青少年教育の振興

- 地域における青少年教育の推進
- 青少年の学習機会の充実と指導者育成
- それぞれの障害に応じた教育の充実
- 青少年が企画・立案・実施できる事業への援助
- 青少年団体への援助
- 学校週5日制に伴う地域活動の振興

(3) 文化財保存事業の推進

- 文化遺産の調査・保存とその活用を図り、郷土に対する理解の高揚
- 埋蔵文化財整理保管室の活用の推進
- ふるさと博物館との相互協力の推進
- 市史の発行

《体 育 課》

(1) 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動組織の育成

(2) 自然環境を生かした体育事業の推進

(3) 指導者の育成と指導体制の充実

(4) 各種スポーツ教室の開設

(5) 市民大会の開催

(6) 市民が気軽に参加できる健康・体力づくり行事の開催

(7) 施設の整備・充実と有効活用

《公 民 館》

(1) 市民の学習・生活課題をとらえ、自主的な地域づくりを進める各種事業の展開

(2) 市民が自由に進んで活動し、交流を深めるために必要な運営体制の整備

(3) 市民の学習活動を援助・促進するため、情報提供と相談業務の充実

(4) 市内各地域における関連施設と連携する公民館事業の推進

- (5) 障害児・者と健常児・者との、共に生き学び合う機会を保障し、相互理解の推進
- (6) 国際理解を推進し、交流を深めるための事業の展開
- (7) 恒久の平和を願い、各種平和事業の展開
- (8) 公民館が歩んだ30年の歴史を検証し、明日の公民館像の創造

《図 書 館》

- (1) 市民に役立つ資料の収集と提供
- (2) 児童サービスの充実
- (3) 障害者サービスの充実
- (4) 視聴覚資料の充実
- (5) レファレンス、郷土・行政資料の充実
- (6) 図書館サービス網の充実

《ふるさと博物館》

- (1) 常設展示の充実
- (2) 企画展「原始・古代の日野」の開催
- (3) 企画コーナーの充実
- (4) 学校教育との連携推進
- (5) 教育普及活動の充実
- (6) レファレンスコーナーの充実
- (7) 移動博物館（博物館巡回展）の充実
- (8) 資料の調査・収集・分類調査及び研究
- (9) 文化財保存活動
- (10) 広報活動

学校における主な教育推進施策と指導の重点

【主な教育推進施策】

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進する。

1. 人権尊重の教育の推進

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するために、学校のエ育活動全体を通して、人権尊重の教育を行い、あらゆる偏見や差別の根絶に努める。

各学校においては、全教育活動を通して人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、互いに認め合い、支え合い、励まし合うなど人権を尊重する態度を育む。

また、道徳教育や人間としての在り方生き方にかかわる指導を充実するとともに、男女平等の教育を推進する。

2. 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するために、郷土を愛する心を培い、地域社会の一員としての自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を育てる。

各学校においては、家庭・地域・関係諸機関等との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育を推進し、児童・生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を育む。

また、社会人講師の活用や、地域の自然・文化を積極的に教育活動に取り入れるなど、指導内容・方法を改善し、社会性を育む教育を推進する。

3. 環境教育の推進

地球上の全ての生命の生存と尊厳に重大な影響をもたらす事象に関心をもちその保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加する態度を育てる。

各学校においては、児童・生徒が全教育活動を通して、自然をいつくしむ心を育てるとともに、環境の保護や改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。

また、日常の教育活動において、環境副読本「美しいまち日野」の活用を図るなど、環境教育を推進する。

4. 国際理解教育の推進

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童・生徒を育成するために我が国と諸外国との生活や文化の相違を理解し、これを尊重する態度を育むとともに、コミュニケーション能力の育成に努め、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てる。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割について主体的に学ぶ態度

を育む。

また、全教育活動を通して異文化理解の機会や、国際的な交流の機会を生かして、さまざまな人々とのふれあいを通して、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。

【指導の重点】

各学校では、教育研究・研修を充実し、教師一人一人が識見や指導力を高め教育活動を充実するとともに、家庭・地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育活動を展開する。

さらに、次のことを日常的教育における指導の重点として、学校教育の一層の充実・向上に努める。

1. 学習指導の改善・充実

各学校においては、次の点に重点をおいて、個に応じた指導や体験的な活動を重視するなど、指導内容・方法並びに評価の改善を進め、各教科等の基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、柔軟な思考力や創造力、表現力を育成するなど、生涯を通して学び続ける意欲と態度を育む。

- (1) 学校評価を年間を通して計画的に実施し、自校の年間指導計画を生かして計画的・組織的に教育活動を展開する。
- (2) 小集団による個を生かす学習活動、ティーム・ティーチングによる学習指導、体験を基にした学習活動、地域の素材を生かした指導など、児童・生徒の学習過程に視点をいた実践・研究を行う。
- (3) 指導内容・方法、指導形態を創意工夫し、児童・生徒の側に立った学習指導を行うなど、各教科等の特性を生かし、自ら学ぶ意欲や生涯を通じて学び続ける基礎を培う学習指導を積極的に行う。
- (4) 積極的に教育機器や、学校図書館を活用し、情報を選択し活用する能力を高める学習活動を行う。

2. 生活指導・進路指導の充実

各学校においては、次の点に重点をおいて児童・生徒が生き生きと意欲的に生活することができるよう、教育相談を積極的に進め、一人一人の児童・生徒のよさを深く理解し指導・援助するなど、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う。

- (1) 学級経営の充実に努め、一人一人の児童・生徒の自己存在感を高める指導を計画的・継続的にを行い、互いに認め合い、励まし合い、支え合う態度を育成する。
- (2) 学級活動等の指導内容・方法を創意工夫し、児童・生徒が自己理解を深めて、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を育成する。
- (3) 児童・生徒の奉仕的な活動など、社会活動への参加を一層促進し、地域社会の一員としての自覚を高める。
- (4) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、人と人との関わりを重視した指導の徹底に努め、健全な児童・生徒を育成する。

3. 健康・安全指導の充実

各学校においては、計画的・組織的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を

徹底させ、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育成する。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 全教育活動を通して、性教育を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性やエイズに関する理解を深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう指導・援助する。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。
- (4) 多様な事態を想定した避難訓練等を計画的に実施し、学校における震災等に対する安全指導を徹底するとともに、学校の防災計画の周知徹底を図る。

4. 心身障害教育の充実

各学校においては、交流教育や理解教育を積極的に進めるとともに、個別的教育プログラムによる指導の展開等の研究を深め、心身障害教育を充実する。

- (1) 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に即した交流教育を推進する。
- (3) 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実する。
- (4) 児童・生徒理解を基に個別教育プログラムを作成し、小集団による指導や個別の指導など、指導内容・方法を創意工夫し、一人一人の発達課題に即した指導を行う。

5. 幼児教育の充実

各幼稚園においては、幼児教育にかかわる研究・研修を充実し、幼児一人一人の発達にともなう課題を適切にとらえ、豊かな人間性を育む教育内容・方法の改善・充実に努め、人間形成の基礎となる心情、意欲、態度を育む。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達の筋道をふまえ、教育内容・方法を工夫・改善し、幼児一人一人が十分に自己を発揮して活動できるようにする。
- (2) 身近な人と積極的にかかわる活動などを通して、基本的な生活習慣や社会性を育み、人間としての在り方生き方の基礎を育成する。
- (3) 地域の特性を生かした教育活動を充実することや、幼児の興味や関心、意欲を大切に十分遊び込める環境を用意して、豊かな感性を育み、表現力や人とかわる力を高める。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者、地域社会との連携を図り、家庭や地域社会に開かれた幼稚園教育を展開し、幼児の健全な育成に努める。

※学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、子どもたちが、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民として成長することを願い、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図り、もって、普遍的でしかも個性豊かな文化の創造と豊かな社会の形成に貢献することを期して、教育の推進を図る。

「東京都教育委員会の基本方針」

東京都教育委員会は、「教育目標」を達成するため、以下の「基本方針」及び当面の教育行政の課題と施策の方向に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針 1 人権尊重の教育の推進】

日本国憲法及び教育基本法に基づき、また児童の権利に関する条約等の趣旨を尊重して、学校教育活動と社会教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくすため、人権尊重の教育を推進する。

- (1) 人権尊重の精神のもとに、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育を推進するとともに、すべての都民が人権尊重の精神を培い、同和問題をはじめ人権問題への正しい理解と認識を深めることができるよう努める。
- (2) 障害のある人が社会の一員として平等に活動できる社会の実現を目指し、相互理解と連帯感をはぐくむ教育を推進する。
- (3) 男女平等観に立った人間形成と社会的風土づくりを目指し、男女平等教育を推進する。
- (4) 人種、民族等を異にすることによって、人権が損なわれることのないよう、人権尊重を基盤とした国際理解教育を推進する。

【基本方針 2 生涯学習の振興】

都民が、生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を実現するため、生涯学習の基盤整備を図る。

- (1) 都民の生涯学習を総合的に支援できるよう、学習のための諸施設の整備・活用、情報の提供・相談、指導者の養成、学習機会の拡充等の条件整備を図るとともに、区市町村、民間機関、大学等の多様な生涯学習関連機関との相互のネットワーク化を推進する。
- (2) 都民が学習成果を生かし地域社会や国際社会等で行うボランティア活動等を支援できるよう、情報の収集・提供や相談等の充実を図る。
- (3) 体育施設や教室等の地域開放、余裕教室の有効活用を進めるとともに、公開講座を実施するなど、学校の教育機能を地域の人々に積極的に開放し、地域における生涯学習の拠点として開かれた学校づくりを推進する。
- (4) 学校週5日制の趣旨を生かし、学校・家庭・地域社会それぞれの教育機能の充実と相互の連携の強化を図る。

【基本方針 3 児童・生徒の健全育成の推進】

いじめをなくし、子どもたちが、人間性豊かな社会の形成者として健やかに成長できるよう、区市町村、関係機関と協力し、学校・家庭・地域社会の緊密な連携のもとに、すべての子どもたちの「心とからだの健康づくり」の推進を図る。

- (1) 人権尊重の精神の育成、基本的な生活習慣の育成、社会性・道徳性の育成、健康の保持・増進を視点として、児童・生徒の健全育成のための施策の総合的・体系的推進を図る。
- (2) 子どもたちが、生活体験や自然体験などを通して、豊かな人間関係をはぐくんでいくことができるよう、多様な活動の機会や場の充実を図り、教育環境の整備に努める。
- (3) いじめ、登校拒否（不登校）や中途退学などの課題に対応し、学校における生活指導等を充実するとともに、いじめや登校拒否（不登校）に関する相談、就学・進路に関する相談等を含めた総合的な教育相談機能の整備・充実を図る。

【基本方針 4 個性を生かす学校教育の充実】

児童・生徒が、生涯を通じて社会の変化に主体的に対応して成長できるよう、基礎・基本の徹底と、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の資質・能力の育成を重視して、一人一人の個性を生かす教育の充実を図る。

- (1) 児童・生徒の特性や進路希望の多様化等に対応し、個性を重視した多様な教育を推進する。高校においては、多様で弾力的な教育課程の編成を図るとともに、総合学科や単位制等の新しいタイプの高校の設置など学校の個性化・特色化の推進、教職員配置や施設設備等の教育諸条件の整備と併せて、学校の規模・配置の適正化を図るなど、都立高校の改革を積極的に推進する。
- (2) 児童・生徒の健康づくりを進めるとともに、生涯を通じて運動を実践できる基礎を培うため学校における体育・スポーツの充実を図る。
- (3) 心身に障害のある児童・生徒が、その能力・特性等を最大限に伸ばし成長・発達していけるように、それぞれの障害及び発達の状態に応じた適切な教育環境を整備し、心身障害教育の充実を図る。
- (4) 情報化、国際化、高齢化、環境問題など、社会の大きな変化にかかわる現代的課題について、児童・生徒が関心をもち認識を深めることができるよう、情報教育、国際理解教育、福祉教育、環境教育、消費者教育、安全教育などを推進する。
- (5) 教職員の資質・能力の向上、学校内の指導体制の確立を図るとともに、家庭や地域社会と連携して開かれた学校経営の充実に努める。

- (6) 多様な教育活動や地域住民の利用、さらに災害時における学校の役割に配慮して、学校施設の整備を計画的に推進する。

—【基本方針 5 多様な学習機会を提供する社会教育の充実】—

都民が、生涯の各時期にわたって多様な学習機会を選択して学ぶことができるよう、学習の機会や場を提供するなど、社会教育の充実を図る。

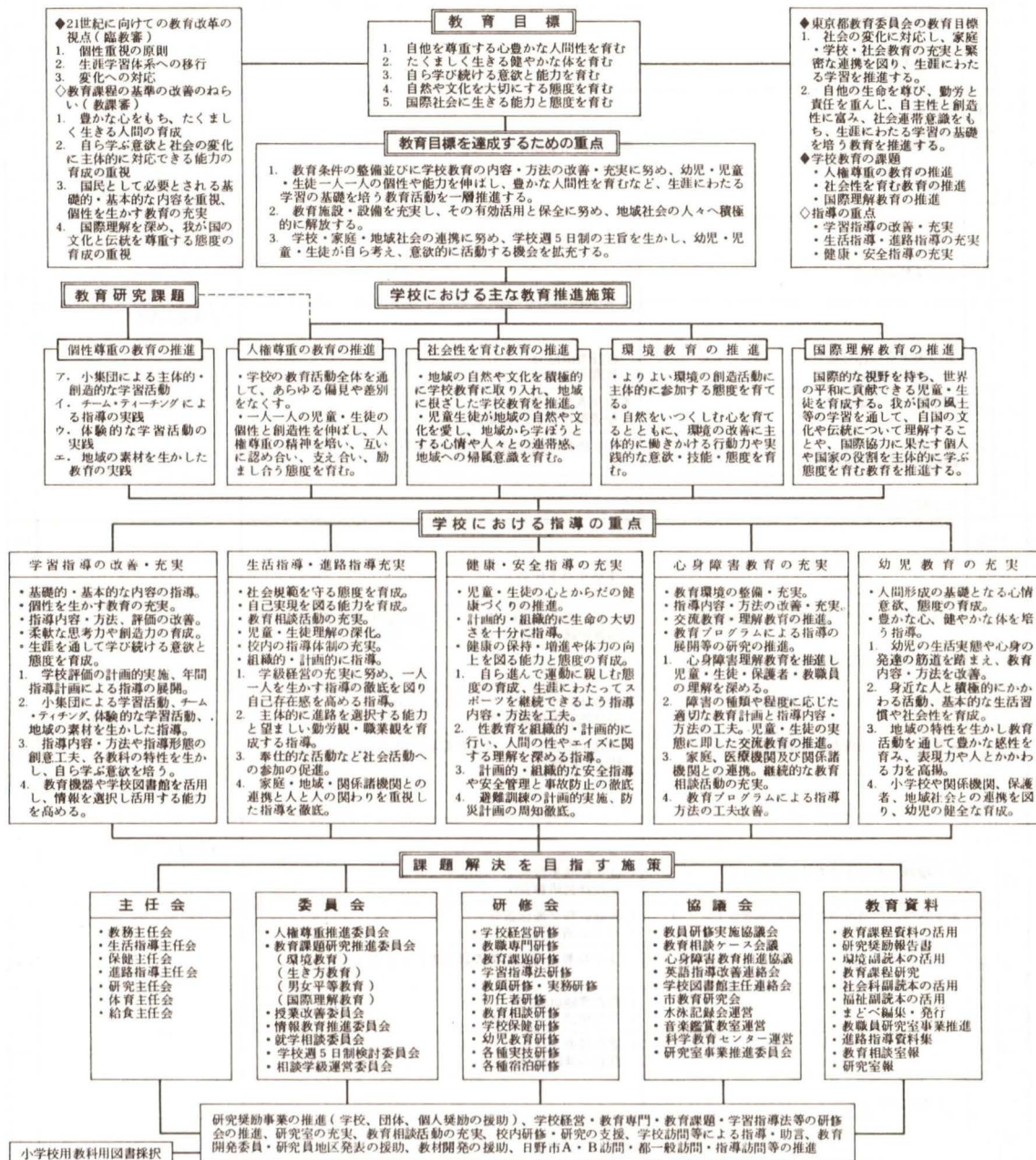
- (1) 情報化、国際化、高齢化、環境問題などの現代的な課題について、都民が関心を持ち認識を深めることができるよう、学習の機会や場を提供する。
- (2) 情報化、国際化や都民の学習ニーズの多様化・高度化に対応して社会教育施設の整備を進め、図書館のネットワーク化を推進するなど都民の学習活動の利便の向上を図る。
- (3) 関係機関・関係団体との連携のもとに、家庭教育に関する情報や多様な学習・交流の機会を提供するなど、家庭教育の支援に努める。

—【基本方針 6 文化・スポーツ・レクリエーションの振興】—

都民が、生涯を通じて文化・スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、活動の機会や場を提供するなど支援を行う。

- (1) 東京の自然と歴史によって培われてきた貴重な文化遺産を継承し、新しい文化を創造し発展させていくために、博物館・美術館・ホール等の文化施設の整備を図るとともに、様々な鑑賞の機会と文化の創造・交流の場の拡充に努める。
- (2) 都民の健康づくり、生きがいづくりを進め、スポーツ・レクリエーションの振興を図るため、楽しむスポーツから競技スポーツまでを含めて、スポーツ施設の整備・活用、指導者の養成、活動組織の育成等に努める。

日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点



1996年度 日野市教育委員会学校教育関係及び日野市立幼・小・中学校(園)行事予定表

1996年4月1日

4 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 月	△初任者研修①()	新補、転補校長教頭辞令伝達式		1
2 火	一般職員辞令伝達式			2
3 水	再雇用嘱託員辞令伝達式			3
4 木	△校長会()			4
5 金	△園長会()	●二地区指導連絡会(町田)	春季休業・終	5
6 土	△小学校入学式		△小・中学校始業式 △小学校入学式	6
7 日				7
8 月	△中学校入学式			8
9 火			△幼稚園入園式	9
10 水	▲指導主事連絡協議会() △幼稚園入園式	○日野教研部会 ○養護教諭会()		10
11 木	▲学校訪問協議会()	《定例教育委員会》 転退職校長教頭感謝式		11
12 金	△教頭会() ■都市指導主事会総会()	○小学校教育課程編成資料作成委員会総会()		12
13 土	(土曜休業日)			13
14 日				14
15 月		○生活指導主任会()		15
16 火	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会()	○学校図書主任連絡会() ○心障教推進協議会(三小) ○福祉副読本改訂委員会() ○給食主任会		16
17 水	△教育課題研究推進委員会役員会()			17
18 木	▲多摩地区指導主事連絡協議会()	○教務主任会() ○栄養士連絡会() ○英語指導改善委員会()	ハケ岳移動教室実地踏査	18
19 金	▲教員研修担当指導主事連絡協議会()	○保健主任会() 日光移動教室第1回担当者会 ○初任者研修②	↓	19
20 土				20
21 日			修学旅行(一中)	21
22 月	△人権尊重教育推進委員会役員会()	○就学相談委員会() ○学校経営研修会①()		22
23 火	▲生活指導担当指導主事連絡協議会()	○教職研修実施協議会() ○授業改善委員会()	↓	23
24 水		○中学校教科用図書調査研究委員会総会()		24
25 木		○教育課題研修①() ○教育相談ケース会議()		25
26 金		○進路指導主任会() ○教育相談研修会①()		26
27 土	(土曜休業日)			27
28 日				28
29 月	みどりの日			29
30 火			開校記念日(二中)	30
備考				

5 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ●：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水		○学校経営研修会② ○学校週5日制検討委員会（ ）	開園記念日（三幼）	1
2	木	▲二地区指導連絡会（日野） △園長会			2
3	金	憲法記念日			3
4	土	国民の休日			4
5	日	こどもの日			5
6	月	振替休日			6
7	火	△校長会（ ）	○心身障害教育推進協議会（五小） ○教育課題研修会②（ ）○人権尊重教育推進委員会		7
8	水	■区市指導主事研究会議（ ）	○日野教研総会 ○教育課題研修会②（ ）	□移動教室（仲山小）	8
9	木	▲同和教育指導推進委員会（ ）		↓開校記念日（一中） □移動教室（一小）日光実路	9
10	金		○教育課題研究推進委員会全体会（ ）	↓開園記念日（二幼） 開校記念日（平山小）	10
11	土	（土曜休業日）			11
12	日			開校記念日（潤徳小）	12
13	月	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○生活指導主任会（ ） ○相談学級運営協議会（ ）	□移動教室（二小）	13
14	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ） ▲人権尊重教育推進校委員会（ ）	○給食主任会（ ） ○研究主任会＋教職専門研修会①（ ）	↓	14
15	水		○中・教研総会 ○夏季体育大会（小） ○教職員互助会評議員会		15
16	木	B訪問（第五幼稚園）		□移動教室（四小）	16
17	金	▲国際理解教育＋在日外国人児・生教育連絡協議会（ ） △教頭会（ ）	○進路指導主任会（ ）○養護教諭会（ ） ○初任者研修指導教員連絡会（ ）	↓ □移動教室（五小）	17
18	土			↓	18
19	日				19
20	月		○中学校生活指導主任会（ ） ○初任者研修③＋学習指導法研修会①（ ）	□移動教室（六小）	20
21	火	▲都市指導主事会（ ）	○学校経営研修会③（ ） ○授業改善委員会＋研究奨励費受給者説明会（ ）	↓ □移動教室（潤徳小）	21
22	水			□移動教室（平山小）	22
23	木	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）	○教務主任会（ ） ●多摩地区健全育成行政連絡会（ ）○栄養士連絡会	□移動教室（八小）	23
24	金	▲消費者教育・環境教育推進委員会（ ）		↓	24
25	土	（土曜休業日）		開園記念日（一幼）	25
26	日			修学旅行（大坂上中）	26
27	月	A訪問（南平小学校）		□移動教室（百草台小）	27
28	火		○小学校体育主任会（ ）	↓ □移動教室（滝合小）	28
29	水	B訪問（旭が丘小学校）		↓開園記念日（六幼） □移動教室（高幡小）	29
30	木	A秒間（第二幼稚園）		↓ □移動教室（七小）	30
31	金	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○教育相談研修会②（ ）	↓修学旅行（四中） □移動教室（南平小）	31
備考		体育祭 中学校 … 5/19(日) 三中			

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 土			↓ 開校記念日（滝台、百草台、七生）	1
2 日			修学旅行（七生中） 修学旅行（二中）	2
3 月		○生活指導主任会＋教職専門研修会②（ ）	□移動教室（程久保小）	3
4 火	△校長会（ ）	○学校経営研修会④（ ） ○心身障害教育推進協議会（平山台小）	↓ 修学旅行（三中） □移動教室（旭が丘小）	4
5 水	B訪問（日野第五小学校）		↓ □移動教室（平山台小）	5
6 木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○教育課題研究推進委員会分科会	↓ □移動教室（東光寺小）	6
7 金	△園長会（ ） ▲二地区指導連絡会（多摩）	○保健主任会＋教職専門研修会③（ ） ○人権尊重教育推進委員会（ ）	↓	7
8 土	（土曜休業日）			8
9 日			開校記念日（五小）	9
10 月			開校記念日（三小） □移動教室（三沢台小）	10
11 火	▲都市指導主事会（ ）	○教育相談研修会③（ ） ○給食主任会（ ） ○教職研修実地協議会（ ）	↓	11
12 水	都一般＋B訪問（七生中学校）	○日野教研部会 ○中教研究日	修学旅行（平山中） 修学旅行（三沢中）	12
13 木	▲学校不適応対策連絡協議会（ ）	○学校経営研修会⑤（ ） ○小学校水泳記録会運営委員会	↓	13
14 金	△教頭会（ ）	○多摩地区生活指導研究協議会（ ） ○初任者研修④＋学習指導法研修会②（ ）	↓	14
15 土				15
16 日				16
17 月	□進路指導主任宿泊研修会（ ）			17
18 火	□進路指導主任宿泊研修会	○教育課題研修会③（ ） ○養護教諭会（ ）		18
19 水	都一般＋B訪問（第三幼稚園）			19
20 木		○教務主任会＋教職専門研修会④（ ） ○栄養士連絡会（ ）		20
21 金		○授業改善委員会（ ）		21
22 土	（土曜休業日）			22
23 日				23
24 月	A訪問（三沢台小学校）		開校記念日（二小、高幡台小） 日光移動教室（一班）	24
25 火	▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ） ▲教員研修担当指導主事連絡協議会（ ）	夏季体育大会（中）	↓	25
26 水	都一般＋B訪問（程久保小学校）		↓ 日光移動教室（二班）	26
27 木	▲福祉教育推進委員会（ ） □生活指導主任宿泊研修会（ ）	○初任者研修⑤＋教育課題研修会④（ ）	↓	27
28 金	□生活指導主任宿泊研修会 ▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）		↓ 日光移動教室（三班）	28
29 土				29
30 日			↓ 開園記念日（七幼） 開園記念日（六小）	30
備考	運動会 小学校 … 6/ 2(日) 三小、八小 体育祭 中学校 … 6/ 1(土) 平山中 6/ 8(土) 大坂上中 6/16(日) 一中			

7 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 月	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○教育相談ケース会議（ ）		1
2 火	△校長会（ ）	○小学校体育主任会（ ）○中学校水泳記録会運営委 ○心身障害教育推進協議会（百草台小）		2
3 水	都一般＋B訪問（百草台小学校）	○日野教研部会		3
4 木	▲人権尊重教育推進校委員会（ ）	○人権尊重教育推進委員会（ ） ○就学相談委員会		4
5 金	△園長会▲心身障害教育担当指導主事連絡 □教務主任宿泊研修会（ ）協議会	○相談学級運営協議会（ ）		5
6 土	□教務主任宿泊研修会			6
7 日				7
8 月		○生活指導主任会（ ） ○初任者研修⑥（ ）		8
9 火	▲同和教育指導推進委員会（ ）			9
10 水	都一般＋B訪問（日野第一小学校）	○中教研究日		10
11 木	▲都市指導主事会（ ）	○給食主任会（ ） ○栄養士連絡会（ ）		11
12 金	▲指導主事連絡協議会（ ） △教頭会（ ）	●二地区指導連絡会（先進校訪問） ○学校経営研修会⑥（ ）○養護教諭会（ ）		12
13 土	（土曜休業日）			13
14 日				14
15 月		○中学校生活指導主任会（ ）		15
16 火				16
17 水				17
18 木				18
19 金			△小・中学校終業式	19
20 土	海の記念日			20
21 日			（夏季休業・始）	21
22 月	△初任者研修⑦（ ）	○初任者研修⑧（ ）		22
23 火	□初任者研修・宿泊研修会①＋2年次教員 宿泊研			23
24 水	□初任者研修・宿泊研修会②＋2年次教員 宿泊研	□科学教育センター夏季講座1		24
25 木	□初任者研修・宿泊研修会③	□科学教育センター夏季講座2		25
26 金	□初任者研修・宿泊研修会④	□科学教育センター夏季講座3		26
27 土				27
28 日				28
29 月				29
30 火				30
31 水				31
備 考				

8 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	木				1
2	金				2
3	土				3
4	日				4
5	月				5
6	火				6
7	水				7
8	木				8
9	金				9
10	土				10
11	日				11
12	月				12
13	火				13
14	水				14
15	木				15
16	金				16
17	土	□研究員御岳研究集会（小学校）			17
18	日				18
19	月	□ □研究員御岳研究集会（中学校）			19
20	火				20
21	水				21
22	木	△初任者研修⑨（ ）	○初任者研修⑩（ ）		22
23	金	△初任者研修（ ）	○教育課題研修会⑤+初任者研修＝（ ）		23
24	土				24
25	日				25
26	月				26
27	火				27
28	水				28
29	木				29
30	金		●都市指導主事会（ ）		30
31	土			（夏季休業・終）	31
備 考					

9 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	日				1
2	月			二学期始業式	2
3	火	△校長会()			3
4	水	▲学校訪問協議会()	中学校水泳記録会		4
5	木	▲同和教育指導推進委員会() △人権尊重教育推進委員会役員会()	小学校水泳記録会(川南ブロック)		5
6	金	△園長会()	小学校水泳記録会(川北ブロック)		6
7	土				7
8	日				8
9	月	▲消費者教育・環境教育推進委員会()	○生活指導主任会() ○学習指導法研修会③+ 初任者研修()		9
10	火	▲多摩地区指導主事連絡協議会()	○保健主任会() ○心身障害教育推進協議会(大坂上中) ○進路指導主任会() ○給食主任会()		10
11	水		○日野教研部会 ○中教研研究日		11
12	木	▲心身障害教育担当指導主事連絡会() ▲人権教育推進校委員会() ▲二地区指導連絡会	○多摩地区生活指導研究協議会() ○研究主任会() ○養護教諭会()		12
13	金	▲生活指導担当指導主事連絡協議会()	○授業改善委員会()		13
14	土	(土曜休業日)			14
15	日	敬老の日			15
16	月	振替休日		開校記念日(三沢中)	16
17	火	▲都市指導主事会()	○小学校体育主任会() ○英語指導改善委員会()		17
18	水				18
19	木	▲学校不応対策連絡協議会()	○栄養士連絡会()		19
20	金	▲国際理解教育+在日外国人児・生教育連絡() △教頭会()	○教育相談研修会④() ○就学相談委員会		20
21	土				21
22	日				22
23	月	秋分の日			23
24	火	A訪問(日野第三中学校)			24
25	水	B訪問(日野第八小学校)			25
26	木	▲男女平等教育推進委員会()	○教務主任会()		26
27	金	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会()			27
28	土	(土曜休業日)			28
29	日				29
30	月				30
備 考		運動会 小学校 … 9/22(月) 百草台小、旭が丘小 9/29(日) 四小、六小、平山小、高幡台小、程久保小、平山台小、東光寺小、仲田小 9/28(土) 七小 体育祭 中学校 … 9/20(金) 二中 9/21(土) 四中 9/28(土) 七生中、三沢中			

10月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	火	都民の日			1
2	水	△校長会（ ）		開校記念日（三中、平山中）	2
3	木	A訪問（日野第二中学校）			3
4	金	△園長会 ▲都市指導主事会（ ）	○学習指導法研修会④+ 初任者研修（ ） ○人権尊重教育推進委員会（ ）		4
5	土				5
6	日				6
7	月	A訪問（日野第一中学校）			7
8	火	▲指導主事連絡協議会（ ）	○心身障害教育推進協議会（七生中）		8
9	水		○日野教研部会 ○中教研研究日		9
10	木	体育の日			10
11	金	▲教員研修担当指導主事連絡協議会（ ）			11
12	土	（土曜休業日）			12
13	日				13
14	月	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○生活指導主任会（ ） ○教育相談ケース会議（ ）		14
15	火	▲二地区指導連絡会（町田）	○教育課題研究推進委員会分科会（ ） ○給食主任会（ ）		15
16	水	B訪問（東光寺小学校）			16
17	木		●多摩地区健全育成行政連絡会議（ ） ○授業改善委員会（ ）○養護教諭会（ ）		17
18	金	△教頭会（ ）	○進路指導主任会（ ） ○教育相談研修会⑤（ ）		18
19	土		○就学相談委員会（ ）		19
20	日			開校記念日（程久保小）	20
21	月	A訪問（平山小学校）			21
22	火		○教育課題研修会⑥（ ） ○栄養士連絡会（ ）		22
23	水				23
24	木	■同和教育指導推進委員会視察（ ）	○教務主任会（ ）		24
25	金	■同和教育指導推進委員会視察	●在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ）		25
26	土	（土曜休業日）			26
27	日				27
28	月		○中学校生活指導主任会（ ） ○教職研修実施協議会（ ）		28
29	火	A訪問（大坂上中学校）			29
30	水	B訪問（平山中学校）			30
31	木	▲男女平等教育推進委員会（ ）			31
備 考		運動会 小学校… 10/ 6 一小、二小、五小、調穂小、滝合小、南平小、三沢台小 幼稚園… 10/10 全幼稚園			

11 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	金	▲都市指導主事会()	○保健主任会()	開園・開校(四幼、五幼、四小、八小)	1
2	土			開校記念日(大坂上中)	2
3	日	文化の日			3
4	月	振替休日			4
5	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会() △校長会()	○人権尊重教育推進委員会()		5
6	水	都一般+B訪問(日野第六小学校)	○中教研究日		6
7	木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会()			7
8	金	▲人権尊重教育推進委員会()	○学校図書主任連絡会()		8
9	土	(土曜休業日)			9
10	日				10
11	月	▲消費者教育・環境教育推進委員会()	○生活指導主任会+教職専門研修会⑤()		11
12	火	A訪問(滝合小学校)	○養護教諭会() ○給食主任会()		12
13	水	B訪問(三沢中学校)	○日野教研部会		13
14	木	▲二地区指導連絡会(日野) △園長会()	○教育課題研究推進委員会分科会()		14
15	金		○家庭裁判所連絡会 ○授業改善委員会()		15
16	土		○就学相談委員会()		16
17	日				17
18	月		○相談学級運営協議会()		18
19	火	A訪問(日野第四小学校)			19
20	水	B訪問(潤徳小学校)			20
21	木	▲進路指導担当指導主事連絡協議会()	○教務主任会+教職専門研修会⑥() ○心身障害教育推進協議会(都七養) ○栄養士連絡会		21
22	金	△教頭会()	○進路指導主任会() ○学習指導法研修会⑤+初任者研修()	開校記念(南平、旭が丘、東光寺、平山台、仲田、四中)	22
23	土	勤労感謝の日			23
24	日				24
25	月	A訪問(仲田小学校)			25
26	火	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会()	○小学校体育主任会() ○教育相談研修会⑥()		26
27	水	B訪問(日野第七小学校)			27
28	木	A訪問(日野第四中学校)			28
29	金	A訪問(平山台小学校)			29
30	土				30
備 考		学芸会 11/15、16(金)(土) 一小、平山小、百草台小、三沢台小 11/15、17(金)(日) 東光寺小 11/16、17(土)(日) 高幡台小、旭が丘小 音楽会 11/15、16(金)(土) 四小、仲田小 展覧会 11/15、16(金)(土) 五小、六小、潤徳小、八小、七小、南平小 11/16(土) 二小 11/16、17(土)(日) 平山台小			

12 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	日				1
2	月	A訪問（日野第二小学校）			2
3	火	△校長会（ ）	○心身障害教育推進協議会（三小）		3
4	水	△人権尊重教育推進委員会役員会（ ） 都一般＋B訪問（日野第三小学校）	○日野教研部会		4
5	木	▲学校不適応対策連絡協議会（ ） ▲福祉教育推進委員会（ ）			5
6	金	△園長会（ ） ▲二地区指導連絡会（多摩）	○初任者研修会（ ） ○教育課題研究推進委員会分科会（ ）	国工展	6
7	土		○就学相談委員会（ ）	国工展	7
8	日				8
9	月	▲同和教育指導推進委員会（ ）	○生活指導主任会（ ） ○教育相談ケース会議（ ）		9
10	火	A訪問（高幡台小学校）	○給食主任会（ ）		10
11	水		○中教研究日		11
12	木		○教務主任会（ ） ○養護教諭会（ ） ●都市指導主事会（ ） ○栄養士連絡会（ ）		12
13	金	△教頭会（ ）	○教職研修実施協議会（ ）		13
14	土	（土曜休業日）			14
15	日				15
16	月		○中学校生活指導主任会（ ）		16
17	火	A訪問（第六幼稚園）			17
18	水	▲指導主事連絡協議会（ ）			18
19	木				19
20	金				20
21	土				21
22	日				22
23	月	天皇誕生日			23
24	火				24
25	水			△小・中学校修業式	25
26	木			（冬季休業日・始）	26
27	金				27
28	土				28
29	日				29
30	月				30
31	火				31
備	考				

1 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水				1
2	木				2
3	金				3
4	土				4
5	日				5
6	月				6
7	火			（冬季休業・終）	7
8	水				8
9	木	△園長会（ ）	●二地区指導連絡会（稲城）		9
10	金	▲幼・小・中・教育課程届説明会（ ） ▲多摩地区指導主事連絡協議会（ ）	○保健主任会（ ） ○進路指導主任会（ ）		10
11	土	（土曜休業日）			11
12	日			移動教室（七生中）	12
13	月	△校長会（ ）		移動教室（二中）	13
14	火	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）	○心身障害教育推進協議会（平山台小） ○英語指導改善委員会（ ）	↓	14
15	水	成人の日		移動教室（三沢中） 移動教室（四中）	15
16	木		○中教研研究日	↓ 移動教室（平中）	16
17	金	△教頭会（ ）	○授業改善委員会（ ） ○給食主任会（ ）	↓	17
18	土		○就学相談委員会（ ）	↓ 書き初め展	18
19	日			書き初め展	19
20	月		○生活指導主任会（ ） ○学習指導法研修会⑥+ 初任者研修（ ）		20
21	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ）		移動教室（三中）	21
22	水		○日野教研部会	↓	22
23	木	▲国際理解教育+ 在日外国人児・性教育連協 ▲人権尊重教育推進校委員会（ ）（ ）	○研究主任会（ ） ○教務主任会（ ） ○栄養士連絡会（ ）		23
24	金	▲都市指導主事会（ ）	○養護教諭会（ ） ○相談学級運営協議会（ ）		24
25	土	（土曜休業日）			25
26	日				26
27	月				27
28	火	▲二地区指導連絡会（八王子）	○教育課題研究推進委員会分科会（ ）		28
29	水				29
30	木	▲男女平等教育推進委員会（ ）			30
31	金				31
備 考					

2 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 土				1
2 日				2
3 月	△校長会（ ）	○生活指導主任会（ ） ●消費者教育・環境教育推進委員会（ ）		3
4 火		○心身障害教育推進協議会（百草台小） ○初任者研修会（ ）	音楽鑑賞教室	4
5 水	都一般＋B訪問（第七幼稚園）	○冬季体育大会	↓	5
6 木	▲学校不応対策連絡協議会（ ） ▲教員研修担当指導主事連絡協議会（ ）	○教育課程届出説明会：心障 2:00～ 小・中 3:00～		6
7 金	△園長会（ ）	○教育課程届出説明会：幼稚園 3:00～		7
8 土（土曜休業日）				8
9 日				9
10 月			開校（一小、三沢台小）	10
11 火	建国記念日			11
12 水		○中教研発表会		12
13 木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）			13
14 金	△教頭会（ ） ▲都市指導主事会（ ）	○学校図書主任連絡会（ ） ○授業改善委員会（ ）		14
15 土				15
16 日				16
17 月		○教育相談ケース会議（ ）		17
18 火		○人権尊重教育推進委員会（ ）	移動教室（一中）	18
19 水		○日野教研発表会	↓	19
20 木	▲同和教育指導推進委員会（ ）	○養護教諭会（ ） ○栄養士連絡会（ ）		20
21 金	▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ）	○教育課題研究推進委員会全体会（ ）		21
22 土（土曜休業日）				22
23 日				23
24 月		○中学校生活指導主任会（ ） ○初任者研修会（ ）		24
25 火	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会（ ）	○多摩地区教育推進委員会・研究発表（ ）		25
26 水				26
27 木		○教職研修実施協議会（ ） ○給食主任会（ ）		27
28 金		○相談学級運営協議会（ ）		28
備考				

3 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 土			開校記念日（七小）	1
2 日				2
3 月	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○生活指導主任会（ ）	移動教室（大坂上中）	3
4 火	△校長会（ ）	○心身障害教育推進協議会（五小） ○初任者研修会（ ）		4
5 水	▲指導主事連絡協議会（ ）	○日野教研部会 ○中教研一斉発表会		5
6 木	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ） ▲人権尊重教育推進校委員会（ ）△園長会（ ）	○授業改善委員会（ ）		6
7 金	▲二地区指導連絡会（町田）	○保健主任会（ ） ○進路指導主任会（ ）		7
8 土	（土曜休業日）			8
9 日				9
10 月				10
11 火		○就学相談委員会 ○給食主任会（ ）		11
12 水				12
13 木		○教務主任会（ ） ○栄養士連絡会（ ）		13
14 金	△教頭会（ ）	○養護教諭会（ ）		14
15 土				15
16 日				16
17 月	△幼稚園修了式		△幼稚園修了式	17
18 火	▲都市指導主事会（ ）			18
19 水	△中学校卒業式		△中学校卒業式	19
20 木	春分の日			20
21 金				21
22 土	（土曜休業日）			22
23 日				23
24 月			△小学校修了式	24
25 火	△小学校卒業式		△小学校卒業式 △中学校修了式	25
26 水			（春季休業・始）	26
27 木				27
28 金				28
29 土				29
30 日				30
31 月				31
備 考				

日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題 ・学校評価について	市役所 又は 研究室	教務主任
小・中生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	・生活指導上の臨床的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方	市役所 又は 研究室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。	・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立	市役所 又は 学校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	・学校保健の在り方 ・保健指導の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表	市役所 又は 研究室	保健主任

名称	ねらい・方針	内 容 ・ 方 法	会場	対象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに進路指導の充実を図る。	• 全体的な指導体制の確立 • 進路指導上の問題点の整理と検討 進路指導の全体計画 各学年の指導の重点 進路指導を推進するための組織運営 指導資料の作成	市役所 及 び 学 校	進路指導主任
福祉副読本委員会	小学校福祉副読本「ふれあい」 中学校福祉副読本「寿」を作成する。	日野市小中学校の福祉副読本の改訂	市役所 又 は 学 校	改訂委員
教育推進課題研究会	人権尊重教育推進の視点から、4課題を設定し、今後のあり方について研究する	• 環境教育推進部会 • 生き方教育推進部会 • 男女平等教育推進部会 • 国際理解教育推進部会	市役所 又 は 学 校	委 員
教科採択用委員会	東京都教育委員会の指導・助言を得て、各学校の意見を反映させ、地域の実態に即した採択を行なう	• 平成9年度よりの中学校使用教科書の採択	市役所 及 び 学 校	委 員
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害と発達の状態に応じた適切な教育措置をするための相談等を行う。	• 東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 • 各種専門家による就学相談	学 校 又 は 幼稚園	就教育指導委員

名称	ねらい・方針	内 容 ・ 方 法	会場	対象
授業改善委員会	日野市の教育研究課題の解決を目指し、個性重視の教育や創造性を育てる教育の具体化を図る研究を推進する。	- 研究奨励事業の推進 「児童、生徒の願いを生かし、育てる学習活動」の研究と公開授業・研究協議。 - 研究集録の作成 - 先進校等の管外視察	市役所 及 び 学 校	委 員
教 育 研 究 会 議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術を探る。	事例研究	研究室	教兼 育任 相相 談談 員員
小 学 校 体 育 主 任 会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。	- 体位・体力向上をめざした学校教育活動全体の検討 - 体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 「体力づくりの日」の効果的実践 - 水泳記録会の企画	市役所 又 は 学 校	体 育 主 任
週 検 5 討 日 委 制 員 会	学校週5日制の月2回実施における教育課程の編成実施評価。完全実施へ向けての課題と方策	教育課程の編成と実施について、調査・研究する。	市役所 又 は 学 校	委 員
「編 ま 集 ど 委 べ 員 」 会	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、校正	学 校	作 成 委 員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
研究主任会	児童・生徒が自ら考え主体的に判断し、行動したりすることができる資質や能力の育成を目指した教育活動をさらに充実・発展するための校内研究の進め方等について研修を進める。	- 授業研究の推進 - 各校の校内研究の敷衍	市役所 及び 現 地	研究主任会
水泳記録委員会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。	水泳記録会の企画、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運営委員
日光移動教室委員会	日光移動教室を連合で行うに際し、円滑な運営が行われるよう連絡、調整にあたる。	日光移動教室の企画、実地踏査、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運営委員
人権推進委員会	人権尊重教育の推進の方法について検討し、学校における人権尊重教育の在り方について連絡協議する。 教師向けの指導資料及び児童・生徒用「こども人権副読本」を作成する。	- 人権尊重教育の推進方法の協議 - 研修会の開催及び人権尊重教育推進校の成果の活用	市役所 又は 学 校	推進委員

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
情推 報進 委 教 員 育 会	社会の情報化への対応をめざし、学校教育でのコンピュータ活用について研究、協議する。	• 学校におけるコンピュータの活用について協議 • 教育方法としてのコンピュータの活用について研究	市役所 又 は 学 校	推 進 委 員

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等とおしての資質を高める。	・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 ・学級指導を実践している学校の参観 ・研究協議	千葉県	教務主任
生活指導研究会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をとおして生活指導主任の資質を高める。	・他域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ ・研究協議	栃木県	生活指導主任
進路指導研修会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をとおして進路指導主任の資質を高める。	・進路指導の指導計画並び指導組織とその実践 ・研究協議	長野県	進路指導主任
新任者・新採用教員研究会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	山梨県清里他	新規採用教諭

日野市教育委員会研修事業（Ａ）

№	研 修 会 名	回	主 題	期 日（曜）
1	学 校 経 営 研 修 会	1	教育改革の動向と学校教育の展望	4月22日（月）
2	”	2	熟年の創造性と経営	5月 1日（水）
3	”	3	豊かな人間性を育む性教育	5月21日（火）
4	”	4	勝負の世界と私	6月 4日（火）
5	”	5	教育情報の管理と対応	6月13日（木）
6	”	6	「知る権利」と学校教育の在り方	7月12日（金）
7	教 職 専 門 研 修 会	1	校内教育の充実と教師の自己研修	5月 9日（木）
8	”	2	事例から学ぶ学校事故とその対応	6月 3日（月）
9	”	3	保健室の相談活動の現状と課題	6月 7日（金）
10	”	4	教育目標の達成を図る指導と評価の一体化	6月20日（木）
11	”	5	児童・生徒の自律を促す教育活動の推進	11月11日（月）
12	”	6	学校評価の活性化と教育課程編成	11月21日（木）
13	教 育 課 題 研 修 会	1	「消費者教育を受ける権利」と学校教育	4月25日（木）
14	”	2	意欲を高める学習指導の展開	5月 7日（火）
15	”	3	いじめ根絶を目指した教育活動の展開 1	6月18日（火）
16	”	4	いじめ根絶を目指した教育活動の展開 2	6月27日（木）
17	”	5	NGO活動とボランティア活動との接点	8月23日（金）
18	”	6	男女平等教育推進に関わる教師の意識	10月22日（火）
19	学 習 指 導 法 研 修 会	1	主体的な学習活動を促す指導の展開	5月20日（月）
20	”	2	子どもの自由な発想を生かした指導の展開	6月14日（金）
21	”	3	コンピュータを活用した指導の展開	9月 9日（月）
22	”	4	コミュニケーション能力を育む指導の展開	10月 4日（金）
23	”	5	子どものよさを生かす指導の展開	11月22日（金）
24	”	6	ティームティーチングを用いた指導の展開	1月20日（月）
25	教 育 相 談 研 修 会	1	児童・生徒理解と教育相談	4月26日（金）
26	”	2	学校不適応児童・生徒への対応と指導	5月31日（金）
27	”	3	教育相談的手法を生かした学校経営	6月11日（火）
28	”	4	学級内の人間関係を深める指導の在り方	9月20日（金）
29	”	5	子どもの心の健康について	10月18日（金）
30	”	6	教師の人間関係	11月26日（火）

講 師	会 場	備 考
全日本家庭教育研究会 日高 和美	市役所 503 会議室	午後 2 時 30 分～
日本 マンパワーキャリア 開発部部長 片山 繁載	市役所 504 会議室	午後 2 時 30 分～
フリーライター（こども電話相談員）安達倭雅子	市役所 504 会議室	午後 2 時 30 分～
アマ将棋棋士 鈴木 英春	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
東京女子体育大学教授 尾木 和英	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
帝京大学講師 尾崎 政二	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
元東邦音楽大学 教授 池沢 正夫	市役所 504 会議室	午後 2 時 30 分～
東京女子体育大学専務理事 伊藤 堯	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
東京都立大学教授 馬場 禮子	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
日本教育会事務局 木山 高美	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
東京学芸大学教授 松村 茂治	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～
帝京大学教授 亀井 浩明	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～
松阪女子短期大学教授 川端 良子	市役所 503 会議室	午後 2 時 30 分～
帝京大学助教授 鎌原 雅彦	市役所 504 会議室	午後 2 時 30 分～
弁護士 小笠原彩子	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
弁護士 小笠原彩子	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
NGO 活動推進センター主幹 湯本 浩之	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～
東京女性財団調査役 千々岩浩子	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～
東京学芸大学教授 伊藤 説郎	程久保小学校 三木 滋教諭	午後 1 時 45 分～
八王子市教育研究所 千葉 正康	日野第二小学校 磯田洋子教諭	午後 1 時 45 分～
前世田谷区立松沢中学校長 永原 正	三沢中学校 染葉仁博教諭	午後 1 時 45 分～
前横浜市立松本中学校長 大久保洋子	中学校 英語	午後 1 時 45 分～
杉並区立郷土博物館指導員 富山 保	小学校 道徳（予定）	午後 1 時 45 分～
豊島区教育委員会教育委員長 草野 保治	南平小学校 山田栄子教諭	午後 1 時 45 分～
八王子市教育委員会指導主事 千野 和子	市役所 503 会議室	午後 2 時 30 分～
国分寺市教育委員会指導主事 浅野 浩市	市役所 504 会議室	午後 2 時 30 分～
八王子市教育委員会指導主事 千野 和子	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
八王子市教育委員会指導主事 千野 和子	教職員研究室	午後 2 時 30 分～
都立梅が丘病院 相談員 福田 圭子	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～
明星大学教授 磯貝 芳郎	市役所（予定）	午後 2 時 30 分～

日野市教育委員会研修事業（Ｂ）

№	研 修 会	回	主 題	期 日（曜）
1	教 育 相 談 研 修 会	1	子どもの心と体	6月 7日（金）
2	”	2	教育相談のすすめ方	8月21日（水）
3	一・二 年 次 教 頭 研 修 会	1	学校における危機管理と教頭の役割	6月10日（月）
4	”	2	教職員のやる気を引き出す教頭のリーダーシップ	12月 5日（木）
5	学 校 保 健 研 修 会	1	難聴児の早期発見のポイントとその対応	9月12日（木）
6	”	2	児童・生徒に福祉の保護が必要となったとき	10月 8日（火）
7	学 校 給 食 研 修 会	1	子どもの食事情と学校給食の課題	6月11日（火）
8	”	2	現代社会を生きぬくためのサバイバル作戦	1月17日（金）
9	幼 児 教 育 研 修 会	1	楽しいフォーク・ダンス	5月15日（水）
10	”	2	子どもが喜ぶゲーム	6月19日（水）
11	”	3	地域に開かれた幼稚園づくりーまちは宝の山	6月26日（水）
12	各 種 実 技 研 修 会	1	運動会に活用できるダンス	7月22日（月）
13	”	2	社会科臨地研修（豊田地区）	8月30日（金）
14	”	3	（平山地区）	10月15日（火）
15	”	4	教師のことばー子どもの心にしみいるー	11月12日（火）
16	”	5	コンピュータ・ミュージック	7月 1日（月）
17	”	6	編曲法の生かし方	11月26日（火）
18	生 涯 学 習 研 修 会	1	診察室から見た子供の心と体	11月25日（月）
19	”	2	子供に聞かせたい日野の昔話	10月24日（木）

講 師	会 場	備 考
都立梅ヶ丘病院 医師 海老島 宏	教職員研究室	午後2:00～4:00
東京学芸大学 教授 福島 脩美	〃	〃
日野市立七生中学校 校長 名塚 三雄	〃	〃
前日野市立日野第六小学校校長 小幡 建	〃	〃
立川市立けやき台小学校 教諭 池田 幸男	〃	〃
養護施設二葉学園 奥野 兼介	〃	〃
芽ばえ社 編集長 安藤 節子	〃	〃
健康体力づくり事業財団主任研究員 青木 高	〃	〃
福生市立福生第四小学校 教諭 伊藤 達彦	〃	〃
鶴見女子短期大学 教授 岩崎 陽子	〃	〃
品川区立大井倉田児童センター 宮里 和規	〃	〃
立川市立第五小学校 教諭 高杉 裕子 板橋区立大谷口小学校 教諭 鈴木千鶴穂	潤徳小学校体育館	午前9:30～ 午後3:30
日野市立滝台小学校 教頭 小杉 博	集合 JR中央線豊田駅	午前9:30～ 11:30
元日野市史編纂室 室長 森久保忠雄	集合 京王線平山城址公園駅	午後2:00～4:00
埼玉大学 講師 光永 久夫	教職員研究室	午後2:00～4:00
全日本学校音楽研究会 理事 工藤 昭彦	日野市立日野第二中学校	午後2:00～4:00
国分寺市立第九小学校 教諭 千田 鉄男	日野市立日野第五小学校	午後2:00～4:00
日野市立病院小児科 医長 佐々木栄一	教職員研究室	午後2:00～4:00
児童作家・日本民俗学会・とんと昔の会 菊池 正	〃	午後2:00～4:00

日野市教育委員会研修事業（C）

（1）初心者コース

研修会コース名	研修会番号	内 容
A. 初心者コース	A-1	• パソコンの動かし方、扱い方。パソコンの仕組みを知る。 • キーボードになれる。• 汎用ソフト（ハイパーキューブ）の紹介。
	A-2	• 最近のパソコンを使用して「ウインドウズ 95」の紹介・実習 • パソコン通信、インターネット等について

（2）初級コース－1

研修会コース名	研修会番号	内 容
B. 初級コース－1 （ハイパー キューブ）	B-1	• ワープロ パソコンで文書を作成 • 表計算 電卓として活用、グラフの作成。
	B-2	• グラフィックス 図や絵を描く。絵や写真をパソコンに取り込む • データベース データベースの作り方。並べ替え、検索。

（3）中級コース

研修会コース名	研修会番号	内 容
C. 中級コース （ロータス 1・2・3）	C-1	• 表計算（基礎） ワープロの経験のある方 ロータス 1・2・3 でどんなことが出来るか。
	C-2	• 表計算（応用） サンプルの作り方、活用法。 学級事務、生徒記録の処理と活用

（4）初級コース－2

研修会コース名	研修会番号	内 容
D. 初級コース－2 （一太郎）	D-1	（基礎） • キーボード練習 • 文字入力
	D-2	（応用） • 文書の編集・印刷 • 機能キーの活用

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5/17 (金) 2:00 - 4:00	日野市立大坂上中学校
1 講 座	5/21 (火) 2:00 - 4:00	NEC 立川支社

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5/31 (金) 2:00 - 4:00	日野市立大坂上中学校
1 講 座	6/7 (金) 2:00 - 4:00	日野市立大坂上中学校

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	6/14 (金) 2:00 - 4:00	日野市立大坂上中学校
1 講 座	6/21 (金) 2:00 - 4:00	日野市立大坂上中学校

回 数	日 時	研 修 会 場
2 講 座	8/5 (月) 9:00 - 3:00	日野市立大坂上中学校
2 講 座	8/6 (火) 9:00 - 3:00	日野市立大坂上中学校

日野市教育委員会の学校訪問

1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通し、下記の事柄について、理解を深め、日野市の教育の充実・発展に資する。

- ① 学校の当面する教育指導上の諸問題への対応を図る
- ② 学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況を把握する
- ③ 日野市の教育活動の全体を把握し、教育行政上の参考にする
- ④ 各学校の教職員との協議・懇談を行い相互の理解を深める
- ⑤ 学校訪問の成果を日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する

(1) A 訪問

2年に一度、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容の充実・発展のために協議する。

- ①学校概況、②授業参観、③施設・設備の活用状況、④諸帳簿閲覧、⑤協議・懇談

(2) B 訪問

市教育委員会訪問Aのない学校に指導主事が訪問し、教育指導上の課題について、協議・懇談する。

- ①教科・道徳・特別活動の指導に関すること、②教育課題に関すること、③生活指導・進路指導に関すること、④授業研究に関すること、⑤学級・学年経営に関すること、⑥指導要録等に関すること、⑦教育研究・研修に関すること、⑧教育課程に関すること。

(3) 一般訪問

各学校、各幼稚園の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事並びに日野市教育委員会指導主事が訪問し、それぞれの学校（園）の置かれている条件に応じ、教職員とともに学校（園）のもっている問題について、实际的に解決する方途を見いだすなど、隔意のない協議・懇談を行う。

ただし、一般訪問は、A訪問のない学校にB訪問と合わせて行う。

学 校 訪 問 予 定 一 覧 表

学 校 名	市教委A訪問	市教委B訪問	都一般+B訪問
第 一 幼 稚 園			10月23日(水)
第 二 幼 稚 園		5月30日(木)	
第 三 幼 稚 園			6月19日(水)
第 四 幼 稚 園	10月22日(火)		
第 五 幼 稚 園		5月16日(木)	
第 六 幼 稚 園	12月17日(火)		
第 七 幼 稚 園			2月 5日(水)
日野第一小学校			7月10日(水)
日野第二小学校	12月 2日(月)		
日野第三小学校			12月 4日(水)
日野第四小学校	11月19日(火)		
日野第五小学校		6月 5日(水)	
日野第六小学校			11月 6日(水)
潤 徳 小 学 校		11月20日(水)	
平 山 小 学 校	10月21日(月)		
日野第八小学校		9月25日(水)	
百 草 台 小 学 校			7月 3日(水)
滝 合 小 学 校	11月12日(火)		
高 幡 台 小 学 校	12月10日(火)		
日野第七小学校		11月27日(水)	
南 平 小 学 校	5月27日(月)		
程 久 保 小 学 校			6月26日(水)
旭 が 丘 小 学 校		5月29日(水)	
平 山 台 小 学 校	11月29日(金)		
東 光 寺 小 学 校		10月16日(水)	
三 沢 台 小 学 校	6月24日(月)		
仲 田 小 学 校	11月25日(月)		
日野第一中学校	10月 7日(月)		
日野第二中学校	10月 3日(木)		
七 生 中 学 校			6月12日(水)
日野第三中学校	9月24日(火)		
日野第四中学校	11月28日(木)		
三 沢 中 学 校		11月13日(水)	
大 坂 上 中 学 校	10月29日(火)		
平 山 中 学 校		10月30日(水)	

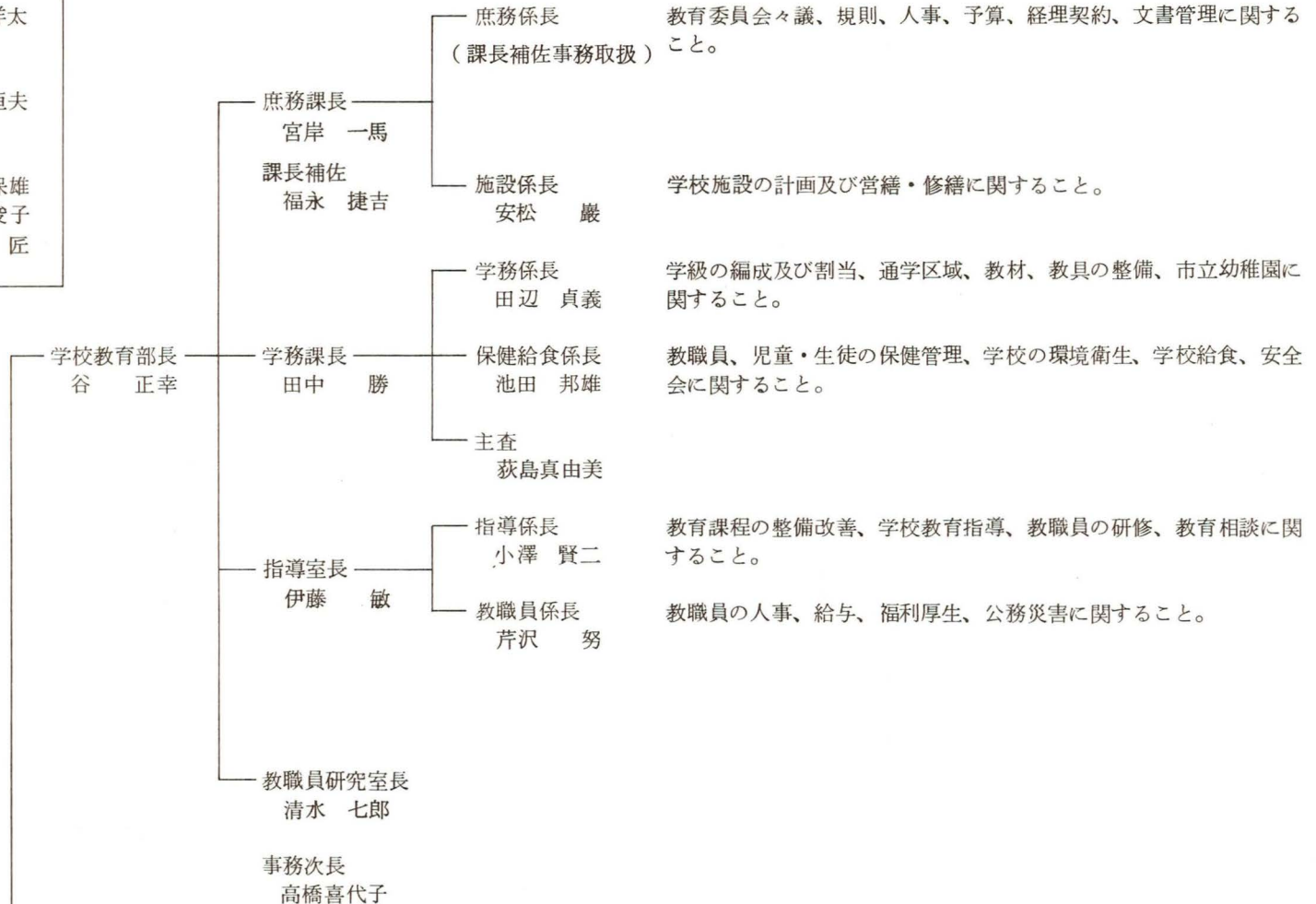
日野市教育委員会事務局組織

(1996年5月1日現在)

教育委員会
委員長
古谷 洋太

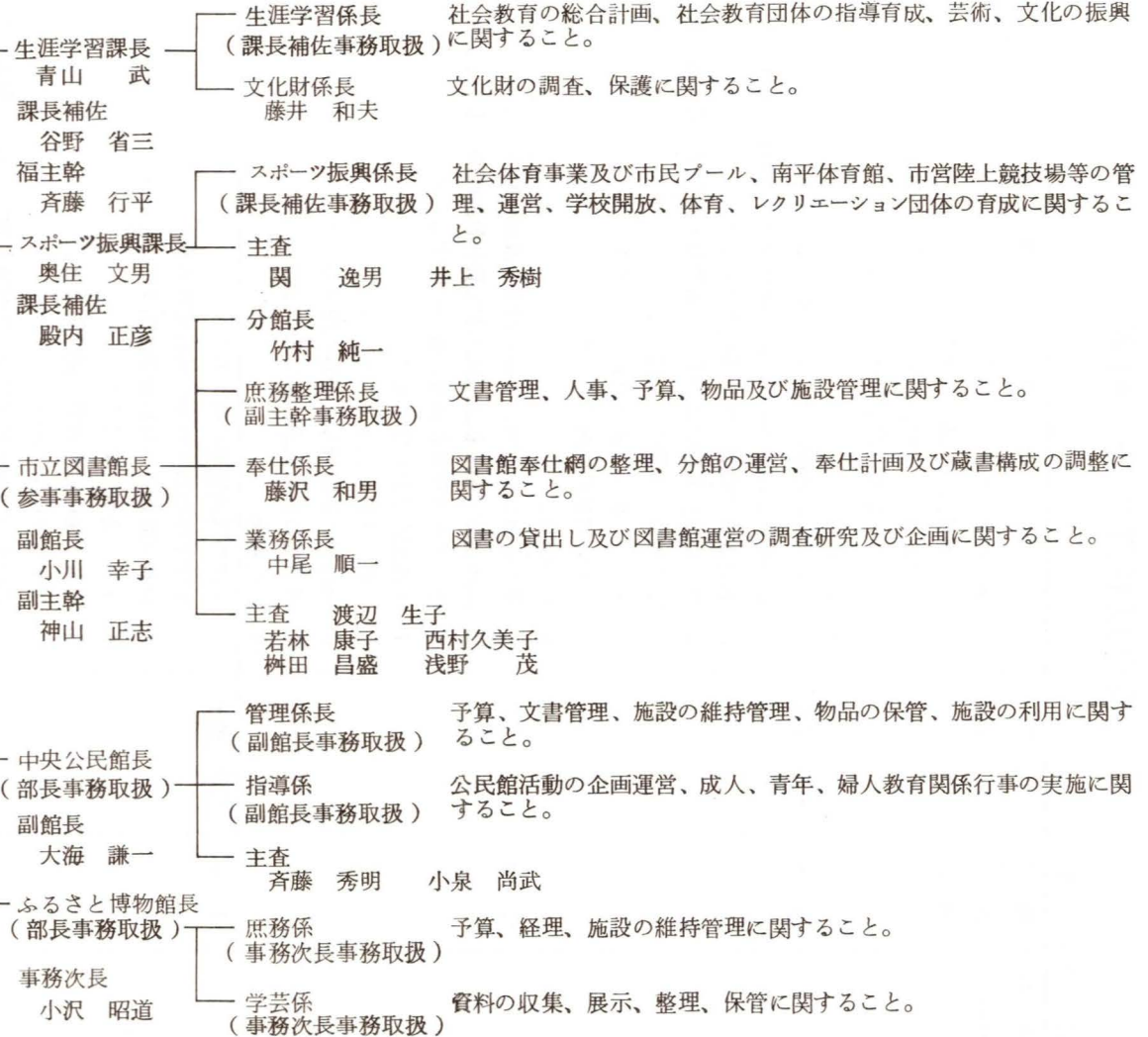
職務代理
小松 恒夫

委員
黒澤 保雄
中田 俊子
園田 匠



教育長 園田 匠

生涯学習部長 小澤 春童
参事 斎藤 隆夫



教育庶務課事務分担表

課長 宮岸 一馬

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 内 容
庶務係	課 長 補 佐	福永 捷吉	1. 係の統括・調整に関すること。 2. 教育委員会の会議に関すること。 3. 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関すること。 4. 職員の人事及び給与等に関すること。 5. 給料運搬。
	主 事	菊島 隆広	1. 教育委員の報酬の支払及び出張に関すること。 2. 教育委員会の対外関係に係る事務及び予算執行に関すること。 3. 教育委員会職員の休暇等に関すること。 4. 教育委員会事務局及び学校の購読物・帳票類に関すること。 5. 学校職員の職務免除に関すること。 6. その他、部及び課内庶務に関すること。 7. 学校臨時職員に関すること。 8. 給料運搬。
	主 事	山下 義之	1. 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関すること。 2. 高校生奨学金・私立高校入学生貸付斡旋に関すること。 3. 小中学校の校庭整備及び警備に関すること。 4. 学校配当予算に関すること。 5. 予算・決算に関すること。 6. 用務員の被服貸与・研修に関すること。 7. 教育委員会の会議に関すること。 8. 給料運搬。
	主 事	宮澤 優子	1. 学校の備品管理に関すること。 2. 小中学校の公共料金の執行管理事務。 3. 校長交際費及び負担金等に関すること。 4. 予算・決算に関すること。 5. 児童・生徒の派遣費に関すること。 6. 労働安全衛生に関すること。 7. 高校生奨学金・私立高校入学生貸付斡旋に関する懸案事項。
	主 事	松田江身子	1. 学校物品購入にかかる契約事務及び単価契約に関すること。 2. 小中学校のザイムスマニュアル作成。 3. 予算・決算に関すること。 4. 教育委員会事務局の文書収受に関すること。 5. (施設の修繕・工事等のザイムス処理。) 6. 課内庶務に関すること。
	主 事	佐藤謙太郎	1. 小中学校委託業務に関すること。 2. 特別整備用備品の購入・管理事務。 3. 小中学校のザイムス処理に関すること。 4. 教育委員会の会議に関すること。 5. 課内庶務に関すること。 6. 給料運搬。

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 内 容
施設係	係 長	安松 巖	1. 係の統括・調整に関すること 2. 教育施設の整備計画に関すること 3. 文部省学校施設補助に関すること 4. 新規事業の統括・調整に関すること 5. 予算・決算に関すること 6. 新規・営繕・委託業務に関すること 7. 渉外調整に関すること
	主 事	岡部 秀樹	1. 学校用地補助に関すること 2. 防衛庁関係補助に関すること 3. 中学校の営繕修繕・施設整備に関すること 4. （教育施設の整備計画に関すること） 5. 各調査資料作成
	主 事	小田嶋雄一	1. 修繕契約業務に関すること 2. 係の備品・消耗品の購入に関すること 3. （教育施設の整備計画に関すること） 4. （予算・決算に関すること） （小学校の営繕修繕・施設整備に関すること） 5. 委託業務
	主 事	小峯 克之	1. （文部省学校施設補助に関すること） 2. （教育施設の整備計画に関すること） 3. 小学校の営繕修繕・施設整備に関すること 4. （予算・決算に関すること） 5. （新規・営繕・委託業務に関すること）

学 務 課 事 務 分 担 表

学務課長 田中 勝

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
学務係	係 長	田辺 貞義	① 学務係の予算・決算に関すること ② 課予算・決算の取りまとめに関すること ③ 幼稚園に関すること ④ 新設校、園設置届けに関すること ⑤ 通学路に関すること
	主 事	兼子 理夫	① 入学事務に関すること ② 転出、転入学に関すること ③ 学齢簿に関すること ④ 学級編制に関すること ⑤ 学区域に関すること ⑥ その他就学事務に関すること ⑦ 通学路に関すること
	主 事	菅野 尚美	① 課内の庶務に関すること ② 幼稚園使用料の徴収に関すること ③ 幼稚園就園奨励費に関すること ④ 幼稚園臨時職員の雇用、賃金支払に関すること ⑤ 幼稚園、学校配当予算の財務会計執行事務に関すること ⑥ 学務係の決算に関すること
	主 事	宮本 喜芳	① 小・中学校予算編成に関すること ② 学校配当予算に関すること ③ 学校の備品等に関すること ④ 就学援助費に関すること ⑤ 特殊教育就学奨励費に関すること ⑥ 幼稚園、学校災害賠償補償に関すること

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
保 健 給食係	係 長	池田 邦雄	① 保健給食の全般に関すること ② 学校保健会、給食会等の関係団体に関すること ③ 学校（園）医等に関すること ④ 給食関係視察等の対応に関すること ⑤ 学校給食関係の各種委員会に関すること
	主 事	國栖 光男	① 給食関係委託事務に関すること ② 給食備品に関すること ③ 給食関係予算に関すること ④ 学校給食会に関すること ⑤ 給食関係の統計調査報告等に関すること ⑥ その他給食関係の庶務に関すること
	主 事	五十嵐みゆき	① 幼稚園、学校の環境衛生に関すること ② 園児・児童・生徒及び教職員の各種健康診断に関すること ③ 日本体育・学校保健センターに関すること ④ 学校医等に関すること ⑤ 学校保健会に関すること ⑥ 養護教諭会に関すること ⑦ 保健関係予算に関すること
	主 査	荻島真由美	① 栄養士、調理員の庶務事務に関すること ② 幼稚園教諭、栄養士、調理員の研修に関すること ③ 児童・生徒の就学猶予、免除、措置等に関すること ④ 栄養士、調理員等の臨時職員の雇用及び派遣に関すること ⑤ 幼稚園、給食関係職員の被服貸与に関すること ⑥ 幼稚園の備品等に関すること ⑦ 園児募集に関すること

指導室事務分担表

指導室長 伊藤 敏

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
指導係	係 長	小澤 賢二	1 校長会・教頭会に関すること。 2 指導室関係予算の調整及び執行に関すること。 3 学校図書館事務嘱託員に関すること。 4 帰国児童生徒講師及び外国人英語指導補助員雇用に関する こと。 5 庁内調査等に関すること。 6 その他連絡調整に関すること。
	主 事	小野 雅生	1 児童生徒用教科書に関すること。 2 クラブ活動謝礼金に関すること。 3 奨学金に関すること。 4 教育相談・就学相談に関すること。 5 特殊学級編成に関すること。 6 心身障害児教育関係の予算、各種事業、援助に関すること。
	主 事	西垣 至	1 移動教室・修学旅行の実施及び援助に関すること。 2 水泳記録会に関すること。 3 プール指導謝礼金に関すること。 4 社会科見学、遠足・移動教室の届出に関すること。
	主 事	細野 智子	1 教科用図書採択、教師用教科書・指導書、教材に関するこ と。 2 教員の研修及び研修関係の都費の支出に関すること。 3 社会人講師に関すること。 4 各種事業委託及び補助事業に関すること。 5 バス補助金に関すること。 6 学校訪問の届出に関すること。 7 教育実習に関すること。 8 音楽鑑賞教室に関すること。 9 都立高校入学選抜書類に関すること。 10 指導関係文書の収受、整理及び配布に関すること。

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
教職員係	係 長	芹沢 努	1 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限その他人事に関する事。 2 学校教職員の勤務評定・業務評定に関する事。 3 学校教職員の叙位・叙勲・表彰に関する事。 4 学校教職員の職員団体に関する事。 5 事務・栄養士の研修に関する事。 6 その他学校職員に関する事。
	主 事	赤久保洋司	1 学校教職員の旅費に関する事。 2 学校教職員の福利厚生に関する事。 3 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び再雇用嘱託員の社会保険に関する事。 4 日野市教職員互助会に関する事。 5 講師の報酬支給に関する事。 6 学校教職員の公務災害に関する事。 7 学校共通帳票に関する事。
	主 事	旗野 亨	1 学校教職員の定数、講師授業時数の割当に関する事。 2 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び講師の採用に関する事。 3 学校教職員の履歴の整理・保管に関する事。 4 学校教職員の任免、服務、分限その他人事に関する事。 5 再雇用嘱託員に関する事。
	主 事	中谷美枝子	1 学校教職員の給与に関する事。 2 学校教職員の扶養親族の認定に関する事。 3 学校教職員の住民税の整理・保管に関する事。 4 学校教職員の給与簿の整理・保管に関する事。 5 学校教職員の退職手当に関する事。 6 学校配当予算の執行に関する事。 7 帰国児童生徒講師・外国人英語指導補助員・巡回指導員の賃金支払に関する事。 8 室内の庶務に関する事。

指導主事事務分担

1. 教科・領域

国語、書写	長谷川	生活	長谷川	体育、保健体育	間瀬
社会	長谷川	音楽	間瀬	外国語	長谷川
算数、数学	間瀬	図画工作、美術	間瀬	道徳	長谷川
理科	間瀬	家庭、技術家庭	間瀬	特別活動	長谷川

2. 市教育委員会事業

校長会	長谷川	幼稚園長会	長谷川
教頭会	間瀬	教務主任会	長谷川
生活指導主任会	間瀬	進路指導主任会	間瀬
保健主任会	長谷川	中学校生活指導主任会	長谷川
研究主任会	間瀬	小学校体育主任会	間瀬
給食主任会	長谷川	研修（初任者研修、A研修）	間瀬
就学相談委員会	間瀬	人権尊重教育推進委員会	長谷川
心身障害教育推進協議会	間瀬	教育課題研究推進委員会	長谷川
授業改善委員会	長谷川	情報教育推進委員会	間瀬
教育課程編成資料作成委員会	長谷川	学校図書主任連絡会	長谷川
教科委員会	間瀬	相談学級運営協議会	長谷川
福祉副読本改訂委員会	長谷川	英語指導改善委員会	長谷川
書写展運営委員会	間瀬	教職研修実施協議会	間瀬
日野市小学校教育研究会	長谷川	日光移動教室運営委員会	間瀬
日野市中学校教育研究会	長谷川	水泳記録会運営委員会	間瀬
科学教育センター運営委員会	間瀬	音楽鑑賞教室運営委員会	間瀬
科学教育センター検討委員会	間瀬	情報公開検討委員会	長谷川
進路指導問題協議会	間瀬	学校週5日制検討委員会	長谷川
教育相談ケース会議	長谷川		

3. 指導事務分担

都教委指導部・都研・多摩研	長谷川	都教育研究員・開発委員会委員	長谷川
国・都研究奨励、市研究奨励	長谷川	学校訪問・指導訪問	間瀬
教育課程届	長谷川	教育課程・年間指導計画	長谷川
研究集録、副読本	間瀬	教材届承認	間瀬
遠足、移動教室、修学旅行届	間瀬	まどべ編集・発行	間瀬
就学・措置替指導	長谷川	東京都市指導主事会、第二地区会	長谷川
行事予定作成、委員会	間瀬	教育資料・情報	長谷川

4. 施設・行事

教職員研究室	長谷川	教科書展示室	間瀬
文化行事	長谷川	体育行事	間瀬

5. 東京都教育委員会指導事務分担

学校訪問協議会	長谷川	同和教育指導推進委員会	長谷川
生活指導担当指連協	間瀬	道徳教育担当指連協	長谷川
区市指導主事研究会議	長谷川	幼稚園教育担当指連協	長谷川
心身障害教育担当指連協	間瀬	男女平等教育推進委員会	間瀬
消費者教育推進委員会	間瀬	国際理解教育推進委員会	長谷川
在日外国人児童・生徒教育連絡会	長谷川	福祉教育推進委員会	長谷川
外国人児童・生徒教育担当連絡会	長谷川	体育・保健・給食担当指連協	間瀬
教員研修担当指連協	間瀬	人権尊重教育推進校委員会	長谷川
環境教育推進委員会	間瀬	進路指導担当指連協	間瀬
学校不適応対策連絡協議会	間瀬	多摩地区健全育成行政連絡会	長谷川
		道徳教育助言者研究協議会	長谷川

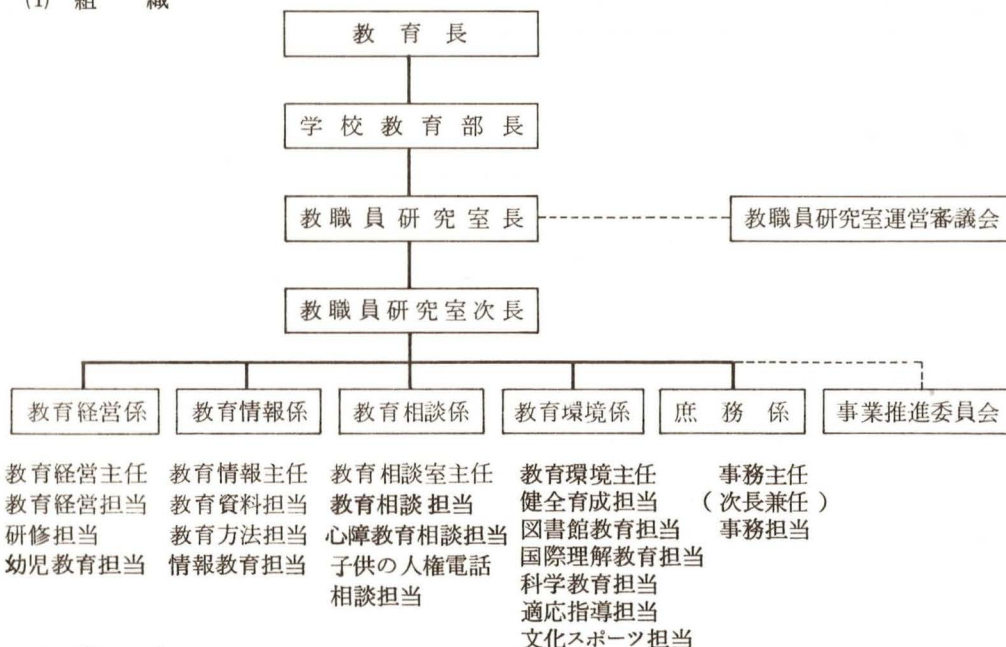
日野市立教職員研究室

日野市立教職員研究室は、教育に関する専門的・技術的事項の研究を通じ、その成果を敷衍し、教育内容の向上を図るとともに、教育関係職員の研修を積極的に進め、その資質の向上を図り、日野市における教育の充実と振興を図る教育機関として位置する。

1. 日野市立教職員研究室の組織及び運営

日野市立教職員研究室に、室長、次長、事務職員、専門職員、顧問を置く。それぞれの職は、教育委員会がこれを任命する。

(1) 組織



(2) 職務

- ① 室長は、日野市教育委員会の命を受け、教職員研究室を管理し、教職員研究室が行う事業を企画、運営、実施する。また、その他の事務を掌理するとともに、所属職員を指揮監督する。
 - ② 次長は、室長を補佐し、担当事務を処理する。
 - ③ 指導主事は、研究室の専門職員の指導及び助言に当たる。
 - ④ 主任は、各係を統括し、事業を遂行する。
 - ⑤ 専門職員は、上司の命を受け、担当する事項の研究及び所掌事務に従事するとともに、指導主事の助言を得て、事業の実施に当たる。
専門職員は、教育相談員、教育指導員(嘱託員)並びに教育委員会が任命する専門職員をいう。
 - ⑥ 事務職員は、上司の命を受け、担当事務を処理する。
 - ⑦ 顧問は、教育委員会が任命する学識経験者で、教育研究等の推進のための助言に当たる。
- (3) 日野市立教職員研究室運営審議会
教職員研究室の運営について必要な事項を審議する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、学識経験者を持って充てる。
- (4) 日野市立教職員研究室事業推進委員会
教職員研究室の事業計画・推進について検討する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、教職員研究室員を持って充てる。

2. 日野市立教職員研究室内の事業内容と分担

(1) 教職員研究室内の事業

- ① 幼児・児童・生徒についての研究調査及び教育関係職員の研修等に関する事。
- ② 教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育環境に関する事。
- ③ 教育に関する資料の整備及び活用に関する事。
- ④ 教育相談に関する事。
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか必要な事業。

(2) 教職員研究室内事務分掌

- ① 教育経営係
 - ・教育経営の研究及び調査に関する事。
 - ・教育関係職員の研究及び研修に関する事。
- ② 教育情報係
 - ・教育資料の収集及び提供に関する事。
 - ・教育方法の研究及び改善充実に関する事（幼児教育を含む）
 - ・情報教育の研究及びその活用に関する事
- ③ 教育相談（室）係
 - ・教育相談に関する事。
 - ・教育相談に関する研究及び学校への援助に関する事。
 - ・心身障害児の相談及び援助に関する事
 - ・子供の人権電話の相談に関する事。
- ④ 教育環境係（第一分室：日野市立日野第二中学校内に置く）
 - ・健全育成に関する研究及び資料提供に関する事。
 - ・児童・生徒の適応指導及び学習促進に関する事。
 - ・学校図書館の機能の活用に関する事。
 - ・自然科学教育の研究及び振興に関する事。
 - ・学校施設の活用に関する事。
- ⑤ 庶務係
 - ・教職員研究室内の事務に関する事。
 - ・他の係に属さない事。

3. 教職員研究室内職員

室 長 清水 七 郎
次 長 事務長事務代理 高 橋 喜代子

- | | | | |
|-----------|----------------------|--------|-------|
| (1) 教育経営係 | ・教育経営担当 | 高木 宏文 | |
| | ・研 修 担 当 | ○山口 武彦 | 小泉 宣夫 |
| | ・幼児教育担当 | 石川 耀子 | |
| (2) 教育情報係 | ・教育資料担当 | ○村田 志信 | |
| | ・情報教育担当 | 星野 晴一 | |
| | ・教育方法担当 | 志村 桂次 | 影山 健 |
| | | 本田 仁 | |
| (3) 教育相談係 | ・一般教育相談担当 | ○渡邊 満子 | 木村あかね |
| | | 三宅 真美 | 中村 晶子 |
| | ・心身障害教育相談担当 | 御子柴万里子 | 片岡千壽子 |
| | ・子供の人権電話相談担当 | 大野 隆久 | 三井 春勇 |
| | ・顧 問 日本女子体育大学教授（心理学） | | 石川 尚子 |
| | 東京学芸大学教授（心理学） | | 松村 茂治 |
| | 都立梅が丘病院精神科医長 | | 海老島 宏 |

- (4) 教育環境係
- ・健全育成担当 阿部 忠志 北原 景昭
 - ・図書館教育担当 草刈 喜一
 - ・国際理解教育担当
 - ・科学教育担当 江口 耕一 小幡 建
 - ・適応指導担当 有泉 徹郎 (内藤 康)
 - (日本語教室)
 - ・文化スポーツ担当 内藤 康
- (5) 庶務係
- ・次長 高橋喜代子
 - 主事 佐藤 眞
 - 事務 小松あさ江 若林 正治

4. 日野市戦後教育史編さん室

室長 石井 三士
次長 清水 春海
主任 波多野 担

5. 教育相談事業

日野市立教職員研究室教育相談室係は、日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずるとともに、学校が行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

なお、教育相談は、相談員の指導の下、兼任教育相談員が分担・協力して行う。

(1) 相談内容・方法

【一般教育相談】

幼児・児童・生徒の学習、行動、特徴、性格、進路適正等にかかわる相談に応じ、個性や社会性を伸長するための助言・援助を行う。

【心身障害教育相談】

心身に障害のある幼児・児童・生徒の発達・成長にかかわる相談に応じ、その適性や能力を伸ばし、積極的に社会参加できるように相談・援助する。また、一人一人の幼児・児童・生徒の特性に側した適切な教育を実現するための相談・援助を行う。

【学校教育相談】

幼児・児童・生徒の学校（園）生活への適応、問題行動等にかかわる相談に応じ、学校、保護者、関係機関等との協力を得て、幼児・児童・生徒の個性や社会性を伸長するなどの指導、助言・援助を行う。

【電話相談】（92-0505）

電話による相談を行う。

【子供の人権電話相談】（92-2782）

幼児・児童・生徒のいじめにかかわる相談に応じ、適切な人間関係を培う助言・援助を行う。
また、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図る。

(2) 兼任相談員

第三幼稚園園長	坂口 嘉津子	日野第八小学校教諭	若林 真砂子
日野第二小学校教諭	矢野 良枝	平山台小学校教諭	中原 正毅
日野第五小学校教諭	越村 あや子	大坂上中学校教諭	原沢 和江
潤徳小学校教諭	川原田 和子	七生中学校教諭	鈴木 清司
平山小学校養護教諭	佐藤 ヒサ子		

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

本協議会は、日野市教育委員会から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図ることを目指し、心身に障害のある幼児・児童・生徒に適切な教育を保障するための教育条件の整備、指導内容・方法の改善・充実並びに社会的な自立を促す教育の在り方等について研究するとともに、心身障害児理解教育を具体的に進め、啓発活動や教職員を対象とした研修、交流教育等の諸事業を企画し実践する。

事業の内容

上記の目的を達成するため、本協議会の事務局を協議会々長校に置き、次の主たる事業を行う。

- ①心身障害教育の在り方の検討、②固定学級及び通級学級における指導と学級経営の在り方の検討、③心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進、④就学相談の充実と相談活動への協力と援助、⑤幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握、⑥学校における相談組織と機能の充実⑦進路指導の充実

組 織

- (1) 本協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、学校教育部長、指導室長、学務課長、指導主事、指導係長、顧問医、日野市心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、各幼・小・中学校（園）の教員（心身障害教育担当）、教育相談室専任相談員、本協議会々長が指名した者。

- (2) 本協議会は、次の専門部を置き、上記の事業を推進する。

- | | |
|-------|--|
| ア・研究部 | 心身障害教育の在り方、心身障害学級の適正配置及び将来構想等に関する研究 |
| イ・研修部 | 心身障害教育に関する研修の推進、啓発資料の作成等に関する取り組みと調査 |
| ウ・相談部 | 相談活動への協力、幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握と担任への援助 |

委託の内容

1. 心身に障害のある児童・生徒の教育内容・方法の研究

一人一人の幼児・児童・生徒の障害の特性に応じた適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善を進める。そのために、個に応じた教育プログラムを作成し、個別指導や小集団指導を進め、授業実践を通して個性を育むとともに基礎基本の徹底を図る教育の在り方について検討願いたい。

2. 固定学級及び通級学級における指導のあり方の検討

固定学級のあり方並びに通級学級の指導と在籍する学級での指導との関連や役割を明確にする。特に通常の学級に在籍する児童・生徒の聴覚・言語障害への指導について通級による指導の関連や役割を明確にするとともに、聴覚・言語障害の指導のための学級の設置について調査研究願いたい。

3. 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

日野市全体を視野に入れた心身障害教育に関する啓発資料並びに広報活動を具体的に検討し、実施願いたい。

4. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

学校、医療、福祉、保健の各機関の専門性を生かし相互に連携を図り、一人一人の発達を保障するために、きめ細かな教育相談を進めるための相談活動のあり方及び、相談活動を行うための研修のあり方について研究を願いたい。

5. 進路指導の充実

心身に障害のある生徒の個性や能力、適性を最大限に伸ばし将来社会的に自立して生活していくことができるように、職業安定所、商工会議所などの協力を得て、職業体験を通して社会参加ができる子どもを育てることができるよう、実践を踏まえた指導のあり方の研究を願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 目 的

児童の課題意識を基に観察・実験などを通して、意欲的に探究し、自然の事物・現象についての特性や決まりをとらえ、自然についての科学的な見方や考え方を養うとともに自然を愛する豊かな心情を涵養し、自ら学ぶ意欲を高め、生涯を通じて学び続ける児童を育むことを目指すものとする。

このことによって、これから先の高度情報化社会や産業構造、生活様式の変化に主体的に対応し、こころ豊かに逞しく生きていく児童を育成する。

2. 内 容

児童の自然科学に対する興味・関心を喚起し、課題意識を持って意欲的に探究することのできる内容とする。

指導員は、可能な限り教えることを少なくし、児童が問題の発見から結論に至る一連の問題解決の過程を大切に援助・指導に重点を置き、児童の自ら学ぶ楽しさ、追求する楽しさ、調べる楽しさなどを実感できるものとする。

こうした内容とすることによって、児童の自然に対する豊かな心情や自己効力感を高めることのできるものとする。

3. 運 営

(1) 設 置 科学教育センター校として、当分の間、日野市立日野第五小学校に置く。

(2) 講 座 ア．1年間を前期、後期の二期制とし、期を通して児童の課題意識を基に、問題の発見から結論に至る一連の研究活動を行うものとする。

さらに、夏季講座を開講する。夏季講座は、「日野市立八ヶ岳高原大成荘」を拠点として、自然観察を中心とした内容とする。

①前期（5月～9月）、②後期（10月～2月）、③夏季講座（7月下旬）

イ．各講座の単位時間と単位数

①1単位時間を概ね2時間（土曜日午後）とする。

②単位数を概ね8単位とする。

③夏季講座は、5単位とする。

ウ．夏季講座の移動用バス借上料以外の諸費用は、参加者の自己負担とする。

(3) 対象児童と定員

各講座の定員を40名とする。ただし、前期は6年生児童、後期は5年生児童を対象とする。夏季講座は、前期講座終了者を主たる対象とする。

4. 運営組織

(1) 科学教育センター長、センター次長、主任を置く

- ①科学教育センター長は、科学教育センターの設置校長とする。
- ②科学教育センター次長は、科学教育センターの設置教頭とする。
- ③主任は、東京都嘱託職員を充てるものとする。

(2) 科学教育センター運営委員会を置く

- ①次の運営委員による協議を基に科学教育センターを運営する。

- ア. 委員長（小学校長） 1名
- イ. 副委員長（科学教育センター長） 1名
- ウ. 副委員長（小学校教頭） 1名
- エ. 科学教育センター次長 1名
- オ. 科学教育センター主任及び担当 2名
- カ. 指導員（小学校教諭） 4名
- キ. 日野市教育委員会学校教育部指導室長 1名
- ク. 日野市教育委員会指導主事 1名

- ②運営委員会は委員長が召集する。

(3) 指導組織

- ①科学教育センター長、次長の指導の下、主任と指導員が協力してセンター生の指導に当る。
- ②指導員は、センター生の小集団を形成し、これを責任を持って援助・指導に当る。

(4) 指導員を置く

- ①小学校教諭を持って充てる。
- ②学習内容に即した社会人講師を充てる。ただし、科学教育センター長の要請によるものとする。

(5) 指導計画作成委員会を置く

- ①指導計画作成委員会を設置し、各期及び夏季講座の指導計画を作成する。
- ②指導計画作成委員会は、科学教育センター長の指導のもと、センター主任が中心となり、指導員の協力のもとに指導計画を作成する。

運営費・その他

(1) 科学教育センター委託費

授業委託費を運営費（消耗品、備品、印刷費、夏季講座バス借上料等）並びに指導員等の報酬に当てる。

(2) センター生（児童）の通学

- ①科学教育センターへの通学のための諸費用はセンター生の自弁とする。
- ②通学途中における交通事故等による災害補償は、児童の在籍校が日本体育・学校健康センターへの手続きを行い、給付を受けるものとする。
- ③自転車による通学は禁止し、センター主任を中心として、適宜交通安全指導を行うものとする。

5. 科学教育センターの運営組織

委員長	許斐 文代（高幡台小学校長）	センター長	畑石 重輝（日野第五小学校長）
次 長	吉野美智子（日野第五小学校教頭）	主 任	江口 耕一（教職員研究室）
担 当	小幡 建（教職員研究室）		
指 導 員	矢口由美子（日野第一小学校教諭）	指 導 員	金田 奈穂（高幡台小学校教諭）
指 導 員	飯塚 昭（日野第二小学校教諭）	指 導 員	豊田 光（日野第七小学校教諭）
指 導 員	井上 充（日野第三小学校教諭）	指 導 員	高瀬はる美（南平小学校教諭）
指 導 員	丸山由紀夫（日野第四小学校教諭）	指 導 員	鈴木美弥子（程久保小学校教諭）
指 導 員	鈴木 節子（日野第五小学校教諭）	指 導 員	根岸 朋代（程久保小学校教諭）
指 導 員	鶴間 紀子（日野第六小学校教諭）	指 導 員	田代 久子（旭が丘小学校教諭）
指 導 員	牧野 豊（潤徳小学校教諭）	指 導 員	中村 康成（平山台小学校教諭）
指 導 員	前澤 正治（平山小学校教諭）	指 導 員	市川 博子（東光寺小学校教諭）
指 導 員	大成 鐸夫（日野第八小学校教諭）	指 導 員	真野 功（三沢台小学校教諭）
指 導 員	木附 隆三（百草台小学校教諭）	指 導 員	八木 正子（仲田小学校教諭）
指 導 員	遠田 弘（滝合小学校教諭）		

日野市立公立学

学校名	校(園)長名	学級数	児童数 (生徒数)	教員数	電話	所在地	交通機関
第一幼稚園	上野 美津枝	四	一一六	六	81 4124 4105	多摩平四一三	中央線豊田駅下車、徒歩十分
第二幼稚園	平向 邦江	二	六一	四	91 4125	平山四一五一四	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分
第三幼稚園	坂口 嘉津子	二	六一	四	81 7127	日野本町二一四一一	中央線日野駅下車、徒歩七分
第四幼稚園	山本 智恵子	二	六〇	四	83 3903	石田四三一六	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口
第五幼稚園	渡辺 明子	二	五七	四	92 0432	三沢一七五	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分
第六幼稚園	梶村 和子	二	四九	四	92 6330	程久保八七六一二	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車
第七幼稚園	酒匂 瑠美子	四	一〇四	六	86 3770	旭が丘二一四二	中央線豊田駅下車、徒歩十五分
第一小学校	岩下 和夫	一四	四五二	二二	81 0073 0061	日野本町二一四一一	中央線日野駅下車、徒歩六分
第二小学校	秋山 憲一	一九	五七〇	二六	81 0070 0851	東豊田二一四一一	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分
第三小学校	三津山 要	二二 (二二)	三五六 (六)	二二	81 0101 0850	日野台二一一一	中央線日野駅下車、徒歩十分 京王バス日野自動車前下車、徒歩七分
第四小学校	小原 良雄	一五	五〇一	二五	81 0038 3076	石田四三〇	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分
第五小学校	畑 石重輝	一七 (一七)	五四三 (三三)	二八	81 0407 0445	多摩平六一二一一	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車
第六小学校	小笠原 久雄	一六	四七六	二五	81 0366 4686	多摩平三一二二	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分
潤徳小学校	香川 善平	一二	三六一	一九	91 0409 0410	高幡四〇二	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分
平山小学校	畑野 元一	一二	三四七	二〇	91 4123 0512	平山四一八一六	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分
第八小学校	鈴木 利恵子	一八	六〇五	二六	91 2411 2412	三沢二〇〇	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分
百草台小学校	木内 秀雄	一〇 (一〇)	二九四 (八)	一九	91 0997 0998	百草九九九	高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車 徒歩五分

校・幼稚園一覽

1996年5月1日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
西田敦子	許斐文代	品田敏男	馬場武	小林繁人	熊野時巳	増賀従男	鍋田良子	飯田國代	河野和昌	松澤茂久	日食和雄	名塚三雄	福島良樹	松原勇	山崎妙子	谷合明雄	中根勉
一四	九	一七	一三	一〇	二一	八 ^(二)	一二	一〇	八	一六	一六	一二 ^(二)	一六	一八	一六	一八 ^(二)	一一
四一三	二五四	五九〇	四四八	三〇五	七五三	一九五 ^(一三)	三二三	二六九	二六八	六〇九	五五七	四二二 ^(二)	五六五	六五九	五三一	六七〇 ^(九)	二六五
二一	一六	二四	二二	一八	三一	一七	一八	一八	一六	三二	二九	二七	三〇	三三	三〇	三五	二三
83 5172 5173	91 7011 7012	83 3907 3908	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保一―一四―二	旭が丘五―二一―一	平山二―一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一―七四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―二	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四―二	三沢二五	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

() 内は心障学級数

校長・教頭事業担当一覧

1. 学校教育部

(1) 指導室関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
主 任 会	教 務 主 任 会	西田 敦子	福島 良樹	雨宮 充	石川 光男
	生 活 指 導 主 任 会	小笠原久雄		岡田壽美子	
	中学校生活指導主任会		松澤 茂久		酒井 德行
	進 路 指 導 主 任 会		谷合 明雄		片倉 俊秀
	保 健 主 任 会	三津山 要	日食 和雄	逸見 明男	鈴木 渉
	研 究 主 任 会	秋山 憲一	松原 勇	青木 友晴	鈴木 渉
	体 育 主 任 会	熊野 時巳		佐藤 静雄	
委 員 会	人権尊重教育推進委員会	秋山 憲一	福島 良樹	難波 和子	深山 睦弘
	教育課題研究推進委員会				
	環境教育推進部会	増賀 從男			
	生き方教育推進部会		谷合 明雄	小杉 博司	
	男女平等教育研究推進部会	香川 善平			
	国際理解教育推進部会		松原 勇	宇野有斐子	
	情報教育推進委員会	河野 和昌	名塚 三雄	光地 幸子	正留 久巳
	学校週五日制検討委員会	西田 敦子 鈴木利恵子 三津山 要	福島 良樹	雨宮 充 清水 義路	石川 光男
	情報公開検討委員会	岩下 和夫	日食 和雄	武内 忠雄	深山 睦弘
	科学センター検討委員会	畑石 重輝 許斐 文代			
	教科用図書調査研究委員会				
	(国語)		山崎 妙子		片倉 俊秀
	(社会)		中根 勉		中野 樹
	(数学)		名塚 三雄		酒井 德行
	(理科)		福島 良樹		辻野 良子
	(音楽)		松澤 茂久		鈴木 渉
	(美術)		松澤 茂久		正留 久巳
	(体育)		日食 和雄		石川 光男
	(技家)		谷合 明雄		鈴木 渉
	(英語)		松原 勇		深山 睦弘

委 員 会	教科用図書選定審議会		山崎 妙子 谷合 明雄		
	教育課程資料作成委員会(国語) (社会) (算数) (理科) (生活) (音楽) (図工) (体育) (家庭)	鈴木利恵子 品田 敏男 畑野 元一 許斐 文代 木内 秀雄 小原 良雄 河野 和昌 熊野 時巳 飯田 國代		逸見 明男 佐藤 静雄 田中 晴美 宇野有斐子 上條 茂 光地 幸子 高橋 茂子 清水 義路 西森 恵子	
運 営	音楽鑑賞教室運営委員会 日光移動教室運営委員会	飯田 國代 畑野 元一 品田 敏男 木内 秀雄	名塚 三雄	高橋 茂子 光地 幸子 佐藤 静雄 太田由起夫 青木 友晴 清水 義路	鈴木 渉
	水泳記録会運営委員会	飯田 國代 熊野 時巳	松原 勇	森野 豊 上條 茂	中野 英樹
	相談学級運営協議会 学校図書館主任連絡会	増賀 従男	山崎 妙子 山崎 妙子	宇野有斐子	片倉 俊秀
委 託	授業改善委員会 心身障害教育推進協議会	秋山 憲一 小原 良雄 増賀 従男 三津山 要 畑石 重輝 木内 秀雄 畑石 重輝	福島 良樹 名塚 三雄 谷合 明雄	八木 文夫 高橋 茂子 太田由起夫 上條 茂 吉野美智子	中野 英樹 辻野 良子
	科学教育センター				
推 進	就学相談委員会 英語指導改善委員会 教員研修実施協議会	三津山 要 木内 秀雄 小林 繁人 小原 良雄 鍋田 良子 畑石 重輝 畑野 元一	名塚 三雄 福島 良樹 谷合 明雄 松原 勇 山崎 妙子	小杉 博司 青木 友晴 難波 和子 武内 忠雄 斎藤 正子	辻野 良子 深山 睦弘 辻野 良子 酒井 德行 辻野 良子
	日野市教育研究会 書初展運営委員会				

資 料	福 祉 副 読 本 改 定 委 員 会	鈴木恵子	中根 勉	西森 恵子	辻野 良子
	「まどべ」編集委員会	品田 敏男		清水 義路	中野 英樹
	子供の人権読本作成委員会	秋山 憲一	福島 良樹	田中 晴美	中野 英樹

(2) 庶務課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
	戦 後 教 育 史 編 纂 委 員 会	小林 繁人	中根 勉		

(3) 学務課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
給食関係	給 食 主 任 会	香川 善平	中根 勉	光地 幸子	正留 久巳
	学 校 給 食 会	香川 善平	中根 勉	光地 幸子	正留 久巳
保健関係	学 校 保 健 会	三津山 要	日食 和雄	逸見 明男	鈴木 渉
	養 護 教 諭 会	三津山 要	日食 和雄		

(4) 研究室関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	運 営 審 議 会 委 員 会	岩下 和夫			
	事 業 推 進 委 員 会	西田 敦子 小笠原久雄	名塚 三雄	逸見 明男	酒井 德行

2. 社会教育部

(1) 社会教育関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	社 会 教 育 委 員 会	岩下 和夫			
	市 P T A 連 絡 協 議 会 理 事	畑石 重輝 畑野 元一 許斐 文代	松澤 茂久 日食 和雄		

(2) 体育課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	学校体育施設解放運営委員	熊野 時巳		吉野美智子	石川 光男

(3) 図書館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	図 書 館 運 営 審 議 委 員	西田 敦子			

(4) 公民館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	公 民 館 運 営 審 議 委 員	小林 繁人			

(5) ふるさと博物館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	ふ る さ と 博 物 館 運 営 委 員	鈴木利恵子	松澤 茂久		

3. 都校長会・都教育委員会関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	環 境 週 間 行 事 運 営 委 員	増賀 従男			

4. その他

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	環 境 緑 化 協 会 評 議 委 員	増賀 従男			
	市 教 職 員 互 助 会 理 事	馬場 武			
	保 健 所 事 業 運 営 委 員	馬場 武			

管理運営規則

	学 校 名	学 校 長	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日 野 一 小	岩下 和夫	志賀 由具	黒川 和彦	矢口由美子	
2	日 野 二 小	秋山 憲一	小島 義範	高橋 孝子	渡辺 敏子	
3	日 野 三 小	三津山 要	橋本 清明	長澤 範重	渡辺三枝子	
4	日 野 四 小	小原 良雄	矢野 優	安西 利江	丸山 幸江	
5	日 野 五 小	畑石 重輝	鈴木 節子	馬場 富男	今野 峰子	
6	日 野 六 小	小笠原久雄	市川 光男	和田 雅実	内田 一美	
7	潤 徳 小	香川 善平	高橋 健	志村 道子	川原田和子	
8	平 山 小	畑野 元一	渡辺 学	田中 延子	佐藤ヒサ子	
9	日 野 八 小	鈴木利恵子	中山 勉	神 幸子	井戸川君代	
10	百 草 台 小	木内 秀雄	菱田美恵子	木附 隆三	船山 陽子	
11	滝 合 小	西田 敦子	染谷 定昭	西尾 京子	五十嵐容子	
12	高 幡 台 小	許斐 文代	銭廣 芳子	国領美那子	古越 富子	
13	日 野 七 小	品田 敏男	河野 千秋	岩松 親和	國崎 桑子	
14	南 平 小	馬場 武	山田 栄子	千葉 正美	村山 栄子	
15	程久保小	小林 繁人	三木 滋	粕谷 吉弘	吉川 美幸	
16	旭が丘小	熊野 時巳	窪田 正子	栗原 茂	進藤 章子	
17	平山台小	増賀 従男	中村 康成	山田 謙一	荒居 和子	
18	東光寺小	鍋田 良子	小林むつみ	佐藤 幸夫	渡辺 知子	
19	三沢台小	飯田 國代	鷹尾富貴江	小林 和子	太島真知子	
20	仲 田 小	河野 和晶	雨宮 宣夫	岩崎 英夫	小林八重子	
1	日 野 一 中	松澤 茂久	渡辺 重己	吉田 俊明	芝田 美保	山川 徳弥
2	日 野 二 中	日食 和雄	小鷹 文一	野口 英一	三瓶 法子	鬼頭 昭
3	七 生 中	名塚 三雄	瀬川 昭英	真仲 祐一	徳田 紀恵	西川 路子
4	日 野 三 中	福島 良樹	熊谷 仁一	成田 信義	小林 浄子	吉田 俊光
5	日 野 四 中	松原 勇	鎌田 義男	石川 晴一	松岡 由香	中山 郁子
6	三 沢 中	山崎 妙子	長友 良嗣	清水 明	小野田恵子	磯部 博子
7	大坂上中	谷合 明雄	三浦 利信	池田 誠喜	小美濃亜矢子	佐藤 至正
8	平 山 中	中根 勉	中里 久子	中嶋建一郎	阿部貴美子	福里 佳代

第八條に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
田中ユミ子	乾 ひさ子	丸茂 洋子	本田 和美	小川賀世子	土方 久枝
小口 澄代	西志村二三子	高橋 孝子	久保田由子	小林恵久子	楨 圭子
前田佐和子	諏訪 英樹	井上 充	古家 静子	長澤 範重	由比ヶ濱慶子
植田 知江	坂本 有子	田村 直樹	福田 功	田中 和子	玉置 順子
高橋真知子	徳永 英子	御木 茂	越村あや子	酒匂由美子	鈴木知英子
佐々木隆雄	高木千恵子	垣内奈緒美	逸見 黎子	清水 良夫	渡辺 友子
小俣 靖江	武井かをり	川原田和子	渋谷 鈴子	渡邊 桂子	清水 絢子
池田 雅子	比嘉 道子	金子 直子	茅野とめ子	秦 弘教	橋本美枝子
三浦理恵子	土井 公子	横山 昌司	山下 幸代	林 亀三	斉藤 悦子
山本さき子	大島ルミ子	岡島 美代	中村みどり	有賀 康美	木附 隆三
小山 隆	栗原 典子	後藤 絢子	五十嵐容子	上條かなあ	田野倉みつあ
越智 久子	富田 郁子	金田 奈穂	国領美那子	高橋 智子	銭廣 芳子
川井田和子	国崎 桑子	藤本はるみ	外山 理佳	赤井 光子	井浦 弘
永原 愛子	宗近 孝子	溝江恵美子	西原美枝子	小林 照子	村山 栄子
矢野百合子	森 幸子	吉川 美幸	後藤 欣子	吉野 宏	粕谷 吉弘
吉川 都子	入田 純子	和栗 悦子	窪田 弥生	田代 久子	秋野美津子
倉津 節子	山田 謙一	若松富紀子	小山田ひろみ	吉尾真理子	宇留賀真理子
青山 幸江	三枝 光子	笹本 竹司	会田 尚子	藤井 義啓	笠井 祐子
山浦 幸子	桑田 悦子	鷹尾富貴江	松田 真弓	鈴木 茂子	茂木 敏光
和田いさを	西 弘美	小山しおり	岩崎 英夫	植松久美子	八木 正子
荒 延江	寺澤 義雄	浅野 和也			
橋本 幹雄	三條 正善	山田 雄次			
今井 正喜	鈴木 茂	真柴 哲子			
服部 圭助	山口 俊浩	荒川 善敏			
辰巳 恵子	荒川 歌津	高麗 隆治			
横溝 照夫	柄沢都世子	原田 康司			
木下 英典	田熊 裕	佐藤 勇			
吉野 豊生	坂井 悦子	堤 信博			

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研究・研修	人 権 尊 重	国 語 科	社 会 科	算数・数学科
1	日 野 一 小	丸茂 洋子	乾 ひさ子	小川賀世子	土方 久枝	本多 和美
2	日 野 二 小	槇 圭子	寺本恵久子	西志村二三子	後藤 健夫	矢野 良枝
3	日 野 三 小	樋口 俊子	長澤 範重	前田佐和子	小峯みゆき	由比ヶ濱慶子
4	日 野 四 小	鈴木 淳	塚本 純子	川口 雅恵	田中 和子	赤松 昭子
5	日 野 五 小	斉藤 弥生	折笠 玉典	徳永 英子	寺岡千恵子	馬場 富男
6	日 野 六 小	鶴間 紀子	霊山 邦夫	垣内奈緒美	鶴間 紀子	渡辺 友子
7	潤 徳 小	清水 絢子	渋谷 鈴子	清水 絢子	渋谷 鈴子	松崎しのぶ
8	平 山 小	品田 真	橋本美枝子	比嘉 道子	金子 直子	品田 真
9	日 野 八 小	三浦理恵子	海老原眞知子	石岡 房子	横山 昌司	安斎美代子
10	百 草 台 小	中村みどり	菱田美恵子	中村みどり	岡島 美代	大鳥ルミ子
11	滝 合 小	小山 隆	高橋 紀子	五十嵐容子	後藤 絢子	馬場 裕子
12	高 幡 台 小	高橋 智子	井上 洋美	金田 奈穂	国領美那子	越智 久子
13	日 野 七 小	小坂 克信	川井田和子	神 匡子	小坂 克信	馬場 裕美
14	南 平 小	依田 逸夫	宗近 孝子	永原 愛子	生井 恵子	溝江恵美子
15	程 久 保 小	森 幸子	根岸 朋代	後藤 欣子	鎌田 由美	吉川 美幸
16	旭 が 丘 小	須藤 春美	高田 真澄	小林あやめ	田代 久子	大友 紀子
17	平 山 台 小	山田 謙一	荒居 和子	仲本 雅代	山田 謙一	倉津 節子
18	東 光 寺 小	秋葉 榮一	会田 尚子	三枝 光子	高木 宏	会田 尚子
19	三 沢 台 小	茂木 敏光	湯浅百香里	小林 和子	真野 功	湯浅百香里
20	仲 田 小	植松久美子	植松久美子	次田 恵三	小山しおり	岩崎 英夫
1	日 野 一 中	山田 智之	山田 智之	中村理英子	横井 純子	浅田 敏之
2	日 野 二 中	松元 郁子	藤塚 康子	星 真澄	藤塚 康子	松元 郁子
3	七 生 中	船田 伸一	松井 保子	杉山 典子	真仲 祐一	松原 清
4	日 野 三 中	御木 聖子	山口 俊浩	熊谷 純子	大谷 浩	藤塚 正
5	日 野 四 中	菊池 基文	嘉向三樹男	鎌田 義男	村上 俊彦	塩谷 直子
6	三 沢 中	阿部信一郎	古怒田幸一	阿部信一郎	横溝 照夫	染葉 仁博
7	大 坂 上 中	高橋 陽子	池田 誠喜	新名美恵子	岡 猛人	村田 厚子
8	平 山 中	木所 智	木所 智	林 範夫	水谷 健治	木所 智

及び担当一覧表（その１）

理 科	生 活 科	音 楽 科	図工・美術科	体 育 ・ 保健体育科	技 術 ・ 家庭科（女）
志賀 由具	馬場 俊子	栖原 太郎	関 賀穂留	菊池 修	山本 順子
飯塚 昭	小口 澄代	須山ひとみ	川名 勝紀	赤木はるか	槇 圭子
長澤 範重	北島あけみ	森 菜摘	宗像ゆき子	北島あけみ	樋口 俊子
塚本 純子	植本 史子	田島 泉	小野絵美子	福田 功	玉置 順子
鈴木 節子	菊地 和子	岡田 恵子	北野 義昭	山木さゆみ	落合 典子
市川 光男	高木千恵子	村上 悦子	霊山 邦夫	清水 良夫	森田 隆子
牧野 豊	盛 恭子	饗庭 仁美	小俣 靖江	小野 勝政	渡邊 桂子
前澤 正治	田中 延子	千秋 香	服部たかし	秦 弘教	梅澤 芳美
大成 鐸夫	三浦理恵子	鶴蘭美千代	高橋 英子	林 亀三	安田キミ子
荒木 正美	山本さき子	石井 典子	丸 カズ子	坂本 和子	菱田美恵子
遠田 弘	小山 隆	小林佳代子	岩崎 裕	田野倉みつゑ	高橋 紀子
銭廣 芳子	井上 洋美	作山 秀樹	宇留賀公夫	宇留賀公夫	高橋 智子
豊田 光	国崎 桑子	寺澤千代子	尾関いずみ	井浦 弘	末間 志信
山田 栄子	高瀬はる美	稲葉 重樹	依田 逸夫	九貫 政博	村山 栄子
鈴木美弥子	矢野百合子	川上 一枝	木村 令子	吉野 宏	田中 悦子
岡田 充生	高田 真澄	田中千枝子	梅田 勝裕	山崎 富子	佐藤 智子
中村 康成	坂井ミチ子	二宮 弘美	大久保睦子	小山田ひろみ	吉尾真理子
笹本 竹司	青山 幸江	洲崎 明美	秋葉 榮一	藤井 義啓	小林むつみ
鈴木 茂子	桑田 悦子	征矢ちづる	倉林 晴夫	茂木 敏光	佐々木幸恵
雨宮 宣夫	西 弘美	櫻川 順子	鶴田久美子	佐藤 民男	八木 正子
春山 哲雄		大野ゆき子	田和 菜穂	斉藤 光人	荒 延江
柴山和華子		鈴木 晶子	斉藤まりえ	石川 恵子	秋庭 英子
松井 保子		櫻井 圭子	常松 瑞穂	今井 正喜	佐藤 壽枝
細谷 敏昭		笠井 洋子	早崎 希子	横溝 雅之	鈴木恵理子
斎藤 道		小池 享子	村上 和男	市川佐和子	古川 彰子
小山田順子		植松 幸子	及川 克裕	石田 志	鶴田 幸二
関 順子		刀禰 考司	成瀬 誠	堀田 智暁	三浦 利信
坂井 悦子		松野 智子	中里 久子	鈴木 浩	小杉 智代

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	英 語 科	進 路	特 別 活 動	学 校 行 事	視 聴 覚
1	日 野 一 小			馬場 俊子	志賀 由具	井口 幸恵
2	日 野 二 小			内田 知子	小島 義範	飯塚 昭
3	日 野 三 小			森 菜摘	橋本 清明	井上 充
4	日 野 四 小			名取 明代	坂本 有子 福田 功	田村 直樹
5	日 野 五 小			鈴木知英子	鈴木 節子	成井由貴乃
6	日 野 六 小			渡邊美佐緒	市川 光男	飴家 純
7	潤 徳 小			牧野 豊	高橋 健	牧野 豊
8	平 山 小			千秋 香	渡辺 学	前澤 正治
9	日 野 八 小			横山 昌司	中山 勉	中山 勉
10	百 草 台 小			岡島 美代	菱田美恵子	木附 隆三
11	滝 合 小			上條かなゑ	上條かなゑ	染谷 定昭
12	高 幡 台 小			富田 郁子	宇留賀公夫 作山 秀樹	山中 康生
13	日 野 七 小			國安 輝至	河野 千秋	國安 輝至
14	南 平 小			溝江恵美子	山田 栄子	芝田 理恵
15	程久保小			田中 悦子	三木 滋	三木 滋
16	旭が丘小			青柳香保留	窪田 正子	入田 純子
17	平 山 台 小			仲本 雅代	中村 康成	山田 謙一
18	東 光 寺 小			市川 博子	小林むつみ	高木 宏
19	三 沢 台 小			真野 功	鷹尾富貴江	倉林 晴夫
20	仲 田 小			櫻川 順子	雨宮 宣夫	佐藤 民男
1	日 野 一 中	沢田 陽子	山川 徳弥	杉本 恵志	渡辺 重巳	田和 菜穂
2	日 野 二 中	横井 直子	鬼頭 昭	松元 郁子	小鷹 文一	橋本 幹雄
3	七 生 中	横田 恵子	西川 路子	真仲 祐一	瀬川 昭英	小菅 房子
4	日 野 三 中	富沢 隆	吉田 俊光	熊谷 仁一	熊谷 仁一	岩崎 弘晃
5	日 野 四 中	船矢 厚子	中山 郁子	齋藤 道	鎌田 義男	遠藤 博
6	三 沢 中	平山 泰子	磯部 博子	長友 良嗣	長友 良嗣	小山田順子
7	大 坂 上 中	林田 千野	佐藤 至正	木嶋 健	三浦 利信	田熊 裕
8	平 山 中	常松 悦子	福里 佳代	小杉 智代	中里 久子	林 範夫

及び担当一覧表（その２）

学校図書館	給 食	安 全 教 育	養 護
乾 ひさ子	山本 順子	田中ユミ子	清水 妙子
西志村二三子	小口 澄代	高橋 孝子	渡辺 敏子
橋本 清明	小峯みゆき	宗像ゆき子	渡辺三枝子
玉置 順子	橋爪 憲子	鈴木 淳	丸山 幸江
酒匂由美子	岡田 恵子	馬場 富男	金野 峰子
菊池 静枝	森田 隆子	和田 雅実	内田 一美
松崎しのぶ	饗庭 仁美	川原田和子	塚本 聡美
池田 雅子	梅澤 芳美	服部たかし	佐藤ヒサ子
間島 春美	夏目たみ子	三浦理恵子	井戸川喜代
荒木 正美	丸 カズ子	中村みどり	藤森八重子
後藤 絢子	高橋 紀子	遠田 弘	戸塚美由記
越智 久子	金田 奈穂	国領美那子	古越 富子
河野 千秋	神 匡子	小林 良江	中山 伸子
宗近 孝子	網野 嘉恵	小林 照子	竹野 久乃
森 幸子	矢野百合子	粕谷 吉弘	田島 佳子
青柳香保留	塚田美佐江	梅田 勝裕	進藤 章子
若松富紀子	中原 正毅	吉尾真理子	荒居 和子
笹本 竹司	笠井 祐子	佐藤 幸夫	渡辺 知子
桑田 悦子	征矢ちづる	桑田 悦子	太島真知子
八木 正子	西 弘美	岩崎 英夫	小林八重子
田和 菜穂	宮尾 文子	大野ゆき子	芝田 美保
伊藤 信吾	横井 直子	田中 厚	三瓶 法子
杉山 典子	佐藤 壽枝	松井 保子	徳田 紀恵
杉本 洋子	岡部 純子	成田 信義	小林 浄子
森 紀子	小池 享子	竹田 和彦	松岡 由香
岡辺 稔	平山 泰子	古怒田恵子	小野田恵子
上地 悦子	横山砂知子	岡 猛人	小美濃亜矢子
吉野 豊生	常松 悦子	金田 広美	阿部貴美子

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	心身障害 推進協議会委	情報教育推進委員	相談学級運営協議会	英語指導改善委員
1	日野一小	井口 幸恵			
2	日野二小	菅野 君江			
3	日野三小	長澤 範重			
4	日野四小	田中 和子			
5	日野五小	成井由貴乃			
6	日野六小	望月 朝子			
7	潤 徳 小	盛 恭子			
8	平 山 小	茅野とめ子			
9	日野八小	海老原眞知子			
10	百草台小	有賀 康美			
11	滝 合 小	日高真理子			
12	平山台小	倉津 節子			
13	高幡台小	国領美那子			
14	日野七小	未間 志信			
15	南 平 小	山田 栄子			
16	程久保小	森 幸子			
17	旭が丘小	大友 紀子			
18	東光寺小	三枝 光子			
19	三沢台小	佐々木幸恵			
20	仲 田 小	小林八重子			
1	日野一中	田和 奈穂	清水 肇	平沢 明雄	沢田 陽子
2	日野二中	田中 幸美	松元 郁子	田中 幸美	横井 直子
3	七 生 中	藤井 周郎	鈴木 茂	柳沢 宣子	横田 恵子
4	日野三中	服部 圭助	大谷 浩	成田 信義	富沢 隆
5	日野四中	村上 俊彦	遠藤 博	嘉向三樹男	高麗 隆治
6	三 沢 中	鶴田 幸二	染葉 仁博	井原千恵子	平山 泰子
7	大坂上中	加藤 千泉	宇田川 修	林田 千野	林田 千野
8	平 山 中	林 範夫	堤 信博	中嶋建一郎	山根真砂子

及び担当一覧表（その３）

音楽鑑賞教室運営委員	日光移動教室運営委員	水泳記録会運営委員	科学教育センター指導員
栖原 太郎	矢口由美子	土方 久枝	矢口由美子
須山ひとみ	後藤 健夫	菅野 君江	飯塚 昭
森 菜摘		長澤 範重	井上 充
田島 泉	橋爪 憲子	矢野 優	丸山由紀夫
岡田 恵子	山北 雅史	馬場 富男	鈴木 節子
村上 悦子	小川浩太郎	鶴間 紀子	鶴間 紀子
饗庭 仁美	小野 勝政	小野 勝政	牧野 豊
千秋 香	渡辺 学	橋本美枝子	前澤 正治
鶴蘭美千代	赤松 紀子	林 亀三	大成 鐸夫
石井 典子	荒木 正美	木附 隆三	木附 隆三
小林佳代子	田野倉みつゑ	染谷 定昭	遠田 弘
二宮 弘美	宇留賀真理子	中村 康成	中村 康成
作山 秀樹	五味 小波	銭廣 芳子	金田 奈穂
寺澤千代子	神 匡子	井浦 弘	豊田 光
稲葉 重樹	村山 栄子	九貫 政博	高瀬はる美
川上 一枝	田中 悦子	粕谷 吉弘	鈴木美弥子・根岸朋代
田中千枝子	小林あやめ	金丸 仁志	田代 久子
洲崎 明美	高木 宏	内木志づ子	市川 博子
征木ちづる	真野 功	茂木 敏光	真野 功
櫻川 順子	佐藤 民男	八木 正子	八木 正子
大野ゆき子		藤山 浩子	
田中 幸美		石川 恵子	
櫻井 圭子		小菅 房子	
笠井 洋子		磯崎百合子	
田中知恵子		石川 晴一	
植松 幸子		石田 匡志	
刀禰 幸司		堀田 智暁	
松野 智子		鈴木 浩	

研 究 奨 励 事 業

1. 趣 旨

これからの学校は、児童・生徒が社会の変化に主体的に対応でき、生涯を通して学び続ける力と意欲を育むなど、個性を生かす教育を充実し、豊かな心をもちたくましく生きる児童・生徒を育成することが期待されている。

そのためには、各学校がこれまで以上に自ら学ぶ意欲、主体的に学ぶことのできる学習方法などを身に付けられるよう援助・指導することが大切である。

児童・生徒が、学び方を学び、自ら考え、主体的に判断し行動できるようにするためには、児童・生徒自らが見たり、聞いたり、調べたりする体験的な学習を通し、生きてはたらく知識を身に付けられるようにすることである。

よって、各学校では、学習指導の改善・充実という視点から、児童・生徒が基礎的・基本的な内容を身に付ける過程を通して、さらにそれらを基盤としながら一人一人の個性を生かし、それを伸ばす学習指導のあり方など、授業実践を通して研究する必要がある。

研究奨励は、これからの学校教育を創造し、児童・生徒の個性尊重の教育の推進を目指して、新しい時代の要請に合った教育方法の開発を行うなど、意欲的に研究に取り組む学校、学年や教科等の研究実践を求めるものである。そして、日野市立小・中学校における豊かな教育実践をより一層充実し、生涯を通じて学び続けようとする児童・生徒の育成を図ろうとするものである。

2. 研究の種別及び補助金

① 校内研究補助費	120 千円
② 研究指定補助費	
・学校研究	450 千円
・グループ研究	88 千円
・個人研究	30 千円
③ 授業改善研究補助費	1000 千円

3. 研究期間

(1) 学校研究は、2年間の継続研究とする。但し、研究の内容により単年度の研究も認めるものとする。

(2) グループ研究及び個人研究は、単年度の研究とする。

尚、各研究奨励は、その研究と実践の成果を広く公開することを原則とする。特に、学校研究は、公開発表を条件とし、2年間継続研究する学校は、1年次に中間発表を実施し、2年次に本発表を実施するものとする。但し、単年度で研究を進める学校は、その年度内に公開発表するものとする。

4. 研究主題

21 世紀に生きる子供の生涯学習の推進を目指し、児童・生徒一人一人の個性を生かす教育の視点に立った指導の内容・方法の工夫・改善を図る研究として相応しいものとする。

5. 研究内容

下記のいずれかの事項に重点をおいて研究を推進する。

(1) 研究指定補助

- ア 小集団による主体的・創造的な学習指導に関する研究であること
- イ ティームティーチング等の指導方法・形態に関する研究であること
- ウ 体験的な学習活動に関する研究であること
- エ 地域素材を生かした教育活動に関する研究であること

(2) 校内研究補助

教育内容・指導方法の改善を積極的に進めるための研究や、各学校の教育推進上の課題解決を目指した校内研究・研修

(3) その他

5. (1) ア からエまでの内容の他、基礎・基本の徹底や、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の資質・能力の育成等、一人一人の個性を生かす教育の充実を図る学習指導に関する研究である場合も、研究内容として含める。

6. 研究奨励の申請

学校研究、グループ研究、個人研究、校内研究とともに、各学校長が日野市教育委員会に別紙の申請書により、必要事項を記載し、申請する。申請書には、研究計画書を添付するものとする。

尚、研究奨励受給者の決定は、日野市教育委員会が授業改善委員長に諮問し決定する。

7. その他

経費の収支決算については、別途報告書を校長の確認を経て、期日までに日野市教育委員会学校教育教育部指導室宛に提出する。

研究奨励受給者一覧

① 学校奨励

学 校 名	代 表 者	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第一小学校	岩 下 和 夫	よさを発揮し、心と体を高めあう体育学習 (研究主題の達成をめざし、授業研究を中心に、小集団及びT、Tによる指導方法の究明)
南 平 小 学 校	馬 場 武	児童の主体性を育てる活動の研究 (・児童が主体的に学ぶことのできる指導法の工夫 ・児童が主体的に活動できる学級経営の工夫)

② 団体奨励

学 校 名	代 表 者	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第一小学校	清 水 俊 幸	インターネット化に関する調査研究 アメリカマッキンレイ小学校との交流・実践を通して(マッキンレイ小学校とのインターネット化を進めるため①提携の内容②交流の方法を研究する。)
日野第四小学校	丸 山 幸 江	エイズ理解・予防に関する指導 (エイズに関して、児童に正しい理解と予防のための適切な態度を培い、エイズについての偏見や差別を払拭し、人権尊重について理解させる。)
日野第七小学校	小 坂 克 信	体験的な学習活動を進める地域素材の教材化 (日野の用水を使つての体験的な学習活動を深め、広げるための地域教材作り)
平 山 台 小 学 校	中 原 正 毅	表現力を高める指導法の研究 (・児童一人ひとりの意思表示を高める指導のあり方 ・質問と報告のちがいと話し方の研究 ・児童理解の好ましいあり方と児童と教師の相互関係の研究)
東 光 寺 小 学 校	秋 葉 榮 一	個に応じた創造的表現の追求 (図工科において創作した太鼓をもとに、音楽の授業の中で一人一人の音を、共に響きあう音へとする音作りの研究)
三 沢 中 学 校	井 原 千 恵 子	学校における教育相談のシステム確立 (校内における教育相談と諸機関との連携 教育相談室の活用マニュアル)
大 坂 上 中 学 校	山 田 よ し 子	興味関心を引き出す表現の活動 ー 3年選択授業におけるT、Tの指導方法と授業研究 ー (① 合唱活動を中心とした表現の指導 ② 器楽(リコーダー)活動を中心とした表現の指導 ③ 表現活動の系統化とそれに伴う教材の開発)

③ 個人奨励

学 校 名	代 表 者	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第四小学校	鈴 木 淳	児童が楽しんで主体的に学び合う体育の学習指導 (・ 児童が楽しんで学習意欲が出る教材の開発 ・ 児童が主体的に学習に取り組むための教師が指導する 内容の研究)

④ 校内研究

学 校 名	代 表 者	研 究 主 題
日野第二小学校	秋 山 憲 一	自ら学ぶ力を育てる指導法の研究
日野第三小学校	三津山 要	教材教具の充実・活用による指導法の改善
日野第四小学校	小 原 良 雄	一人一人が自ら考え、お互いに認め合い、高め合う 児童の育成
日野第五小学校	畑 石 重 輝	主体的活動をとおして楽しく学び合う児童の育成
日野第六小学校	小笠原 久 雄	自ら学ぶ子どもを育てる指導法
潤 徳 小 学 校	香 川 善 平	認め合い、学び合う力を育てる指導法の研究
平 山 小 学 校	畑 野 元 一	楽しくわかる算数の指導法の工夫
日野第八小学校	鈴 本 利恵子	自分の生命や他人の生命を大切にする子どもの育成
百草台小学校	木 内 秀 雄	考える力を育てる指導法の研究
滝 合 小 学 校	西 田 敦 子	子どもが意欲的に学ぶ学習活動の工夫
高 幡 台 小 学 校	許 斐 文 代	子供の意欲を伸ばす算数授業
日野第七小学校	品 田 敏 男	児童一人一人が自ら考え自ら学ぶ学習活動の工夫
程久保小学校	小 林 繁 人	児童の意欲が生きる指導法の工夫
旭が丘小学校	熊 野 時 已	ゆとりをもって子供に考えさせる指導法のあり方
平山台小学校	増 賀 従 男	人権尊重の教育推進 (基礎学力の向上をめざす学習指導の改善)
東光寺小学校	鍋 田 良 子	一人ひとりが生き生きと課題に取り組む指導法
三沢台小学校	飯 田 國 代	豊かな心を持ち進んで実践できる児童の育成
仲 田 小 学 校	河 野 和 昌	お互いを認め合い、高め合いながら 進んで学ぶの育成
日野第一中学校	松 澤 茂 久	社会に眼を開き、将来を展望する能力を育てる教科指導の 在り方
日野第二中学校	日 食 和 雄	教育相談
七 生 中 学 校	名 塚 三 雄	生徒が生き生きとする学校・学級づくり
日野第三中学校	福 島 良 樹	生徒理解を深めるための工夫 － 生徒との対話を通して －
日野第四中学校	松 原 勇	豊かな人間形成を目指した指導のあり方
三 沢 中 学 校	山 崎 妙 子	生徒理解の方法と実践
大坂上中学校	谷 合 明 雄	わが校の進路指導－生き方指導とは
平 山 中 学 校	中 根 勉	生徒理解を深めるための指導法の工夫

東京都教育研究員・教育開発委員会

〈教 育 研 究 員〉

第 五 幼 稚 園	教 諭	小 宮 広 子	幼 稚 園
日 野 第 一 小 学 校	教 諭	菊 池 修	体 育
潤 徳 小 学 校	教 諭	小 野 勝 政	算 数
日 野 第 八 小 学 校	教 諭	海 老 原 眞 知 子	道 徳
滝 合 小 学 校	教 諭	岡 部 ひ と み	生 活
平 山 台 小 学 校	教 諭	吉 尾 眞 理 子	社 会
三 沢 中 学 校	教 諭	横 溝 照 夫	教 育 課 題
三 沢 中 学 校	教 諭	阿 部 信 一 郎	学 校 給 食
大 坂 上 中 学 校	教 諭	池 田 誠 喜	保 健 体 育
大 坂 上 中 学 校	教 諭	安 里 喜 世 子	心 身 障 害 教 育
大 坂 上 中 学 校	教 諭	新 名 美 恵 子	学 校 保 健

〈教 育 開 発 委 員 会〉

七 生 中 学 校	教 諭	櫻 井 圭 子	音 楽
平 山 中 学 校	教 諭	中 嶋 建 一 郎	特 別 活 動

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村 図 書)
	「書 写」	(光 村 図 書)
社 会 科	「新編 新しい社会」	(東 京 書 籍)
	「楽しい小学校社会科地図帳」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校 算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新版 たのしい理科」	(大 日 本 図 書)
生 活 科	「せいかつ」	1 年 (教 育 出 版)
	「小学校 せいかつ」	2 年 (学 校 図 書)
音 楽 科	「小学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
図画工作科	「新版 図画工作」	(日 本 文 教 出 版)
保 健 科	「新・みんなの保健」	5 年 (学 習 研 究 社)
	「新しい保健」	6 年 (東 京 書 籍)
家 庭 科	「新編 新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村 図 書)
	「中学書写」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「社会科中学生の地理 世界のの人々と日本の国土最新版」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学校社会科地図 最新版」	(帝 国 書 院)
数 学 科	「新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「新しい科学(1. 2分野)」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「中学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
	「中学生の器楽」	(教 育 芸 術 社)
美 術 科	「美 術」	(日 本 文 教 出 版)
保健体育科	「新しい保健体育」	(東 京 書 籍)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開 隆 堂 出 版)
外国語科	「NEW TOTAL ENGLISH」	(秀 文 出 版)

就職・進学状況の推移（1990年～1995年）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育機関等 専修・各種学校	就 業 ・ そ の 他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高 等 学 校 全 日 制 課 程							高等学校定時制課程				高 等 専 門 学 校	高 等 学 校 通 信 制	盲 養 ・ ろ う 学 校		専 就 修 業 ・ 業 訓 練 校	計	就 職 者		無 業 者 （ 在 家 庭 者 ）
			計	国 公 立			私 立			計	普 通 科	職 業 科	就 職 進 学 者									
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計													
'90	計	1,983 (94.5)	1,886 (89.9)	830 (39.6)	195 (9.3)	1,025 (48.9)	802 (38.2)	59 (2.8)	861 (41.0)	67 (3.2)	32(私6) (1.8)	28(私1) (1.4)	10 (0.5)	10 (0.5)	18 (0.9)	8 (0.4)	63 (2.8)	52 (2.5)	30 (1.4)	22 (1.0)	2,098	
	男	1,018	939	440	89	529	375	35	410	57	24(私6)	26(私1)	8	10	12	6	28	44	26	18	1,090	
	女	965	947	390	106	496	427	24	451	10	8	2	2	0	6	2	35	8	4	4	1,008	
'91	計	1,782 (95.1)	1,718 (91.7)	782 (41.7)	172 (9.2)	954 (50.9)	674 (36.0)	90 (4.8)	764 (40.8)	38 (2.0)	32(私2) (1.7)	3(私1) (0.2)	9 (0.5)	15 (0.8)	7 (0.4)	4 (0.2)	48 (2.6)	44 (2.3)	32 (1.7)	12 (0.6)	1,874	
	男	961	911	409	108	517	339	55	394	28	22(私2)	3(私1)	6	14	5	3	24	35	26	9	1,020	
	女	821	807	373	64	437	335	35	370	10	10	0	3	1	2	1	24	9	6	3	854	
'92	計	1,882 (95.2)	1,813 (91.8)	798 (40.4)	234 (11.8)	1,032 (52.2)	699 (35.4)	82 (4.1)	781 (39.5)	32 (1.6)	26 (1.3)	6 (0.3)	1 (0.05)	9 (0.5)	22 (1.1)	6 (0.3)	63 (3.2)	30 (1.6)	11 (0.5)	20 (1.0)	1,976	
	男	1,027	973	449	128	577	349	47	396	23	18	5	1	8	19	4	24	22	11	11	1,073	
	女	855	840	349	106	455	350	35	385	9	8	1	0	1	3	2	39	9	0	9	903	
'93	計	1,663 (95.8)	1,618 (93.2)	755 (43.5)	183 (10.5)	938 (54.0)	602 (34.7)	77 (4.4)	679 (39.1)	27 (1.6)	21 (1.2)	6 (0.3)	10 (0.6)	2 (0.1)	10 (0.6)	3 (0.2)	40 (2.3)	31 (1.8)	18 (1.0)	13 (0.7)	1,736	
	男	850	817	381	8.8	469	296	51	347	17	12	5	6	2	10	1	18	23	15	8	893	
	女	813	801	374	9.5	469	306	26	332	10	9	1	4	0	0	2	22	54	3	5	843	
'94	計	1,649 (95.9)	1,571 (91.4)	787 (45.7)	155 (9.0)	942 (54.8)	541 (31.5)	88 (5.1)	629 (36.6)	47 (2.8)	40 (2.4)	7 (0.4)	3 (0.2)	7 (0.4)	20 (1.2)	4 (0.2)	33 (1.9)	37 (2.2)	18 (1.1)	19 (1.1)	1,719	
	男	854	787	399	86	485	244	58	302	39	33	6	3	7	18	3	14	24	14	10	892	
	女	795	784	388	69	457	297	30	327	8	7	1	0	0	2	1	19	13	4	9	827	
'95	計	1,959 (96.7)	1,393 (68.8)	700 (34.6)	149 (7.4)	849 (41.9)	496 (24.5)	48 (2.4)	544 (26.9)	38 (1.9)	27 (1.3)	10 (0.5)	1 (0)	3 (0.1)	6 (0.3)	13 (0.6)	41 (2.0)	26 (1.3)	21 (1.0)	5 (0.2)	2,026	
	男	999	714	345	97	442	238	34	272	26	19	6	1	3	4	6	29	20	17	3	1,048	
	女	960	679	355	52	407	258	14	272	12	8	4	0	0	2	7	12	6	4	2	978	

園児・児童・生徒・学級数

〈 1996 年 5 月 1 日現在〉

上段 1996 年度
下段 1995 年度 () 学級数

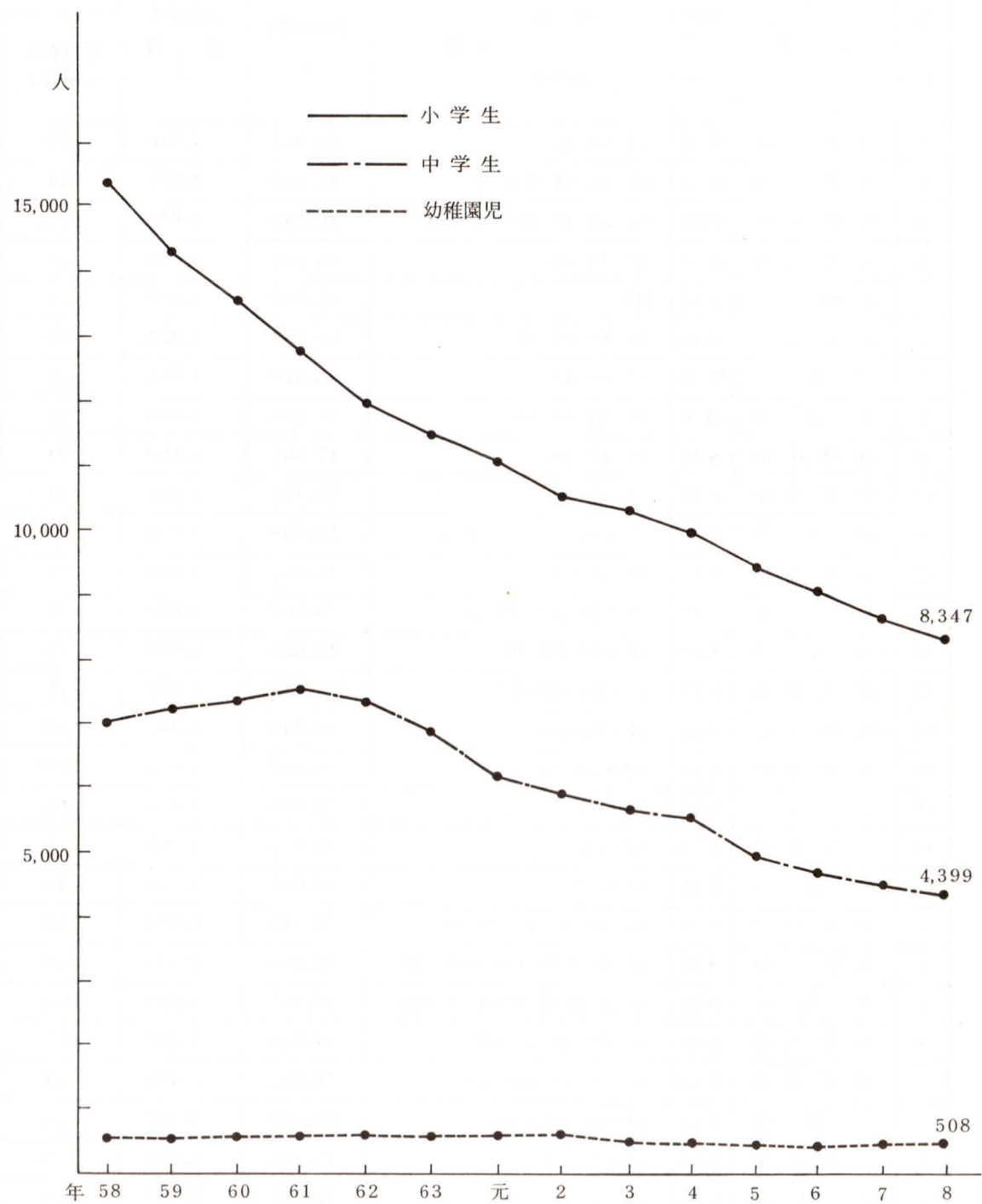
№	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	心障
1	日野第一小学校	68(2) 87(3)	84(3) 83(3)	79(2) 71(2)	71(2) 77(2)	75(2) 74(2)	74(2) 77(2)	451(13) 469(14)	
2	日野第二小学校	99(3) 90(3)	84(3) 95(3)	101(3) 84(3)	88(3) 110(3)	108(3) 92(3)	90(3) 121(4)	570(18) 592(19)	
3	日野第三小学校	52(2) 44(2)	45(2) 54(2)	52(2) 67(2)	68(2) 71(2)	70(2) 65(2)	69(2) 68(2)	356(12) 369(12)	9(2) 6(1)
4	日野第四小学校	89(3) 78(2)	86(3) 65(2)	71(2) 74(2)	78(2) 85(3)	89(3) 81(3)	88(3) 85(3)	501(16) 468(15)	
5	日野第五小学校	87(3) 92(3)	85(3) 92(3)	93(3) 109(3)	101(3) 104(3)	99(3) 77(2)	78(2) 112(3)	543(17) 586(17)	3(1) 3(1)
6	日野第六小学校	85(3) 63(2)	60(2) 102(3)	91(3) 84(3)	82(3) 79(2)	76(2) 85(3)	82(3) 80(2)	476(16) 493(15)	
7	潤 徳 小 学 校	60(2) 48(2)	53(2) 51(2)	53(2) 67(2)	70(2) 60(2)	64(2) 61(2)	61(2) 43(2)	361(12) 330(12)	
8	平 山 小 学 校	49(2) 61(2)	58(2) 63(2)	60(2) 58(2)	56(2) 67(2)	64(2) 64(2)	60(2) 59(2)	347(12) 372(12)	
9	日野第八小学校	110(3) 94(3)	94(3) 99(3)	94(3) 106(3)	104(3) 99(3)	109(3) 101(3)	94(3) 104(3)	605(18) 603(18)	
10	百 草 台 小 学 校	38(1) 46(2)	47(2) 46(2)	39(1) 55(2)	52(2) 56(2)	54(2) 69(2)	64(2) 74(2)	294(10) 346(12)	8(1) 10(1)
11	滝 合 小 学 校	63(2) 49(2)	43(2) 73(2)	66(2) 87(3)	81(3) 95(3)	81(3) 83(3)	79(2) 96(3)	413(14) 483(16)	
12	高 幡 台 小 学 校	31(1) 48(2)	46(2) 40(1)	37(1) 52(2)	51(2) 32(1)	32(1) 59(2)	57(2) 57(2)	254(9) 288(10)	
13	日野第七小学校	85(3) 111(3)	117(3) 105(3)	103(3) 72(2)	70(2) 110(3)	117(3) 96(3)	98(3) 102(3)	590(17) 596(17)	
14	南 平 小 学 校	76(2) 63(2)	63(2) 61(2)	76(2) 74(2)	77(2) 64(2)	74(2) 79(2)	82(3) 78(2)	448(13) 419(12)	
15	程久保小学校	35(1) 38(1)	39(1) 54(2)	56(2) 41(2)	43(2) 65(2)	70(2) 62(2)	62(2) 82(3)	305(10) 342(12)	
16	旭が丘小学校	124(4) 131(4)	132(4) 141(4)	140(4) 121(3)	119(3) 120(3)	120(3) 120(3)	118(3) 124(4)	753(21) 757(21)	
17	平 山 台 小 学 校	20(1) 24(1)	25(1) 29(1)	29(1) 27(1)	30(1) 46(2)	48(2) 42(2)	43(2) 35(1)	195(8) 203(8)	13(2) 14(2)
18	東 光 寺 小 学 校	49(2) 55(2)	53(2) 53(2)	50(2) 62(2)	58(2) 67(2)	70(2) 45(2)	43(2) 73(2)	323(12) 355(12)	
19	三 沢 台 小 学 校	29(1) 37(1)	37(1) 49(2)	50(2) 49(2)	53(2) 43(2)	44(2) 57(2)	56(2) 50(2)	269(10) 285(11)	
20	仲 田 小 学 校	38(1) 43(2)	39(1) 58(2)	58(2) 42(2)	42(1) 43(2)	36(1) 54(2)	55(2) 52(2)	268(8) 292(12)	
計		1,287(42) 1,302(44)	1,290(44) 1,413(46)	1,398(44) 1,402(45)	1,394(44) 1,493(46)	1,500(45) 1,466(47)	1,453(47) 1,572(49)	8,322(266) 8,648(277)	25(6) 23(5)

№	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	194 (5) 200 (5)	197 (5) 217 (6)	218 (6) 217 (6)	609 (16) 634 (17)	
2	日野第二中学校	183 (5) 161 (5)	166 (5) 211 (6)	208 (6) 191 (5)	557 (16) 563 (16)	
3	七 生 中 学 校	147 (4) 139 (4)	145 (4) 128 (4)	130 (4) 142 (4)	422 (12) 409 (12)	12 (2) 13 (3)
4	日野第三中学校	183 (5) 184 (5)	179 (5) 206 (6)	203 (6) 214 (6)	565 (16) 604 (17)	
5	日野第四中学校	209 (6) 233 (6)	230 (6) 224 (6)	220 (6) 222 (6)	659 (18) 679 (18)	
6	三 沢 中 学 校	166 (5) 198 (5)	204 (6) 160 (4)	161 (5) 190 (5)	531 (16) 548 (14)	
7	大 坂 上 中 学 校	214 (6) 223 (6)	224 (6) 229 (6)	232 (6) 189 (5)	670 (18) 641 (17)	9 (2) 11 (2)
8	平 山 中 学 校	115 (3) 131 (4)	126 (4) 125 (4)	124 (4) 148 (4)	365 (11) 404 (12)	
計		1,411 (39) 1,469 (40)	1,471 (41) 1,500 (42)	1,496 (43) 1,513 (41)	4,378 (123) 4,482 (123)	21 (4) 24 (5)

№	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	55 (2) 60 (2)	61 (2) 44 (2)	116 (4) 104 (4)
2	第 二 幼 稚 園	30 (1) 30 (1)	31 (1) 32 (1)	61 (2) 62 (2)
3	第 三 幼 稚 園	30 (1) 28 (1)	31 (1) 30 (1)	61 (2) 58 (2)
4	第 四 幼 稚 園	29 (1) 29 (1)	31 (1) 31 (1)	60 (2) 60 (2)
5	第 五 幼 稚 園	30 (1) 26 (1)	27 (1) 35 (1)	57 (2) 61 (2)
6	第 六 幼 稚 園	22 (1) 24 (1)	27 (1) 22 (1)	49 (2) 46 (2)
7	第 七 幼 稚 園	60 (2) 41 (2)	44 (2) 56 (2)	104 (4) 97 (4)
計		256 (9) 238 (9)	252 (9) 250 (9)	508 (18) 488 (18)

公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(1996 年 5 月 1 日現在)



市 立 小 ・ 中 学

番 号	校 名	開 校 年度	建 築 年 度 増改築	校地面積 ㎡	校舎保有 面 積 ㎡	普通教室 (保有)
1	日 野 一 小	M 6	37. 38. 39	20,947	4,370	20
2	日 野 二 小	M 7	42. 43. 48. 53～54	11,640	4,705	24
3	日 野 三 小	S 23	41. 42. 47. 49～50 H.6	16,806	6,018	21(2)
4	日 野 四 小	M 6	40. 44. 49.	15,292	3,839	17
5	日 野 五 小	S 34	H 2	16,765	6,295	23
6	日 野 六 小	S 40	38. 40. 43. 48.	19,833	6,025	30
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15,376	4,784	26
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15,845	4,388	21
9	日 野 八 小	S 44	44. 47. 49.	17,601	5,102	24
10	百 草 台 小	S 45	44. 48. 50	15,482	5,248	24
11	滝 合 小	S 46	45～46 H. 6	20,458	5,548	26
12	高 幡 台 小	S 47	46. 48. 52	16,017	4,983	25
13	日 野 七 小	S 48	47～48. 52～53. 57	13,509	4,806	22
14	南 平 小	S 49	48～49. 53. 56	16,020	5,254	25
15	程 久 保 小	S 52	49～50. 50～51	16,988	4,092	17
16	旭 が 丘 小	S 52	51～52. 56	16,642	5,463	26
17	平 山 台 小	S 53	52～53. 54	18,536	4,939	18(2)
18	東 光 寺 小	S 54	53～54	19,586	4,356	18
19	三 沢 台 小	S 55	54～55	15,170	4,463	17
20	仲 田 小	S 59	58～59	15,660	3,434	12
1	日 野 一 中	S 22	37. 38. 40. 41. 50. 58	19,386	6,113	22
2	日 野 二 中	S 29	34. 35. 38. 41. 49～50. 60～61	21,150	6,596	25
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50～51. 59～60	20,367	5,934	18(2)
4	日 野 三 中	S 45	45. 47. 49. 58～59	21,520	7,287	25
5	日 野 四 中	S 48	47. 49. 52. 61～62	18,955	6,486	24
6	三 沢 中	S 52	51～52. 58～59	23,623	7,147	24
7	大 坂 上 中	S 55	54～55. 57	19,389	6,630	22(3)
8	平 山 中	S 56	55～56. 3	18,200	5,991	20

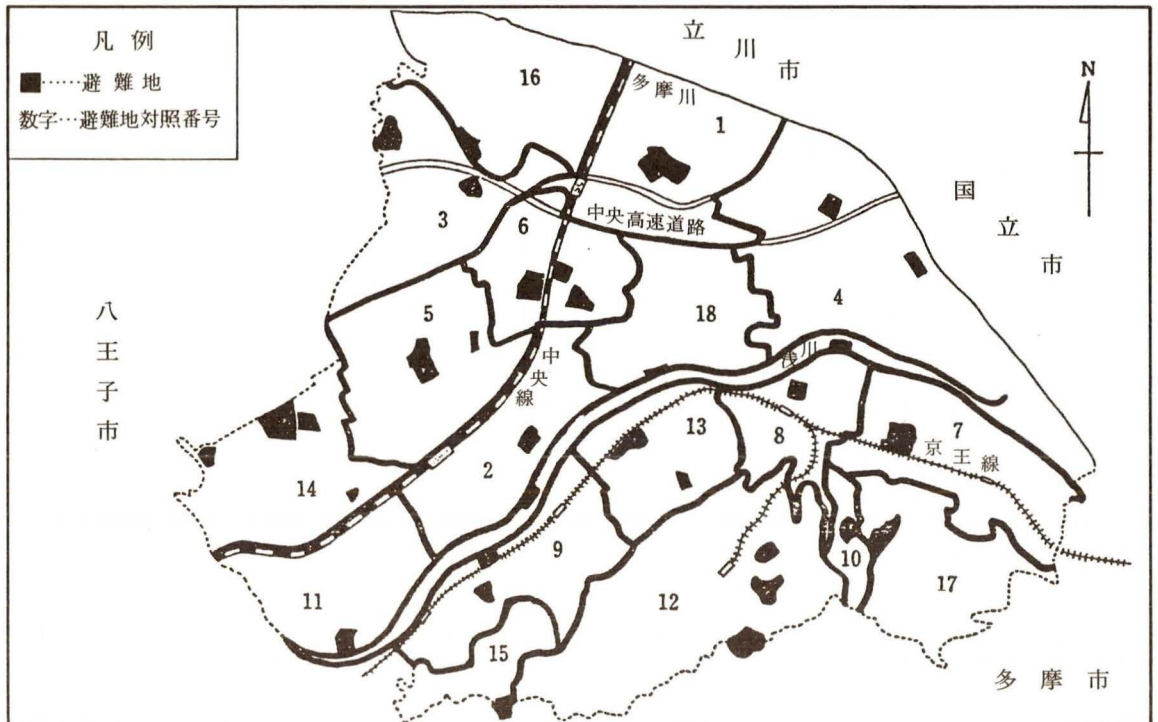
校 施 設 一 覧

1996年5月1日現在

教室											体育館 ㎡	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 ㎡	学級数 ()心障学級
特 別 教 室														
理科	音楽	図工 美術	技術	家庭	視覚	図書	食堂	特別 活動	教育 相談	コン ピュ ータ 室				
1	1	2		1		1		1			760	大・小	179	13
1	2	1		1	1	1		1			761	〃	192	18
1	2	3		2	1	1		2			814	〃	144	12 (2)
1	1	1		1		1					765	〃	130	16
2	2	1		1		1					809	〃	349	17 (1)
1	1	1		1		1		1			795	〃	213	16
1	1	1		1		1					779	〃	191	12
1	1	1		1		1		1			545	〃	157	12
1	1	1		1		1					710	〃	231	18
1	1	1		1		1					752	〃	188	10
1	2	1		1		1					751	〃	256	14
1	1	1		1		1		1			775	〃	226	9
1	1	1		1		1					736	〃	219	17
1	1	2		1		1					734	〃	188	13
1	1	1		1		1					760	〃	216	10
1	1	1		1		1					760	〃	213	21
1	1	1		1		1		1			760	大・小2×5m	268	8 (2)
1	1	1		1		1					760	大・小	214	12
1	1	1		1		1					757	〃	215	10
1	1	1		1		1					760	〃	224	8
2	2	2	2	2		1	1		2	1	842	大	310	16
2	2	1	2	2		1	1			1	1,075	〃	290	16
2	2	2	2 (1)	2 (1)		1	1	1		1	765	〃	290	12 (2)
3	3	2	3	2		1	1			1	1,067	〃	435	16
2	2	2	2	2		1	1			1	1,136	〃	355	18
2	2	2	2	2		1	1			1	1,118	〃	293	16
2	2	1	2 (1)	2 (1)		1	1		1	1	1,118	〃	233	18 (2)
2	2	2	2	2		1	1	1	1	1	1,189	〃	197	11

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部、神明4丁目の一部、日野本町1～7丁目	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3.丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小体育館	12,500	南平1～5丁目
4	多摩川グランド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井、石田、万願寺、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目 多摩平7丁目の一部	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平7丁目、神明1～4丁目、大坂上1～4丁目	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 第三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販百草園住宅
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部 三沢の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平4-3
電 話 0425-81-4124 (4105)
順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分
園 児 数 男58名 女57名 計115名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
4. 10 第1回入園式挙行（5歳児・4歳児
含む7学級 園児280名）
昭41. 5. 25 開園記念日とする。
昭43. 12. 20 遊戯室増築工事完了
昭44. 3. 10 プール工事完了
昭45. 7. 15 運動場拡張工事完了
昭48. 3. 14 東京都交通安全教育第1年次研究
発表
昭49. 10. 23 東京都交通安全教育第2年次研究
発表
昭50. 3. 10 創立10周年記念研究発表会開催
園歌制定
12. 20 園舎（鉄筋・鉄骨）増改築工事完了
昭51. 4. 1 4歳児（2年保育）募集中止
昭58. 9. 1 幼児教育センター開設に伴い、2保
育室提供
昭60. 4. 1 4歳児（2年保育）募集再開、2学
級60名、5歳3学級
12. 17 幼稚園外周緑化工事完了
11. 29 遊戯室の屋根改装工事完了
昭62. 9. 15 玄関隣接の便所の改装工事完了
昭63. 4. 1 1学級減 4学級となる。
平3. 10. 31 たまだいら保育園との通路工事完了、
物置移設、温水シャワー設置
平4. 3. 31 遊戯室内の改修工事完了
3. 31 幼児教育センター廃止
6. 10 プール改修工事完了
平7. 11. 18 開園30周年記念式挙行

2. 歴代の園長

氏 名	
江 角 正 子	昭40.4.1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4.1～昭62.3.31
高 橋 千鶴子	昭62.4.1～平3.1.9
三 上 道 子	平3.1.10～平5.3.31
槇 島 静 子	平5.4.1～平8.3.31
上 野 美津枝	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

住宅団地の中にあり、近くには、大工場や商店街がある。団地内には、公園や緑地などがあり、自然環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人間形成の基礎を培い、一人一人の個性を伸ばし、主体的で、心豊かな幼児の育成を目指す。

仲良く遊べる子ども

明るく元氣な子ども

よく考えやりぬく子ども

5. 指導の重点

(1) 学年としてののねらいを明確にした上で、幼児一人一人の発達にともなう課題や学級としての課題を期ごとに適切にとらえ、保育形態を配慮するとともに、教育内容・方法の改善・充実に努める。さらに教師間での連携を図り、子どもの良さを認め、相互に尊重しあえるよう、指導や援助を進める。

四歳—自己を表現することの楽しさを味わわせ、多様な経験が積み重ねられるように、教師との信頼関係を基盤とし、安定した園生活の中で、基本的生活習慣や態度を育て、喜んで遊んだり、人とかかわりが持てるよう指導にあたる。

五歳—一人一人が自己を十分に発揮し、満足感や充実感をえられるよう、積極的に環境にかかわれるよう配慮し、友達と一緒に遊びを考えたり、工夫したりしながら、自分の思いや願いを実現していけるよう指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

遊びを十分に楽しむ子どもを育てる。

7. 本園の特色

地域の幼児教育という広い視点にたち、保育園との交流をはじめ、子育て広場や未就園児への遊びの場を提供し、幼児教育のセンター的役割をはたしている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	上 野 美津枝	上 野 美津枝



園 名 日野市立第二幼稚園

所 在 地 日野市平山4-5-4

電 話 0425-91-4125

順 路 京王線平山城址公園駅下車徒歩10分

園 児 数 男29名 女32名 計61名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校校庭内に設置される。
4. 10 第1回入園式挙行 入園児 131名
学級数4、(一年保育2学級、二年保育年少2学級)
5. 10 開園記念日と定める
5. 30 園章制定
- 昭41. 4. 1 学級数3、(二年保育年長1学級、一年保育年長1学級 二年保育年少1学級)以後3学級運営
- 昭46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
- 昭48. 4. 1 一年保育児で3学級の編成
- 昭49. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第二年次)
12. 14 開園10周年記念式典開催
- 昭55. 10. 18 都立教育研究所幼児教育研究室調査協力のため幼児運動能力調査を行う
- 昭57. 4. 1 二年保育再開
- 昭59. 8. 30 現在地に園舎防音改築工事が開始される
- 昭60. 4. 1 新園舎完成移転
- 平4. 5. 屋上プールサイドの塗装、及び人工芝の張り替え
- 平6. 11. 30 遊戯室、舞台壁面改修
- 平7. 11. 29 開園30周年記念式典開催

2. 歴代園長

氏 名	
後 藤 正 太	昭40. 4～昭42. 3
安 積 利 治	昭42. 4～昭47. 3
小 野 晃	昭47. 4～昭51. 3
深 澤 真 人	昭51. 4～昭55. 3
林 元 美	昭55. 4～昭58. 3
伊 藤 智 章	昭58. 4～昭61. 3
蓮 池 守 一	昭61. 4～昭62. 3
坂 口 嘉 津 子	昭62. 4～平成. 3
榎 島 静 子	平成. 4～平5. 3
平 向 邦 江	平5. 4～現在

3. 地域の環境

市の南西部に位置し、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵、北に浅川、西に八王子に囲まれた東西に長く起伏に富んだ地域である。近年団地や都営住宅の建設及び、農地、丘陵の宅地化が急速に進んでいる。園の周辺は道路や下水道の整備が行われつ

つあり、市街地の様相をみせている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、心身共に健康で豊かな心情をもち、主体的に生活しようとする人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 元気で明るい子ども
- 進んでとりくみやりぬく子ども
- やさしい心をもつ子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児が目的意識を持って登園し、様々な自己表現する体験を通して、遊びの充実を図る。

△ ○日々の生活の中での具体的な場面をとらえて、
4 基本的な生活習慣や社会的な集団生活のルールが身につくように援助する。

歳 ○幼児が、新しい経験となるような活動や興味関心の持てる活動に進んで取り組み、自ら生活する喜びを感じられる機会を多くする。

▽ ○同年齢の幼児と交わりて遊ぶ中で友達と一緒に遊ぶ楽しさを知らせ、自分の感じたことや考えたことをまわりに伝えようとする気持ちを育てる。異年令と交流して遊ぶ。

△ ○集団遊び・行事の準備・ごっこ等の遊びの機会をとらえ、友達の大切さや相手に対する思いやりの気持ちが育つようにする。

5 歳 ○自分たちで遊びを進める楽しさを味わう中で、自分で判断し行動する力を身につけたり、協力してやりとげることの大切さに気付くようにする。

▽ ○製作活動や表現遊びなど、生活の中で感じたことや考えたこと・遊びの中でのイメージを自由に表現する機会を充実させ、友達と伝え合ったり表現したりする喜びを感じられるようにする。

6. 本年度の研究主題

「人とかかわる力を育てる」

友達と遊ぶ姿の中からやさしくかかわっている場面を抽出し、その要因を分析し教育課程を編成していく。

7. 本園の特色

○平山城址公園や河原など、園周辺や市内の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる野外活動を、多くとり入れている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		平向 邦江 (49年)	平向 邦江 (58年)
2		富尾真須子 (H5年)	富尾真須子 (H7年)



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 J R 日野駅下車 東へ10分
園 児 数 男31名 女23名 計54名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 1 日野市立第三幼稚園として日野第一小学校内に設立
4. 11 第一回入園式を挙行
学級数(4) 4歳児2、5歳児2、入園児数143名
5. 4 開園記念日と定める
昭42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
昭46. 4. 市研究協力園
昭47. 3. 屋外飼育舎新設
昭49. 4. 1 全学級1年保育となる。
昭51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備 10周年記念研究発表
昭53. 8. ホール、保育室床改装
昭54. 8. 廊下床改装
昭56. 3. 園歌制定
昭56. 4. 2年保育再開
昭60. 8. 保育室内装
昭63. 8. ホール屋根改装
平2. 3. 正門扉改装
平5. 3. 門灯設置
平7. 8. 洗浄用給湯器設置
電気容量変更工事

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭41. 4～昭41. 5
永 野 林 弘	昭41. 6～昭42. 3
吉 田 辰 次	昭42. 4～昭44. 3
下 田 忍	昭44. 4～昭50. 3
溝呂木 桂 次	昭50. 4～昭55. 3
村 田 安 正	昭55. 4～昭58. 3
古 谷 洋 太	昭58. 4～昭62. 3
平 向 邦 江	昭62. 4～昭63. 3
沖 山 英 代	昭63. 4～平3. 3
山 本 智 恵 子	平3. 4～平5. 3
坂 口 嘉 津 子	平5. 4～現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれている。急速に宅地化が進み周囲の自然も失われ、子ども達の遊び場は限られてきている。しかし、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、

公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、いきいきと活動する心豊かな幼児の育成をめざして
○友だちと一緒に遊ぶ子
○丈夫な身体で元気に遊ぶ子
○感じたこと、考えたことを素直に表現する子

5. 本年度の指導の重点

4歳児●教師との信頼関係をもとに、自己を十分に表現しながら友達と一緒に遊ぶことができるようにするために、幼児の実態を正確にとらえ、一人一人の特性をいかして指導にあたる。

●園生活に必要な基本的生活習慣や態度の育成を図る。

5歳児●自分達で遊びや生活をつくり出す力を育てるために、意欲的に生活に取り組み、充実感・満足感を味わえるように援助する。

●友達のよさに気づいたり、受け入れたり、認めあったりしながら互いに育ちあうかわり方が、できるように活動や環境を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「いきいきと遊ぶこどもを育てる」

一人一人のこどもの実態をはあくするため記録をとったり話しあったりして、指導のあり方を求める。

7. 本園の特色

- 保護者の保育参加や地域の人とのふれあいを通して人に親しむ機会が多い
- 保護者やこどもが地域に親しみを持つよう考え地域の施設を積極的に利用している
- 地域の自然環境を園外保育や親子での共通体験の活動に取り入れている
- 園内には沢山の花や木があり収穫を楽しむことができる

8. その他教職員研究歴

内訳 No.	研 究 員	開 発 研 究
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第四幼稚園

所 在 地 日野市石田431-6

電 話 0425-83-3903

順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分

園 児 数 男24名 女36名 計60名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園 学級数2、園児数41名
10. 9 落成式挙行
11. 1 開園記念日と定める
- 昭51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
- 昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
- 昭56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
- 昭57. 11. 11 創立10周年記念式典挙行
園歌制定
- 昭60. 8. 31 職員室床木製改装完了
- 昭62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
- 平2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装
- 平3. 8. 31 水道管のとりかえ工事
- 平4. 11. 18 創立20周年記念式典
- 平5. 9. 13 屋根部分改修
- 平6. 8. 23 雨どい改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭48. 4. 1～昭52. 3. 31
釜 池 博	昭52. 4. 1～昭57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭57. 4. 1～昭60. 3. 31
田 中 光 穂	昭60. 4. 1～昭62. 3. 31
梶 村 和 子	昭62. 4. 1～平元. 3. 31
上 野 美津枝	平元. 4. 1～平5. 3. 31
山 本 智恵子	平5. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約1km入った多摩川の土手近くにある、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれているが、宅地化が進み、子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

一人一人を大切に、豊かな人間性を育み、心身共に健康で自ら進んで生活できる幼児を育成する。

- 心身共に健康で、元気に遊べる子ども。
- 意欲をもって取り組むことができる子ども。
- 思いや願いを伝えられる子ども。
- 自然や文化の良さをを感じる子ども。

5. 本年度の指導の重点

○幼児の実態や発達に即した指導計画及び、個々の

幼児の実態に即した個別の指導計画を立案し、教師一人一人が保育に対するとらえ方や能力を高める。また、共通理解のもとに日々の指導と評価の充実に努める。

○遊びの中で起こる様々な事象について、幼児が気付いたことを受け止め、幼児自身がさらに興味をもって考えたり、試したりするように援助していく。

○幼稚園生活を通して相手の感情などに徐々に気付かせるようにし、人の嫌がる事、心を傷つけるような事等を言ったりしないような思いやりの態度を育てていく。

4 歳 ・基本的生活習慣の自立を図る。

・思い切り遊び、楽しく幼稚園生活を送る

・いろいろな事に興味をもって、自分から進んで物ごとに取り組む。

5 歳 ・意欲をもって主体的に遊び、充実した園生活を送る。

・相手の立場になって考え、良さを認め合う友達関係を育てる。

・友達と一緒に、遊びをより楽しくするために、試したり工夫したりする。

6. 本年度の研究主題

「体験的な遊びから道徳性の芽生えを培う」

7. 本園の特色

○木登りや竹うま遊びなど体験的な遊びを通して豊かな表現力となって表れ、意欲的に取り組み、友達を思いやる心も育っている。

○自然環境を生かした遊びの中から、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせていく。

○教師と子どもが共感し合い、認め合いながら自己発揮できる環境の設定に配慮している。



園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢175
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩13分
園 児 数 男34名 女23名 計57名

園長氏名 渡 邊 明 子

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置
学級数2、定員80名
教諭3名、用務員1名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数62名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、
学級数3、定員120名
昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
昭59. 2. 25 創立10周年記念式挙行
3. 31 プレハブ教室撤去
昭60. 4. 1 2年保育開始 学級数2
定員 70名
昭61. 3. 15 教材室増設
平3. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
平3. 4. 1 学級数2 定員65名
平3. 8. 31 保育室流し台改修・ホール床改修
平5. 1. 18 外灯設置、園舎職員室・保育室屋根改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭49. 4. 1～昭53. 3. 31
古 谷 洋 太	昭53. 4. 1～昭58. 3. 31
渋谷 義 一	昭58. 4. 1～昭61. 3. 31
櫻 田 鈴 子	昭61. 4. 1～平3. 3. 31
高 野 英 男	平3. 4. 1～平3. 4. 30
酒 匂 瑠美子	平3. 5. 1～平8. 3. 31
渡 邊 明 子	平8. 4. 1～現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は開発途上にあるがまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

心身共に健全で主体性をもち、人間性豊かな子どもを育成するために次の目標を設定する。

- 元気な子ども
- ・健康で明るい子ども
- ・自分から遊べる子ども

- やさしい子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・自然や生命を大切にする子ども
- 考える子ども
- ・自ら試し、工夫する子ども
- ・豊かなイメージや目的をもつ子ども

5. 指導の重点

幼児の実態をとらえ、発達段階に即した学年及び学級目標を設定し、次のことに留意して学級経営を行う。

4歳児○園生活や教師に親しみ、一人一人の興味や関心に基づいた遊びや生活を通して、人や環境にかかわる力を養い、健康や基本的生活習慣を身につけていく。

- 友達とのかかわりの中で自己表現したり、自分なりに試したり考えたりしながら、集団で遊ぶことを十分楽しみ、温かい友達関係を広げていく。

5歳児○園生活の中で、自ら見通しをもって目的や課題に取り組みその繰り返しの中で、充実感や達成感を味わい、進んで環境にかかわる力や目的意識を高めていく。

- 友達や教師との豊かな触れ合いや多様な体験から、共通のイメージや意識をもって健康で生き生きとした遊びや生活を進め、互いに認め合い、伝え合える人間関係を育み、集団としてのつながりを深めていく。

6. 本年度の研究主題

「集団遊びの指導法」について指導内容、方法等の改善・充実に努める。

7. 本園の特色

広い園庭を十分活用し、幼児にいろいろな体験を通して幅広い戸外活動を楽しませる。

園内外の施設や教材・環境を利用した遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを見つけ、互いに刺激し合い、育ち合える場とする。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	開 発 委 員
氏 名	渡 邊 明 子 （ 6 3 年 ）



園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩5分
園 児 数 男24名 女25名 計49名

園長氏名 梶 村 和 子

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3. 19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数2、定員80名
園長1名、教諭3名、用務員1名
4. 10 入園式挙行、園児数73名
5. 29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
昭52. 5. 30 プール（ヤマハ・キューティメイト
DX）設置
昭53. 3. 12 1学級増設のためプレハブ教室増設、
学級数3、定員120名
昭55. 4. 1 学級数2、定員80名
昭58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェンス防
球ネット完成
昭60. 4. 1 2年保育開始、定員70名、学級数2、
4歳児30名、5歳児40名
11. 1 園歌制定
12. 14 創立10周年記念式挙行
昭61. 9. 10 園庭拡張、園舎外壁塗装
平1. 8. 31 南側テラスに屋根をかける
平3. 11. 15 教室、ホールのストープ改修
平4. 8. 31 廊下床張り替え、門柱、防球ネット
設置、登り棒新設
平5. 8. 20 ホール、保育室の床改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
手代木 和 夫	昭51.4.1～昭54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～昭58.3.31
津 野 田 昭 二	昭58.4.1～昭62.3.31
上 野 美 津 枝	昭62.4.1～平元.3.31
坂 口 嘉 津 子	平元.4.1～平5.3.31
高 野 真 由 美	平5.4.1～平8.3.31
梶 村 和 子	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は、緑の林に囲まれ起伏に富んだ所である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、自ら生きようとする心身共に健康で、感性に富み、人間性豊かな幼児の育成を目指す。

◎元気な心と体であそぶ子

- ・自分で考え最後までやりぬく子
- ・思いやりのある子

5. 本年度の指導の重点

(1) 幼児の特性を理解し、一人一人の発達を据えて、個性を生かすことのできる指導計画の作成、実施、反省を通して連続性のある指導をする。

4歳児・自己を十分に発揮させるために、教師と幼児、幼児相互の信頼関係を深め、心身の調和のとれた発達を促す。

- ・遊びや生活の中で、自ら興味、関心を持って、かかわろうとする心を育てる為に、幼児理解に努め、園内外の環境を生かした保育を行う。

5歳児・積極的に活動する中で、満足感、充実感を味わい自信を持って行動する力を育てる為に、一人一人の発達に応じた保育を行う。

- ・友達と協調して遊びを進める楽しさを味わう為に、自分の考えを相手に伝え友達の思いを受け入れる中で、共感し合い、認め合う心を育てる。

(2) 幼児の生活を豊かにする為に、地域の環境や人々に働きかける活動を取り入れる。

(3) 身近な自然や社会事象に興味、関心を持たせ様々な段階に積み重ねることによって、思いやりの心を表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

「友達とのかかわり合いを持って、積極的に遊びに取り組む子を育てる」

7. 本園の特色

- ・動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- ・園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。
- ・地域に親しみ愛する心を育てると共に、人とかかわる力の育成に努めている。

8. その他 教職員研究歴

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	梶村 和子 (S. 54年度)	梶村 和子 (S. 53年度)



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-86-3770
順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
園 児 数 男52名 女53名 計105名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

1. 沿革の概要

- 昭59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2階建
学級数2 定員70名
教職員3名 園地面積2599㎡
昭60. 4. 10 第1回入園式挙行園児数49名
昭60. 6. 30 開園記念日とする
昭62. 4. 1 4歳児1クラス増、定員100名
(年少2、年長1)
昭63. 3. 11 園舎増築工事完成
昭63. 4. 11 学級数4 (4歳児2、
5歳児2)
定員140名
平2. 2. 20 園歌制定
平6～7. 文部省委託研究「幼稚園教育の在り
方についての実践的調査研究」

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
石 井 三 士	昭60.4.1～昭62.3.31
沖 山 英 代	昭62.4.1～昭63.3.31
平 向 邦 江	昭63.4.1～平5.3.31
上 野 美 津 枝	平5.4.1～平8.3.31
酒 匂 瑠 美 子	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区職住近接による公団や社宅により若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量が多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調にし、主体的で心豊かな幼児の育成をめざす。

- 心の豊かな子ども
- 明るく元気な子ども
- 一生懸命とりくむ子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児一人ひとりの発達や特性を把握し、いろいろな人とかかわりの中で幼児自身が、自己の良さに気づくことや相手の良さを認め合える人間関係を育てる。
- 園の畑に親しんだり、園外保育等を通して、地域の自然を活用していく中で、幼児自身の気づき、発見、感動できる直接体験を大切にし、感性豊かな子どもを育てる。
- 4歳児・子どもの気持ちや行動を肯定的に受け入れ、信頼関係を築き、一人ひとりが安心して園生活を送れるようにする。
 - ・遊びや生活に必要とする基本的なこと（技能、友だちへの働きかけなど）を身につけ、いろいろな遊びの経験を広げ自己発揮できるよう援助する。
- 5歳児・自分の思いを伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、遊びを進められるよう、教師も仲間の一員として参加し、お互いの個性や能力を認め合うことのできる友だち関係を育てていく。
 - ・日々の保育の中で充実感、満足感を味わえる遊びや経験を、計画的に取り入れる。

6. 本年度の研究主題

「豊かな人間関係を育てる」
—家庭・地域とかかわりを通して—

7. 本園の特色

- 通園区域は広く、高層住宅、社宅等が多い
- 飼育物の世話や菜園、園庭での草花の栽培等の直接体験を通して情操豊かな心を育てている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1		上野美津枝	上野美津枝	井上宏子(平8)



学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野本町2-14-1
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分
児 童 数 男232名 女219名 計451名

校長氏名 岩 下 和 夫

教頭氏名 宇 野 有斐子

1. 沿革の概要

- 明6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。（現在の中央公民館のとなり。）
- 明45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡張
- 昭11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）
- 昭15. 日野2800番地（現在地）に土地800余坪、新校舎建築開始。（戦時中、軍徴用）
- 昭23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭27. 3. 5 東京都指定実験学校となり、教育課程の研究発表
- 昭28. 8. 22 80周年記念プール竣工
- 昭38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更
- 昭43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題に発表
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼講堂として移管される。
- 昭44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
- 昭47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始
校庭南側一部縮小
- 昭48. 4. 10 授業研究校として「子どもの思考力を育てる」ことをテーマとして研究にとりくむ。
- 昭48. 11. 創立百周年記念祭
- 昭49. 4. 10 授業研究校として「考える力をのばす」をテーマとして研究発表
- 昭57. 6. 体育館新設
- 昭58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭58. 11. 開校110周年記念集会、式典
- 昭59. 3. 仲田小分離
- 昭60. 3. 体育倉庫新設
- 昭60. 11. 南・北側ブロックべい撤去、植込とする
- 昭62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり推進校」として公開発表

- 平元. 8. 校庭整備工事
- 平元. 11. 校舎建具等改修、建築工事
- 平元. 11. 温度保持設備工事新設
- 平2. 8. 放送室改修工事
- 平3. 1. 日野市研究協力校として「一人一人の読みの力を育てるための指導法の工夫」を主題として研究発表
- 平3. 8. 校庭改修
- 平4. 10. 第二図工室焼き窯設置
- 平5. 8. ランチルーム全面改修
教室出入口扉の改修
駐輪場設置
- 平6. 2. 10 120周年記念式典、祝賀会举行。
「記念誌」「目で見る日野一小」発行。同日を開校記念日とする
- 平6. 3. 飼育小屋設置
- 平7. 2. 9 日野市教育委員会奨励校として社会科生活科公開発表

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ~ 年 月
1	日 野 義 順	明 6. 5 ~ 明 9. 7
2	国 府 田 学	明 9. 7 ~ 明 11. 3
3	小 川 則 要	明 11. 4 ~ 明 15. 3
4	鈴 木 宗 也	明 15. 4 ~ 明 16. 8
5	上 野 兼 松	明 16. 9 ~ 明 18. 3
6	二 見 友 三 郎	明 18. 4 ~ 明 19. 4
7	八 木 岡 寛 制	明 19. 5 ~ 明 21. 10
8	佐 野 鶴 松	明 21. 11 ~ 大 5. 3
9	古 谷 剛 次 郎	大 5. 4 ~ 大 12. 1
10	河 合 平 作	大 12. 2 ~ 大 15. 3
11	古 谷 剛 次 郎	大 15. 4 ~ 昭 11. 1
12	宮 川 海 三	昭 11. 2 ~ 昭 18. 3
13	貫 井 半 蔵	昭 18. 4 ~ 昭 23. 8
14	小 池 嘉 一	昭 23. 9 ~ 昭 34. 3
15	尾 崎 半 次 郎	昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
16	五 十 嵐 葆 光	昭 37. 4 ~ 昭 38. 3
17	木 村 清	昭 38. 4 ~ 昭 41. 3
18	吉 田 辰 次	昭 41. 4 ~ 昭 44. 3
19	下 田 忍	昭 44. 4 ~ 昭 50. 3
20	溝 呂 木 桂 次	昭 50. 4 ~ 昭 55. 3
21	村 田 安 正	昭 55. 4 ~ 昭 58. 3
22	古 谷 洋 太	昭 58. 4 ~ 昭 62. 3
23	山 口 武 彦	昭 62. 4 ~ 平 4. 3
24	岩 下 和 夫	平 4. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において尊敬と信頼の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように学校教育目標を設定する。

① 科学性を身につける子ども

事実を正しく見る目を養い、正しい判断力・順序だった思考力・意欲的な創造力等の知性を育てる。

② 豊かな心情を持った子ども

真・善・美に対する感受性を養うとともに、自然や動植物愛護、他人に対する思いやりの心を育てる。

③ 強い意志を育てる子ども

困難にあってもくじけない耐性を育て、目標に向かって最後までやりとげる実践力を培う。

④ じょうぶな体をつくる子ども

健康に関心を持ち、進んで運動に取り組み、健康・体力の維持向上を目指す態度を育てる。

本年度は、昨年度に引き続き、第三項目及び第四項目の「強い意志を育てる子ども」「じょうぶな体をつくる子ども」を重点的教育目標とし、これの具現化のために全教育活動を通して全力を傾けていく。特に重点教科を体育科とし、校内研究の中心に据える。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎基本を身に付ける。また、児童が主体的に学習できる授業を創造する。そのため、次の点を重視する。

- ・指導内容の重点化を図り、体験を通して考える・調べる・確かめる等の時間を十分にとり、考える力・問題解決の力・情報活用能力・表現力・創造性等新しい学力観に立つ学力の育成に努める。
- ・一人一人の児童の個性を伸ばすため、T・T等を含めた指導法の改善に努める。
- ・児童が健康、体力に関心を持ち、体育科の学習活動を通して、進んで心と体の健康づくりに取り組むよう指導の工夫に努める。

イ 道徳

社会規範・生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り、道徳的实践力を高める。そのため、

- ・道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導に努める。
- ・全教育活動を通じて、根気強さや耐性、自然環境の大切さ、生命の尊重・他を思いやる心等の育成を重視した指導を進める。

ウ 特別活動

児童の協同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。また児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。そのため、

- ・児童の主体的・体験的活動を促し、縦割り活動等望ましい集団活動を行う中で連帯感や豊かな人間関係を育てるとともに、地域の一員として望ましい生き方ができるように指導する。
- ・多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、一人一人のよい面が伸長できるような指導法を工夫する。
- ・体育的な活動を通して、ねばり強さや耐性、健康・体力の向上等心と体の健康づくりを推進する。

(2) 特色ある教育活動

ア 児童と教師、児童相互のふれあえるふれあいタイムを通して、児童理解を深め、心と体の健康づくりに努める。

イ 幼稚園、中学校との交流の場を設定し、幼・小・中の触れ合いを通して異年齢の相互理解を深める。

ウ 学級活動、学校裁量の時間を通して、個別指導の充実、学級経営の推進を図り、児童一人一人が、いじ

(3) 生活指導・進路指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 校内の教育相談を通して、児童の不安や悩みを聞き、学校生活への適応・学習の適応を図り、明るく楽しい学校生活が送れるように指導する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め・誉め
 或いは児童のもつ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。また、各教科・道徳・特別活動等さまざまな学習活動の場を通して、児童がめあてを持ち、未来に向けて健康でたくましい生き方ができるよう指導
 に努める。

「よさを発揮し すすんで 心と体を高め合う 体育学習」

- ① 創立123年目をむかえた歴史と伝統を持つ学校である。本校同窓生を初め、地域・保護者から学校に寄せ
る信頼も厚く、また、大変協力的である。
- ② 児童は五つのやくそく（人の話をよくきく・せいいせいとんをする・時間を守る・あいさつをする・正し
い歩行をする）を守り、規律正しい生活をつくり出している。
- ③ 全教職員が児童の教育活動の向上をめざして、環境づくりに熱心に取り組んでいる。
- ④ 体育を中心とし心と体の健康づくりに取り組んでいるため、集合時の姿勢が良い。

内訳 No	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員 等	助 言 研 、 他
1	志賀 由具 (H 4)	清水 妙子 (S 47) (学校保健)	岩下 和夫 (S 52) (体育・現代化)	丸茂 洋子 (S 59) (道徳)
2	志賀 由具 (H 7) 海外派遣 (長)	岩下 和夫 (S 49) (体育)	志賀 由具 (S 62) (体育)	
3		志賀 由具 (S 59) (体育)	宇野有斐子 (S 62) (道徳)	
4		清水 俊幸 (H 4) (特活)		
5		小川賀世子 (H 6) (国語)		
6		山本 順子 (H 7) (家庭)		
7		菊池 修 (H 8) (体育)		



学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田 2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851 FAX0425-81-0851
順 路 J R 豊田駅南口下車 徒歩10分
京王線南平駅下車 徒歩15分
児 童 数 男321名 女249名 計570名

校長氏名 秋 山 憲 一

教頭氏名 太 田 由紀夫

1. 沿革の概要

- 明7. 3. 神奈川県 9 大区 4 区 豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分ける。
- 明12. 2. 豊田1320番地、善生寺の西隣に新校舎建築
- 明26. 4. 東京府に編入される
- 明41. 3. 日野小学校豊田分教場となる
- 昭17. 豊田218番地に新校舎建築、平屋建 6 教室
- 昭21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭27. 12. 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
- 昭31. 4. 第 2 次増築、2 階建 6 教室
- 昭38. 11. 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭43. 6. 第 1 次防音、4 階建校舎完成
- 昭44. 3. 第 2 次防音、4 階建校舎完成
- 昭46. 2. 体育館工事、落成
- 昭49. 3. 第 3 次防音、4 階建校舎完成
11. 創立百周年記念式典を行う
- 昭55. 3. 1 階建校舎完成
- 昭56. 5. 新プール完成
9. 校庭整備完成
- 昭57. 8. 普通教室内部塗装完了
- 昭58. 12. 校庭歩道完成
- 昭59. 6. 創立百十周年記念式典を行う
- 昭63. 8. 体育館改築
- 平元. 8. 高置水槽取替
- 平2. 8. 校舎大規模改修完了
- 平3. 9. 給食室・床（4 階）天井（3 階）改修完了
- 平5. 2. ランチルーム完成
- 平5. 2. 生活科広場完成
- 平5. 3. 第二校庭用地借上げ決定
- 平5. 8. 校舎、床、天井改修
- 平6. 8. 各階ろう下内装改修
- 平7. 3. 保健室シャワー設置
- 平8. 4. 文部省人権尊重教育研究推進校に指定

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭21. 6～昭27. 9
増 島 光 一	昭27. 10～昭34. 3
小 池 嘉 一	昭34. 4～昭38. 3
森久保 惣 次	昭38. 4～昭42. 3
後 藤 正 太	昭42. 4～昭47. 3
安 積 利 治	昭47. 4～昭50. 3
永 井 雅 夫	昭50. 4～昭53. 3
鈴 木 英 夫	昭53. 4～昭57. 6
篠 宮 忠 男	昭57. 7～昭61. 3
荒 木 健 治	昭61. 4～平元. 3
馬 場 武	平元. 4～平6. 3
秋 山 憲 一	平6. 4～現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。しかし、学区内の至る所に湧水があり、サワガニやカワナが生息する自然環境が残されている。
- 保護者や地域の方々は、教育に対する関心が深く協力的である。登校時の交通安全指導や各種のサークル活動に積極的に参加している。
また、浅川を含んだ地域の清掃活動である P T A 主催のクリーン作戦は、14 年目を迎えるなど、環境に対する関心も高い。
- 学校前の都道をはじめとして、学区内の道路はどれも道幅がせまく歩道もない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。
- 現在、豊田南及び東豊田土地区画整理事業が進行し、進学路の変更が度重なっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め、国際社会に奉仕できる心身共に豊かな子どもの育成を目指して、次の目標を定める。

- ・からだも心も強く、明るい子
- ・みんなと仲良く力を合わせられる子

◎よく考え、進んで行動する子（重点目標）

- ・責任をもって最後までやり抜く子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の具現化のために、全教職員の共通理解を大切にし意図的、計画的、組織的、継続的に以下の方針をもって、教育活動を進める。

1. 心豊かな人間性を基調とした人権尊重の意識と自他を思いやる実践的行動力を育てるために、全教育活動を通して行う。
2. 自ら課題を見つけ、考え判断し、表現してよりよく解決できる能力を育成するために、児童一人一人の個性、能力をみつめた指導を推進する。
3. 基礎的基本的内容の理解定着を図り、生涯にわたって自己実現を図る土台を培うために、「自ら学ぶ力を育てる」主題を設定し、授業研究を通して指導法の改善に努める。
4. 規範意識を育て、自主的、自律的な生活態度を育成するために、児童の基本的な行動様式、基本的生活習慣の確立に対する職員の理解を共通化する。
5. 地域への愛着を培い、人間関係を豊かにできるようにするために、家庭、地域との連携を一層深める。
6. 環境を大切にし、その保全に配慮できる態度を育成するために、地域の環境に関心を持たせる教育活動を推進する。
7. 我国の文化や伝統を大切にすると共に諸外国の生活や文化を理解し尊重する態度を育むために、全教育活動を通して行う。
8. 心身に障害のある児童および外国人児童が自ら適応できるようにするために、実態に応じた適切な教育活動を創意工夫し推進する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度（思考力、表現力、情報活用能力、コミュニケーション能力）の土台を築くために、

- ・学習時間を確保して指導内容の重点化を図り、多様な指導方法、形態（T. T. の導人など）を創意工夫する。
- ・指導方法の改善を図り、体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れ、個に応じた学習を推進する。
- ・教材、教具の整備活用を図り、児童の課題意識に応じた学習を推進する。
- ・一人一人に学習の目当てを持たせ、学び方を学ぶ授業を創造する。
- ・人間関係を豊かにし、学び合い、磨き合う学習集団を形成する。

イ 道徳

全教育活動を通して、下記の事項を重点として指導するとともに、道徳の時間を通して、道徳的価値を学び、判断力を高め、道徳の実践力を育てる。

- ◎自分自身……自らを律する生活態度、能力を育成するために、学校生活をみつめ振り返らせる。（学期始めや終わりの自己目標の検討、月目標（生活、保健、給食）の反省など）
- ◎他人……相手の立場を理解できる能力、態度を育成するために、思いやりの心をもとにして言語環境を整える。
- ◎自然、崇高なもの…環境保全や生命尊重の意識を深めるために、地域の自然や文化の教材化を図る。
- ◎集団・社会…個と集団の在り方を自覚させ、「いじめは絶対許さない」という明確な倫理、規範意識の確立に努めるために、人間関係を大切にしたい学級経営を推進する。

ウ 特別活動

望ましい集団生活を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

- ・自己の存在感の自覚と他者と豊かに関わる集団を形成するために、係活動や集会活動を充実する。
- ・自覚と責任ある行動をとることができるようになるために、児童会活動（七夕集会、子供祭り、1年生を迎える会、6年生を送る会等）や委員会活動、クラブ活動を児童の発想や主体性を生かして企画立案する。

(2) 特色ある教育活動

- 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るために児童会活動や集会、生活体育を充実する。
 - ・なわとび集会、こども祭り、
- 地域から学び、他者と豊かに関わるができるために地域の自然や社会を教材化する。
 - ・体験的な活動を重視する。
 - ・社会人講師の活用。
- 環境美化や環境保全の意識、態度を身につけさせるために家庭や地域と連携する。
 - ・クリーン作戦（PTA、地域との清掃活動、そのポスター、標語作りによる教科学習との関連）
- 個に応じた学習指導を推進するためにチームティーティングをより充実する。
 - ・指導形態、個別学習の創意工夫

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・基本的生活習慣の確立を図るために、日々の児童の実態を的確につかみ、全職員の共通理解のもと組織的に指導に当たる。
- ・いじめのない豊かな人間関係を確立するために教科指導において言語環境を整備し、コミュニケーション能力を育成する。
- ・学習への意欲と自ら学ぶ姿勢を高めるために学習環境（掲示、学習用品の整備）を整える。
- ・社会体験や生活体験の充実を図るために、家庭、地域社会および保育園、幼稚園、中学校との連携を図り児童の健全育成を進める。（地区育成会、小中交流会、豊田保育園学校参観など）
- ・児童の心の健康を図るために、教育相談活動を充実し、いじめの早期発見に努める。
- ・事故防止のために、定期的な施設整備の安全点検や学級での安全指導を充実する。

イ 進路指導

- ・児童一人一人の個性、能力を伸長するために日頃より児童のよさを引き出し、認め励ますとともに組織的な教育相談体制の充実を図る。
- ・児童に将来への夢や希望をもって生きていく態度を育てるために、地域や教室での人との関わりの中で一人一人に自らのよさを自覚させるよう指導する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研究員	現代化委員・開発委員	研究生・海外研
1	秋山 憲一（51理科）	秋山 憲一58（理科）	秋山 憲一58研究生（理科）
2	太田由紀夫（63理科）		太田由紀夫（2ヨーロッパ）
3	槇 圭子（4学校給食）		
4	小島 義範（4特別活動）		



学 校 名 日野市立日野第三小学校

所 在 地 日野市日野台 2-1-1

電 話 0425-81-0101・0850 FAX 0425-81-0850

児 童 数 男193名 女174名 計367名
(内ひばり9名)

校長氏名 三津山 要

教頭氏名 岡田 壽美子

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25. 6. 10 日野台小学校として独立する
児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
7. 18 校章制定
9. 19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27. 4. 15 4教室増築、教室数 17、2年まで2部授業
6. 10 校歌制定
- 昭28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業を解消
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築
教室数25、児童数869名
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1,100坪拡張
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される
- 昭38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地の1
- 昭46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
- 昭50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工
6. 1 校旗制定
- 昭54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭58. 4. 2 ひばり学級教室増設
- 昭58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
- 昭59. 3. 10 藤だな改修
3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージホリゾン幕改修
8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
12. 20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・

プール内シート防水・排水・バルブ改修・消防水利設備

昭60. 3. 31 裏門拡張・門扉改修

昭61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成

8. 31 体育館内部塗装

10. 31 北校舎屋上改修

昭62. プール更衣室等照明取付
ひばり教室改装・体育館外部塗装

昭63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理

8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理

8. 31 屋外幹線改修・校庭整備

平成. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修

平2. 8. 21 南校舎玄関塗装

平2. 8. 30 理科室床研磨、実験机交換

平3. 9. 30 北校舎改修(1年次)

平3. 9. 30 ランチルーム開設

平4. 北校舎改修(2年次)

平5. 北校舎大規模改修終了
プールのイレ改修

平6. 3. 飼育小屋新設

平6年度 体育館大規模改修
南校舎窓枠改修
校庭防球ネット延長

平7年度 生ゴミ処理機設置
体育館奈落改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高野忠正(事務取扱)	昭25. 6. 10～昭26. 3. 12
高 野 忠 正	昭26. 3. 13～昭27. 9. 30
尾 崎 半 次 郎	昭27. 10. 1～昭34. 3. 31
五 十 嵐 葆 光	昭34. 4. 1～昭37. 3. 31
塚 本 正	昭37. 4. 1～昭41. 3. 31
池 田 瑞 男	昭41. 4. 1～昭47. 3. 31
岩 井 庄 三	昭47. 4. 1～昭50. 3. 31
平 松 健 太 郎	昭50. 4. 1～昭54. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭54. 4. 1～昭57. 3. 31
古 田 耿 介	昭57. 4. 1～昭62. 3. 31
内 藤 康	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
増 賀 従 男	平2. 4. 1～平6. 3. 31
三 津 山 要	平6. 4. 1～現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で心豊かな児童の育成を目指し、次の目標を定める。

○ じょうぶな子ども

○ よく考える子ども

◎ 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○ 児童相互が個性を認め合い、励まし合い、支え合う望ましい人間関係を育む教育を推進し、人間尊重の態度の育成に努める。

○ 基礎基本を重視し、学年相互の関連した教育内容を精選・組織化するとともに、児童が主体的に学習に取り組むような指導・評価の工夫・改善を図る。

○ 体験的な学習や問題解決的な活動を取り入れ、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる能力を育み、生涯を通じて学び続ける意欲と、能力を育成する教育の充実に努める。

○ 保健・体育的活動を年間を通して計画・実施し、自ら進んで心身をきたえる態度を養うとともに、たくましく生きる子供の育成に努める。

○ 学校週5日制の月2回実施の定着が進むなかで、学校・家庭・地域社会の各々の教育力を生かしながら、自然や文化を大切にし、自ら判断し行動できる、心豊かな子供の育成に努める。

○ 学校の教育目標・基本方針が家庭に十分理解され、協力が得られるように積極的に働きかけて家庭・地域社会との連携に努め、開かれた学校づくりを推進する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○ 教科教具の工夫・活用を研究し、基礎的・基本的事項の学習の定着を目指した指導を充実させる。

○ 体験的学習・問題解決的な活動を重視し、気づかせ・発見させる学習を推進することによって意欲的に学習に取り組ませ、柔軟な思考力・的確な判断力を培う。

○ 成就感・達成感をもてる授業を確立し、主体的に学ぶ学び方を身につけ、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。

○ 個性をとらえ、学習形態や学習過程を工夫し、個に応じた指導に努める。

イ. 道徳

○ 教育活動全体を通じて道徳教育を充実させ、実際の・体験的活動の中で、よく考え、進んで実践していく態度を育成する。

○ 資料・視聴覚教材の充実を図り、授業の工夫・改善を進め、自分自身を真剣に見つめる心と他の人を優しく思いやる心を養い、道徳的实践力を高める。

ウ. 特別活動

○ 学級活動や委員会、クラブ活動、集会活動等の自主的・実践的活動を充実させ、望ましい人間関係を形成するとともに、集団の中で自己を生かす力を育てる。

○ 児童の実態に即応した活動計画をもとに、創意工夫を生かした活動を通して、互いに思いやり、助け合う態度を養い、豊かでうるおいのある心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

ア 地域の自然・人材を生かした多様な教育活動を工夫し、自然・文化・伝統を大切にする態度を培う。

イ 兄弟学級集会・誕生給食における異年齢集団活動や行事給食における地域の人々とのふれあいを通して、学校の一員・地域の一員としての連帯感や責任感を育てる。

ウ 心身障害学級や養護学校との交流を通して、心身に障害のある友だちや人々との相互理解を深め、思いやりや共に生きることの大切さ・すばらしさを学ばせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○全教職員の共通理解をもとに、きまりを大切にすることを養い、体験的活動のなかで人とのふれあいを深め、他を思いやる気持ちや物を大切にすることを育てる。

○家庭・地域との連携を密にして、児童理解に努め、児童と教師の心のふれあいを大切にしたい指導を充実させる。

イ. 進路指導

○児童一人一人のよさを発見し、その個性や特性を生かすことのできる教育活動の場を設定し、目標達成に向かって意欲的に生活することができるように援助する。

○様々な体験的活動を促し、社会の一員としてのかけがえのない自己に気づかせ、生きる喜びを持つ児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

教材教具の ・活用による指導法の改善

7. 本校の特色

(1) 児童は主体性・粘り強さにもう一步というところはあるが、明るく素直で活発である。

(2) 校内研究では“よく考える子ども”の育成のために、教科教具の充実を図ると共に、その開発・工夫・整備・活用による指導法の改善を掲げて、授業研究を進める。

(3) 地域に残されている畑や自然を教材として活用し、さらに、地域の農産物を給食に取り入れ、「ふれあい給食」等を実施して、地域の人々との交流を大切にしている。

(4) ひばり学級（心身障害学級）があり、校内における交流教育はもとより、市内心障学級や地域に隣接している八王子東養護学校との交流教育にも力を入れ、豊かな心の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	開 発 員	中 央 研	海 外 派 遣
1	青木 利夫 6 (心障教育)	三津山 要 53 (算数)		岡田壽美子 平6	
2		青木 利夫 平元 (心障教育)			
3		岡田壽美子 平2 (学校保健)			
4		前田佐和子 平5 (国語)			



学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田430
電 話 0425-81-0038 FAX 0425-81-3076
順 路 日野駅から高幡不動駅バス下田下車
立川駅北口から京王高幡不動駅バス四小前下車
徒歩3分
児 童 数 男231名 女270名 計501名

校長氏名 小 原 良 雄

教頭氏名 光 地 幸 子

1. 沿革の概要

明6. 5. 5 下田学舎
明11. 9. 下田小学校
明41. 3 日野小学校下田分教場
昭29. 8. 18 校地決定4.259.14坪
昭30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を開校記念日とする
12. 22 校章制定
12. 25 第二期校舎竣工
昭31. 3. 5 校旗完成
昭35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
昭36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校記念日とする。
昭40. 3. 31 防音校舎9教室完成
昭41. 3. 31 防音校舎第2期工事完了
昭43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究発表会をする（都、市指定校）
昭45. 3. 31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
昭48. 5. 22 創立百周年記念式典
昭54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備
6. 22 プールサイド全面コンクリート塗装工事
昭55. 2. 2 給食室作業場、休憩室改修工事
6. 20 プール内塗装工事
昭56. 8. 25 新校舎への親子方式TV配線、放送室内のスタジオ形式の改装
8. 27 屋上高置水槽改造
8. 30 都市ガス化にともなう配管取替
昭57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替
昭57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等の改修
9. 4 非常階段設置
昭58. 3. 27 自転車置場設置
10. 31 創立百十周年記念式典
昭59. 3. 31 仲田小学校分離 141名転出
9. 28 校庭の体育館倉庫新設
昭60. 8. 31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
昭61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理
校庭東側フェンス張替工事
8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工事

昭62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工事
昭63. 3. 27 プール内塗装工事
昭63. 7. 31 小プール排水工事完了
8. アスベスト撤去工事
8. 3 集水桝工事完了
8. 8 放送室調整卓取替工事
平元. 8. 31 校庭改修工事
校舎外塗装工事
平2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット取り付け工事
平2. 7～10 体育館内外壁・床工事
平2. 9～10 消火栓ポンプ取替工事
平3. 3. 1 保健室エアコン設置工事
平3. 3. 17 体育館消火栓工事
平4. 8 パソコン設置
平4. 8 造形砂場設営工事
平5. 8. 給食調理室改築工事
5. 11. 創立120周年記念式典
平6. 3. 生ごみ分解消滅機設置
平6. 10 新館建物内外改装完了
平7. 2 ランチルーム使用始
平7. 6 プール循環装置新設
平8. 3 多目的室を普通教室に改修

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	浦 上 増太郎	昭30. 3. 29～昭36. 3. 31
2	田 中 善 次	昭36. 4. 1～昭44. 3. 31
3	森 徹	昭44. 4. 1～昭47. 3. 31
4	内 藤 達 夫	昭47. 4. 1～昭52. 3. 31
5	釜 池 博	昭52. 4. 1～昭57. 3. 31
6	竹 永 秀 雄	昭57. 4. 1～昭60. 3. 31
7	田 中 光 穂	昭60. 4. 1～昭63. 3. 31
8	波多野 坦	昭63. 4. 1～平3. 3. 31
9	片 岡 千 壽子	平3. 4. 1～平7. 3. 31
10	小 原 良 雄	平7. 4. 1～現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯9地区である。甲州街道からの約1km南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集団住宅を始め、万願寺、新井地区の区画整理宅地造成が進められ、田園地域より住宅化しつつある。また、モノレールの工事も着々と進んでいる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い社会の変化に自ら対応できる課題解決への意欲をもち豊かな心と生きる力の育成をめざして、次の目標を定める。

- | | |
|------------------|------------|
| ◎自分の力で考える子（重点目標） | ○みんなと協力する子 |
| ○じょうぶな体をつくる子 | ○最後までやりぬく子 |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

未来社会をたくましく生き抜く子どもを育てるために「地域に根ざした、開かれた教育」をもって、課題解決に意欲的に取り組み、学ぶ力を身に付けた個性豊かな児童の育成をめざし「自分で考える子」を重点目標とする。

- ① 教育目標を学校・学年・学級で具現化し、全教育活動を通して人間尊重の精神を培い、豊かな人間関係を通して人としての在り方や生き方を学ばせる。
- ② 児童の個に応じた授業の工夫・改善をめざし、問題解決や体験を重視した指導を通して、新しい学力観に立った主体的な学習態度の育成を推進すると共に、基礎・基本の学力の定着を図る。
- ③ 教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、道徳性の涵養を図るとともに、人々との触れ合いを通して社会人としての良識ある態度を養いもって国際人としての素地を培う。
- ④ 教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、生命の尊さを自覚し、生涯にわたって体力の維持向上を図る能力や態度を育成する。
- ⑤ 学校週5日制の趣旨を生かし、家庭・地域社会との交流と連携を蜜にすると共に、地域の自然・文化及び諸施設を活用した教育活動を推進し、開かれた学校をめざす。もって、地域の一員としての自覚のもと逞しく生きる力を持ち、心豊かで思いやりのある児童の育成をめざす。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 児童一人ひとりの考え方や取り組みを大切にし、成就感や満足感を味わわせ、学習意欲を喚起する。そのために、校内研究の充実にも努め授業の公開を通して指導内容の重点化・指導法の改善につとめる。
- 表現力・思考力・創造力の育成を図るために、体験的学習・問題解決学習を重視した指導計画の作成及び教材教具の整備活用につとめる。
- 配慮を要する児童理解に努め、個に応じた指導・支援の在り方を追究する。

イ. 道徳

- 全教育活動を通して児童相互の人間関係・児童と社会、自然とのかかわりを深める中で児童の内面に根ざした道徳性の育成を図り、人としての生き方を学ばせる。
- 家庭や地域社会との連携を図る中で日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる実践的な態度を培う。

ウ. 特別活動

- 児童会活動・行事等においては、話し合い活動を充実させるとともに、児童相互の協働の場を設定し、協力してよりよい生活を築こうとする連帯意識を育てる。
- クラブ活動では自発的・自治的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 学級活動では一人ひとりの意見や考えを尊重し、よりよい学級づくりをめざして取り組み自己実現を図らせる。

(2) 特色ある教育活動

- 異年齢集団活動（たてわり活動）の場を設定し、児童相互のかかわりを広げ、社会性や思いやりの心を育てると共に創造性のある逞しく生きる力を育てる。
- 外国児童との交流活動を取り入れ、国際社会の一員としての自覚を培う。
- ノーチャイムを一部導入し、ゆとりと充実のある活動を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 話を聞く態度の育成を中心に、集団生活の中で必要な基本的な生活習慣の指導徹底を図る。
- PTAによるアルミ缶回収活動ならびに校内清掃活動等を通して、物を大切にする習慣の形成に配慮し、環境を維持・改善していく態度の素地を培う。
- 配慮を要する児童はもとより児童一人ひとりの良さを理解し、指導・援助していくために、家庭・地域との連携を一層深めると共に、教育相談体制の充実を図る。

イ. 進路指導

- 児童の発達段階に即して、主体的な学び方を身に付けさせるとともに進級・進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

『一人一人が自ら考え、お互いに認めあい高めあう児童の育成』

7. 本校の特色

- ① 創立122年の歴史と伝統をもつ学校である。四小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集合住宅に住む父母がおり、教育に対する関心や意識が多様である。
- ② 異年齢たてわり集団活動により、児童同士の心のふれあいや協力する場の中で思いやりのある心豊かな児童を育て、人間性豊かでうるおいのある学校づくりに努めている。
- ③ ノーチャイムを一部導入し、児童の健康づくりと遊び時間の確保によりいじめのないゆとりと充実した教育活動の推進に努めている。
- ④ 多摩川、近隣農家の自然利用、地域性を生かしての体験学習を深めていく。
- ⑤ 幼・小・中学との連携、教職員によるP. T. A活動への積極的参加により本校教育の充実を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	No.	内 訳	海 外 派 遣
1		小 原 良 雄（62・道徳）	5		光地 幸子（平5．海外派遣） （平2．教材開発、国語）
2		玉 置 順 子（61・給食）			
3		福 田 功（平4・体育）			
4		立花せつ子（平4・音楽）			



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平 6-21-1
電 話 0425-81-0407・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩 3 分
日野駅より京王バス八王子駅行き
日野自動車工場前下車 徒歩 5 分
児 童 数 男277名 女266名 計543名（うち病弱児 3 名）

校長氏名 畑 石 重 輝

教頭氏名 吉 野 美智子

1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の
校舎を借用し授業開始
6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始（現在地）
昭35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
昭36. 5. 31 第3期工事完成
8. 28 大プール、小プール竣工
昭38. 2. 20 校章制定
昭39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定（卒業記念寄贈品）
昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭43. 5. 20 体育館竣工
昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
昭50. 4. 1 訪問学級設置
昭51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭54. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭55. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭56. 3. 31 校舎 6 教室改修（H校舎）
昭59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
昭60. 3. 31 体育館床研磨
昭61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
昭62. 9. 校舎新築本決まり
昭63. 4. 18 改築設計予算決定
平元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
平元. 7. 17 校舎改築工事着工
平2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
平2. 4. 5 さやか学級新校舎に引越し
平2. 7. 30 新校舎へ引越し
平2. 8. 1 旧校舎解体工事
平2. 9. 1 新校舎で授業始
平2. 11. 30 30周年記念・校舎落成記念式典
平2. 12. 5 校庭工事検査完了
平4. 2. 25 「さやか学級」公開研究発表
平5. 1. 7 体育館舞台袖幕取替え

- 平5. 6. 11 体育館舞台吊物昇降機工事完了
平6. 11. 28 さやか学級研究発表（文部省調査研究協力校）
平7. 3. 8 体育館舞台緞帳工事
平7. 6. 15 社会教育施設として、一部教室を開放
平7. 8. 17 特別室棟非常階段防護柵設定工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増 島 光 一	昭34.4.1～昭36.3.31
浦 上 増太郎	昭36.4.1～昭39.3.31
福 寿 文 雄	昭39.4.1～昭42.3.31
星 野 正 男	昭42.4.1～昭47.3.31
荒 井 一 男	昭47.4.1～昭49.3.31
三 井 知 夫	昭49.4.1～昭52.3.31
多 昌 直 之	昭52.4.1～昭56.3.31
田 中 光 一	昭56.4.1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4.1～平3.3.31
野 村 武 郎	平3.4.1～平5.5.7
畑 石 重 輝	平5.5.16～現在

3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線（甲州街道）にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社がある。また、自然環境に比較的恵まれ、団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっているが、公団建て替えにより、ここ数年児童数の減少傾向にある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調に、これからの社会において児童一人一人が心身共に健康で主体的に生き、個性を発揮し、自ら学ぶ意欲と学習の仕方を身に付け、国際社会に貢献できる児童を育成する。

児童像として

- ・健康で たくましい子ども
- ・心豊かで 明るい子ども
- ・進んで学び 工夫する子ども
- ・認め合い 助け合う子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・重点研究「主体的な活動をととして、楽しく学び合う児童の育成」の実現に向け授業改善を図り、主体的に学ぶ力を育てる。
- ・指導教材を基礎的・基本的な事項に精選し、指導計画のもとに個に応じた指導の工夫を図り、学力の定着に努める。
- ・地域の自然・社会環境の活用や教材・教具の整備活用、体験学習を取り入れるなど積極的に行い、学ぶ意欲や態度を育む。

イ. 道徳

- ・自然や人々とのふれあいを深める体験や動植物を育てる体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性を育てる。
- ・資料を整備し、指導計画のもとに道徳授業の充実を図る。
- ・教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、他への思いやり等の心情を陶冶し、その実践力を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級活動、児童会活動、クラブ活動等に異年齢集団の活動を取り入れ、楽しい学校生活を展開する。
- ・児童の興味、関心のある多様な集会活動を主体的に実施させ、自主性を育てる。
- ・身近な環境に目を向けさせ、勤労生産・ボランティア活動等を通して、環境をよりよくしていこうとする実践的態度を培う。

(2) 特色ある教育活動

- ・集会活動を企画し、異年齢集団の活動を通し、楽しい学級、学校生活にする。
- ・多目的ホール、多目的教室、視聴覚機器等の施設、設備の活用を通して主体的な活動を促し、学習活動の充実を図る。
- ・子ども祭り等、学校生活に創意ある活動を取り入れ、活力のある活動にする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・毎月の指導目標を具体的に設定し、毎週土曜日に教職員の共通理解を図り、指導を徹底する。
- ・教師と児童が密度の濃い接触を通し児童の心身の安定に努め、教育相談の指導体制を強化し、指導の充実を図る。
- ・家庭、地域の連携を深め、基本的学習・生活週間を身に付け、実践できる児童を育成する。

イ. 進路指導

児童一人一人の特性を十分理解し、その個性や能力を伸ばし、将来の希望等について教育活動全体を通して指導する。

6. 本年度の研究主題

「主体的な活動をととして、楽しく学び合う児童の育成」

7. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、昭和34年新しい建築様式により建設された。当時少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築の後、新しい施設・

設備の整った現在の校舎が平成２年に完成した。校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。昨年度より学校の施設・設備を積極的に地域に開放し、開かれた学校としてその推進役を果たしている。

日々の教育活動では、市の重点・課題のもとに地域・児童の実態に即した創意ある指導の実践に努めるとともに、多目的ホール・多目的教室を生かした学習活動を取り入れている。

校内研究では主体的に学ぶ力を育成するために、本年度は「主体的な活動をとおして楽しく学び合う児童の育成」を研究主題に取り上げ、基礎・基本となる内容を重視し、主体的に学ぶ力を育成するとともに、豊かな心情を育てることを目指している。

学校行事や特別活動では、兄弟学級の活用を取り入れながら体力づくり、運動会、音楽会、さらには身近な環境に目を向けさせ勤労生産・ボランティア活動等の教育活動を設定している。

○各学年では発達段階に応じ、主体的に学ぶ力・表現力を高める指導法の研究に努め、自主協力学習を進める。

○児童と児童、児童と教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導を重視し創意ある教育活動を実践する。

○兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、最後までねばり強い活動を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	道 徳 助 言 研
1	畑 石 重 輝 (S59 理科)	北 野 義 昭 (S60 図工)	吉 野 美智子 (S63 道徳)
2	折 笠 玉 典 (H7 道徳)	吉 野 美智子 (S62 道徳)	
3		風 野 敏 子 (H7 生活)	



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平 3-21
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩13分
京王バス コニカ裏門下車 3分
児 童 数 男238名 女239名 計477名

校長氏名 小笠原 久雄

教頭氏名 西 森 恵 子

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として設置
児童1年～3年
7学級 263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名 教職員21名
9. 6 プール完成（6コース25m）
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 17 南校舎（普通教室11、職員室、校長室）完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成
- 昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」発表（市研究協力校）
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築（普通教室5、音楽室、管理室4）
5. 南門完成
- 昭50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定
6. 28 開校十周年を祝う会
- 昭52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭58. 11. 26～27 展覧会開催（昭和42年以来16年ぶり）
- 昭58. 3. ～ 体育館屋根等の塗装、大プールビニール張り、南校舎内装改修
- 昭59. 7. 北校舎廊下の張り替え
- 昭60. 6. 29 創立20周年記念、六小子どもまつりを行う 円形花壇完成
- 昭61. 12. 校庭南側生垣完成
- 昭63. 8. 体育館の床・壁面改修
11. 12 第1回音楽会開く。この年より、学芸会、展覧会、音楽会を順に行う
- 平1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設

- 平2. 3. 1 ランチルームが新装なる
- 平5. 3. 31 造形砂場完成
- 平5. 4. 人権尊重教育の推進校指定
- 平5. 11. 6～7 展覧会を行う
- 平6. 11. 5～6 第3回音楽会を開く
- 平7. 3. 17 プール薬品庫完成
- 平7. 6. 1～10. 10 南校舎大改修一期工事、体育館改修、北校舎給水管工事
- 平7. 11. 11 三十周年記念行事子ども祭り
- 平7. 11. 17～18 三十周年記念学芸会を行う
- 平7. 12. 2 三十周年記念式典・祝賀会を行う

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭40.4.1～昭43.3.31
峰 岸 敬次郎	昭43.4.1～昭46.3.31
新 海 圭 三	昭46.4.1～昭50.3.31
安 積 利 治	昭50.4.1～昭53.3.31
光 永 久 夫	昭53.4.1～昭57.3.31
石 井 三 士	昭57.4.1～昭62.3.31
清 水 七 郎	昭62.4.1～平4.3.31
小 幡 建	平4.4.1～平8.3.31
小笠原 久 雄	平8.4.1～

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は人間尊重の精神を基調とし、法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、民主的社会人として調和のとれた人間形成の基礎づくりを目指し次の目標を定める。

- 考えながら学ぶ子
- 思いやりをもつ子
- がんばりぬく子
- 身体をきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 豊かな心をもち、たくましく生きる児童をめざす。特に「考えながら学ぶ子」「思いやりをもつ子」を重点目標に掲げ、知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。
- イ. 児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的・基本的な内容を重視し、教師の協業と協働を図りながら、個性と能力をひき出す教育活動の推進を図る。
- ウ. 具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実に努める。
- エ. 生命尊重、人間尊重の意識を自ら高める児童を育むために、全ての児童の交流を大切にし、相互理解と協力の機会を設定して思いやりの心の育成を図る。
- オ. 学校週五日制への移行に伴い、学校・保護者・地域が一体となり交流・連携を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 研究主題「自ら学ぶ子どもを育てる学習指導法」について追究する。特に体験的活動を中心に学習指導法の改善充実を図る。
- 研究や日々の授業を通して体験的活動を重視した学習や問題解決的学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心とした研究を推進する。
- 個に応じた指導を重視し、チームティーチング指導の充実を図る。

イ. 道徳

- 心豊かで、助けあい、認めあう人間関係の育成を目指す。
- 進んで働き、最後までがんばる態度の育成を図る。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。
- 資料の整備・活用・指導法の改善を図り、道徳の実践力を高める。

ウ. 特別活動

- 学級活動の充実を図るために、児童の自発的・自治的活動を促し、自主的・実践的な態度を身に付けさせる。
- 児童会活動を楽しい学校、規律ある生活を目指す児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動、学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動を目指し、児童相互に協力し、助け合う自主的な活動を大切にする。

(2) 特色ある教育活動

- 異学年による活動を計画し、助け合いや遊びの機会を多くすることにより、思いやりや責任感を育てる。
- 児童の創意を大切に、自主的に参加できる行事を企画・実践する。
- 福祉副読本の活用や地域の福祉施設との交流を深め、福祉教育の充実を図る。
- 環境副読本の活用を通して、環境教育の素地を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着化を図る。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解を図り、学校全体で見守り、育成にあたる。

- 言語活動の適正化を図り、思いやりをもつ児童の育成にあたる。
- 家庭や地域との連携を深め、協力しあって児童の健全育成にあたる。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の個性・特性を理解し、発達段階に応じた指導を図るとともに、自己の良さをいっそう伸長させようとする意欲・態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「自ら学ぶ子どもを育てる学習指導法」

- 体験学習のあり方を追究し、豊かな心をもち、たくましく生きる児童像の具現化をめざす。
- 日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取り組んでいく。
- 各学年ごとに分科会を構成し、授業研究を中心にすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を整備充実し、学校緑化と情操教育に効果をあげている。また、野鳥の愛護にも努め直接体験活動の充実の一環としている。
- (2) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。
 - ・多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
 - ・児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が高い。
 - ・保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	開発委員	研究員	海外派遣	道徳・助言研
1	小笠原 久 雄 (55. 特活)	小笠原 久 雄 (49. 特活)	和 田 雅 実 (平5)	西 森 恵 子 (平5)
2		西 森 恵 子 (平4 家庭)		
3		村 上 悦 子 (45. 音楽)		
4		鶴 間 紀 子 (平3 生活)		
5		清 水 良 夫 (54. 僻地)		
6		小 川 浩 太 郎 (平6 体育)		



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡402
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
児 童 数 男200名 女160名 計360名

校長氏名 香 川 善 平

教頭氏名 逸 見 明 男

1. 沿革の概要

- 明6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す
- 明11. 11. 三沢701番地に移転し、潤徳小学校と称し校舎を新築する
- 明20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする
- 昭16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭27. 5. 創立80周年記念として、白鳥省吾作詞、信時潔作曲の校歌を作成する
- 昭33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭34. 4. 給食調理室完成
- 昭37. 10. 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭40. 12. 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。
- 昭41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭44. 2. 屋内体育館落成
9. 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校
- 昭46. 2. 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
4. 普通教室9教室、学校図書館増築
- 昭48. 5. 開校百年記念式典挙行
- 昭49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭55. 9. 校庭整備完了
- 昭58. 2. 研究発表会（国語）
5. 開校110周年記念式典挙行

- 昭60. 2. 研究発表会（全学級公開、国語）
- 平5. 4. 湾処内トンボ池完成
- 平5. 9. 体育館の緞長・中幕・バック幕 暗幕新調
- 平5. 11. 開校120周年記念式典挙行
- 平6. 8. 家庭科室壁面塗装
- 平7. 8. 砂場・ジャングルジム改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明9. 12～明11. 11
3	和 山 作太郎	明11. 11～明15. 11
4	土方 喜久太郎	明15. 11～明17. 2
5	宮 倉 保五郎	明17. 2～明19. 10
6	小 宮 太之助	明19. 10～明20. 10
7	須 崎 和 藏	明20. 10～明31. 3
8	小 宮 彌一郎	明31. 2～明34. 4
9	加 藤 菊次郎	明34. 4～明36. 1
10	佐 藤 良 輔	明36. 1～明42. 4
11	沖 倉 与 一	明42. 4～明43. 4
12	荒木田 大 夫	明43. 5～明45. 3
13	小 宮 彌一郎	明45. 4～大12. 3
14	平 杉 藏	大12. 4～大13. 3
15	矢 沢 久 司	大13. 3～大14. 9
16	小 泉 栄 一	大14. 10～昭3. 3
17	広 井 博 昭	昭3. 4～昭7. 9
18	重 松 正 顕	昭7. 9～昭14. 7
19	鈴 木 慶 藏	昭14. 7～昭22. 2
20	赤 坂 元 春	昭22. 2～昭27. 9
21	塚 本 正	昭27. 10～昭37. 3
22	尾 崎 半次郎	昭37. 4～昭41. 3
23	塚 本 正	昭41. 4～昭43. 3

24	溝呂木 桂 次	昭43. 4～昭47. 3	28	篠 宮 忠 男	昭61. 4～昭62. 3
25	星 野 正 男	昭47. 4～昭51. 3	29	石 黒 健	昭63. 4～平4. 3
26	村 田 守 正	昭51. 4～昭55. 3	30	香 川 善 平	平4. 4～現在
27	黒 沢 保 雄	昭55. 4～昭61. 3			

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲を持った心身共に健康で心豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

- | | | |
|---|---|---------|
| 敬 | 愛 | ・考える子 |
| 自 | 由 | ・はたらく子 |
| 勤 | 労 | ・心ゆたかな子 |
| | | ・健康な子 |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「主体的に課題に取り組みやりぬくたくましさ、豊かな心を持った子どもの育成」を指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の主体性を重視した教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う人権尊重の態度を育てる。
- ② 研究・研修の充実により、各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、主体的に学習する意欲や態度を育てる。
- ③ 全教科・領域にわたって、体験的な活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にする態度を育てる。
- ④ 家庭・地域との連携をより深め、地域の自然や文化を取り入れた教育活動の充実を図ることにより、国際理解の基礎を培うと共に、社会性を育てる。
- ⑤ 年間を見通した指導計画の作成と指導内容・方法の創意工夫により、教育水準の維持・向上を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ① 児童一人一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的、基本的な内容の徹底を図る。
- ② 主体的、意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。
- ③ 地域の自然や文化を生かした体験的学習を取り入れ、「生きる力」を育てる。

イ 道徳

- ① 教育活動全体を通して、生命尊重の思いやりの心を育てる。
- ② 道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。
- ③ 児童相互、児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ 特別活動

- ① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。
- ② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ① 水曜日の朝の学級活動や学年をこえた縦割り班集会などでの交流により、社会性や連帯感を育てる。
- ② 野菜作りや学校周辺の清掃活動などの場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。
- ③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- ④ 浅川や向島用水親水路、高幡山、不動尊など、地域の豊かな自然や文化にふれる体験活動を通して、自然や文化を大切にする態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 正しい児童理解につとめ、一人一人を生かす指導の徹底を図る。
- ② 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にし、好ましい人間関係をつくる。
- ③ 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る
- ④ 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。
- ⑤ 家庭および地域との連携を深め、協力して児童の健全育成に努める。

イ 進路指導

- ① 児童理解に基づき、児童の個性、能力の伸長を図り、生涯にわたって、自己実現の図れる基礎を培う。
- ② 体験的な活動等を通して、望ましい勤労観や職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

認め合い、学び合う力を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

創立122年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする保護者、新しく住居を構えた保護者、集団住宅に住む保護者等があり、教育に対する関心や意識が多様である。この中で「敬愛、自由、勤労」の伝統を大切にしながら、保護者・地域との連携を深め児童の健全育成に努めている。

○地域の自然や文化を生かした学習活動や地域の田・畑を借りた生産体験学習を実施し、「生きる力」の基礎を育てている。

○異年齢集団（たてわり班、兄弟学級）活動を実施することにより、児童相互の交流を深め、社会性や思いやりの心を育てている。

○教職員が交替で読み聞かせをしたり、本の紹介をしたりして、心豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	そ の 他
香 川 善 平（49 特 活）	香 川 善 平（55. 56. 兵教大大学院留学）
逸 見 明 男（3 道 徳）	香 川 善 平（58. 59. 多摩研推委）
牧 野 豊（5 特 活）	逸 見 明 男（2. 道徳助言研）
清 水 絢 子（7 国 語）	
小 野 勝 政（8 算 数）	



学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
F A X 0425-91-0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男179名 女168名 計347名

校長氏名 畑 野 元 一

教頭氏名 難 波 和 子

1. 沿革の概要

- 明6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8ヵ年）
明17. 平山598番地に新築移転 校名を平山尋常小学校と改める。
明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
明41. 尋常科を6ヵ年、高等科を2ヵ年とする。
昭16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
昭22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
昭32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
昭38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
昭42. 5. 平山4-8-6に移転する。
昭46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更
昭53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更
昭57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
昭58. 5. 開校110周年祝賀式典挙行
8. 本館南側残部 特別教室北側窓取替
昭59. 1. 本館北非常用階段設置
11. 体育館外壁改修
昭60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張
8. 教室廊下側窓改修
昭61. 7. 正門改修
昭62. 1. 校庭整地 本館北側アルミサッシに改修工事 本館防火シャッターおよび扉改修工事 本館外壁全面塗装工事
昭63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事
平元. 西門改修、フェンスの生垣化
平3. 西側トイレ改修 生活科室改修
平4. 東側トイレ改修
平5. 開校120周年祝賀式典挙行

新館トイレ、外装工事

- 家庭科室、多目的室改修工事
平6. 新館非常階段、体育館屋根塗装
平6. 消防設備、受水模、音楽室、改修工事
平7. 音楽室フロア改修工事
本館北側壁面、昇降口の廂、新館南側壁面塗装工事
ランチルーム全面改修工事
正門の花壇増設

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	梁 義 伯	明6. 5～明12. 1
2	大 沢 教之助	明12. 1～明20. 3
3	石 井 芳 丸	明20. 4～明30. 5
4	吉 永 信 丸	明30. 6～明35. 5
5	小 宮 彌一郎	明35. 6～明45. 3
6	古 屋 障 司	明45. 4～大2. 5
7	勝 又 房太郎	大2. 5～大4. 5
8	平 杉 蔵	大4. 6～大9. 3
9	上 田 富 弥	大9. 4～大15. 3
10	杉山 喜知太郎	大15. 4～昭6. 3
11	石 川 雄 丸	昭6. 4～昭11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭11. 2～昭13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭13. 4～昭21. 3
14	飯 塚 節 三	昭21. 3～昭22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭22. 4～昭28. 3
16	森久保 惣 治	昭28. 4～昭34. 3
17	高 橋 本 義	昭34. 4～昭37. 3
18	加々美 良 英	昭37. 4～昭40. 3
19	後 藤 正 太	昭40. 4～昭42. 3
20	安 積 利 治	昭42. 4～昭47. 3
21	小 野 晃	昭47. 4～昭51. 3
22	深 沢 真 人	昭51. 4～昭55. 3
23	林 元 美	昭55. 4～昭58. 3

24	伊 藤 智 章	昭58. 4～昭61. 3	26	内 藤 康	平2. 4～平7. 3
25	蓮 池 守 一	昭61. 4～平2. 3	27	畑 野 元 一	平7. 4～

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接し、平地、田んぼ・畑等の農地もいくらか残り、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地・都営住宅・造成地住宅等が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつある。他地域からの転住者も増加している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき（特に人間尊重の精神を基調に）知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

○すすんで学び やりぬく子

- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に生きる力を育てる。
- ・自分の目標をもち、失敗や障害を乗り越えて最後までがんばりぬく力を育てる。

◎思いやりをもち 助け合う子（重点）

- ・自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育む。
- ・相手を尊重する態度（あいさつ・言動など）が実践できる力を育てる。

○からだをきたえ 元気な子

- ・すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力を育てる。
- ・自他の健康・安全に気をつけ心身共に健全な子を育成する。

なお、本年度は「思いやりをもち、助け合う子」を重点とし、自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育み、相手を尊重する態度（あいさつ、言動など）が実践できる力を育てる指導に力点を置く。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

① こども主体の授業をすすめる。

児童が主体的に課題をもち判断し行動できるために、基礎・基本の定着、個を生かした教育活動を推進する。

② 教育環境の整備をすすめる。

児童の感受性が高まる校内環境づくりを通して、進んでよい環境に気づき、取り組む児童を育成する。

③ 自他を尊重する態度を育成する。

全教育活動を通して、教師及び児童、児童相互における人間関係を深め自他を尊重する態度を育成する。

④ 社会性の向上を図る。

児童活動や様々な行事を通して集団の一員としての自覚を高め、互いに思いやる心を育て社会性の向上を図る。

⑤ たくましく生きる力をつける。

地域の文化や伝統、自然と人との触れ合いを通して、自己の存在意識を見出し、高め、たくましく生きる力を育てる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ① 基礎・基本を重視し、児童一人一人の発達段階に応じた指導計画をたてる。
- ② 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- ③ 児童の課題意識を大切に授業計画をたて、楽しくわかる学習指導方法の工夫をすすめる。
- ④ 浅川や南平丘陵公園など地域の特性を生かした様々な体験学習と地域の教育力を導入した活動を展開する。

イ 道徳

- ① 豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成をはかる。
- ② 日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係の育成などとの関わりの中で、道徳的实践が促されるよう配慮する。

ウ 特別活動

- ① 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりをめざす。
- ② 児童の主体性、創造性を生かした活動を通して自主的実践的態度を育てる。
- ③ 集団下校班等縦割りの異年令集団を生かし、児童相互の触れ合いを広げ、豊かな人間関係を深める。

(2) 特色ある教育活動

- ① 児童が主体的、創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
- ② 学級・学年の時間を特設し、教師と児童、児童と児童の相互の触れ合いを通して人間関係を深める。
- ③ 地域の特性を生かすとともに、PTAなどとの連携で通学路クリーン作戦など、環境教育をすすめる。
- ④ 稲作り、野菜づくり、花づくりなどの栽培体験を通して、自然に親しみ、心豊かな児童の育成をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己を確立し、社会集団の一員として希望を持って明るく強く生きる力を身につけさせる。
- ② 児童が安全に生活できるよう遊具、施設、設備の点検、修理等に留意していく。
- ③ 児童が地域や学校での生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と社会規範を守った行動がとれるようにする。
- ④ 保健活動を充実させ、自己の健康、安全に気づき、体力向上を図る。

イ 進路指導

- ① よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。
- ② 全教育活動を通して、一人一人が目当てを持ち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「楽しくわかる算数の学習指導法の工夫」

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校123年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と五世代にわたって在校した家庭もあり、学校に対する地域の愛着が強い。一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も増加している。従って、地域からは多様な要望があり、期待も大きい。このような状況の中で、伝統として残されてきた古き良きものを大切に、新しいものを取り入れながら、より良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや自己中心的な行動が目立つ。そこで、今年度も昨年度に引き続き、「助け合う子」を教育目標の重点に定め、教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの広い花壇、100㎡余りの田んぼ及び同程度の飼育小屋・広場がある。花や稲の栽培、がちょうやあひる等の飼育をはじめ、学校周辺の自然を活用した体験的活動を通して、児童の心と体の育成に努めている。更に、地域の旧家を移築した「いろりの部屋（和室）」での古老による「お話会」や、そこに展示してある昔の農耕機具等を使った歴史学習など地域の教育力を生かした活動を行っている。この「いろりの部屋」はPTA活動にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

No	内 訳	研 究 員	中央研・海外派遣	開 発 委 員 会 委 員
1		佐 藤 ヒサ子 (60. 保健)	田中 延子 (7. 海外短期)	難 波 和 子 (63. 家庭)
2		佐藤 典子 (61. 栄養職員)		田 中 延 子 (4. 社会)
3		千 秋 香 (7. 音楽)		
4		品 田 真 (7. 算数)		



学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢200
電 話 0425-91-2411・2412
F A X 0425-91-2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分
児 童 数 男304名 女305名 計609名

校長氏名 鈴 本 利恵子

教頭氏名 青 木 友 晴

1. 沿革の概要

- 昭44. 1. 2 開設が決定 工事に着手
4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始
8. 16 日野第八小学校開校
9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う
11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定
11. 25 校舎落成祝賀式挙行
昭45. 1. 15 公募により校章決定
4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築
7. 15 校旗ができる
7. 16 25m6コースのプールが完成し、プール開きを行う
9. 7 校歌完成 作詞 米津千之、作曲 渡辺浦人
昭46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築
6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する
9. 15 体育館工事着工
昭47. 2. 15 体育館落成式を挙行する
4. 1 プレハブ2教室増築
プレハブ5教室使用
6. 20 西武百草団地入居のため250名の児童転入
昭48. 3. 本校舎8教室の増築完了
5. 校地前程久保川の工事完了
昭49. 3. 1 校門が完成
昭49. 4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用
8. 15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用
9. 10 都水道に切替え
昭50. 1. 20 校地拡張 西門整備完了
2. 20 第3期増築完了 普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板
7. 15 プール市水切替工事完了

10. 25 体育館床塗替え
12. 20 砂防(10×8m)完成
昭52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了
昭53. 4. 15 プレハブ2階建工事完了 教室8、図書室、音楽室として使用
昭54. 3. 31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了
11. 17 開校十周年記念式典
昭55. 3. 31 三沢台小学校を分離
プレハブ全教室を撤去
昭57. 9. 10 運動場全面改修完了
昭59. 8. 31 防球フェンス(5×90m)完成
図書室(2教室打抜き)完成
昭60. 9. 26 花壇防球フェンス(5×35m)完成
花壇増設(5×1.5m, 3ヶ所)
プール更衣室通路舗装
昭61. 3. 24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了
8. 27 体育館照明設備新設
昭62. 1. 31 プール機械室改装
平元. 8. 31 西校舎屋上改修
平元. 11. 25 創立20周年記念式典
平3. 10. 7 ランチルーム完成 使用開始
平4. 10. 12 体育館改修工事完了使用開始
平6. 3. 7 生活科ゾーン整備工事完了
(砂場、屋外テーブル、ベンチ)
平7. 8. 24 北門擁壁工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭44. 8 ～ 昭48. 3
岡 本 省 吾	昭48. 4 ～ 昭53. 3
古 谷 洋 太	昭53. 4 ～ 昭58. 3
澁 谷 義 一	昭58. 4 ～ 昭63. 3
草 薊 和 志	昭63. 4 ～ 平3. 3
石 川 耀 子	平3. 4 ～ 平6. 3
鈴 本 利 恵 子	平6. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、人間尊重の精神を基調として、本校の教育を行う。社会の変化に対応して、主体的に判断や行動ができ、個性豊かで、生涯を通して自ら学び続けることのできる国際社会に生きる、人間の育成をめざし、次の教育目標を定める。

ア. 健康でたくましい子ども（重点）

イ. 美しくゆたかな心の子ども

ウ. 深く考えやりぬく子ども

エ. 力を合わせはげみあう子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 「健康でたくましい子ども」を重点目標とし、生涯を通じて学び続ける心身共にたくましい児童の育成を図る。

イ. 自他の生命を尊び、互いに認め合い、支え合い、励まし合う好ましい人間関係を育み、人間尊重の精神を培う。

ウ. 校内研究・研修を通して、指導内容・方法・評価の改善、充実に努め、発達段階に即し、基礎的内容の定着を図る。また、一人一人の個性、能力を伸長し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。

エ. 開かれた学校を目指し、地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育活動や体験的な学習活動を工夫する。

オ. 自然をいつくしむ心や環境を大切にす態度を身に付け、環境の改善に主体的に働きかける実践的態度や技能を育成する。

カ. 自国の文化や伝統について理解を深め、郷土を愛する心を培い、進んで国際社会に参加・協力できる能力や態度を育成する。

キ. 心身に障害のある児童の理解を深める指導を充実する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○個々の児童に即し、基礎的・基本的内容の指導を徹底する。

○多様な指導方法や形態を取り入れ、主体的・創造的な学習活動を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する。3年算数科は、ティームティーチングを行う。

○地域の特色を生かした教育の在り方を追及するとともに、体験的な学習を重視し、生きる力を育てる。

イ. 道徳

○全教育活動を通して、豊かな感性や徳性を滋養し、人間としての生き方や在り方の自覚を一層深める。

○道徳教育全体計画及び年間計画の改善を図り、道徳の時間を充実し、道徳の実践力を高める。

○家庭や地域社会との連携・協力を深め、豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性を育成する。

ウ. 特別活動

○児童の主体性、創造性を伸ばす体験活動（八小祭、全校遠足）を通して、一層自主的、実践的な態度を高める。

○児童の共働・協力活動（勤労生産的活動・奉仕活動）を通して、助け合い、学び合う心と態度を育み、望ましい人間関係を培う。

(2) 特色ある教育活動

○異年齢集団活動で、豊かな心、生きる力としての知恵、健やかな心と体を育む。

○地域・家庭・関係諸機関との連携を深め、環境の改善、老人福祉などにも主体的に働きかける態度を培う。

○心身に障害のある児童の能力・適性に応じ、関係諸機関との連携を密にしたり、共通理解を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員共通理解のもと、児童理解を通して基本的生活習慣の定着を図る。
- 「八小の約束」をよりどころに、集団の規範を守る態度、互いに認め合い支え合う態度を育む。
- 家庭・地域・関係諸機関と緊密な連携を図り、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路指導

- よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。
- 全教育活動を通して、一人一人が目あてを持ち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「自分の生命や他人の生命を大切にする子どもの育成」 ―自分の体を知ることを通して―

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。全教育活動を通して、学習・生活・言語環境の整備に努めると共に、一人一人の子どもをたいせつにする教育を推進する。
- ② 恵まれた地域の自然環境や文化財を活用し、フィールドワーク等の体験学習を日常の教育活動に取り入れ、学習に対する興味・関心を高め、郷土を愛する心を育てている。
- ③ 地域と連携のもと、3～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、チームづくりを通して、健全育成の面で大きな成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内 訳	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1		鈴木利恵子（平4）	鈴木利恵子（59. 国語）		
2				林 亀 三（63. 体育）	斎藤 悦子（6. 道徳）
3			林 亀 三（57. 体育）	海老原真知子（5. 家庭）	
4			石岡 房子（63. 国語）		



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草999
電 話 0425-91-0997・0998
F A X 0425-91-0997
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩5分
児 童 数 男177名 女171名 計348名

校長氏名 木 内 秀 雄

教頭氏名 齋 藤 正 子6

1. 沿革の概要

- 昭44. 8. 2 校舎新築起工
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始
昭45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する 学級数8、児童数118名、教職員16名、市職員3名
6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記念日とする
昭46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3月8日を制定記念日とする
4. 30 校舎北側の埋立工事完了
7. 31 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室竣工
昭47. 2. 12 調理室火入れ式、調理開始
6. 17 体育館完成
昭48. 9. 26 校舎新築工事開始
昭49. 3. 31 増築7教室竣工
昭51. 3. 20 増築校舎完成、普通教室9、図工室1
昭54. 5. 31 開校10周年記念式挙行 記念誌、タイムカプセル作成
10. 31 校庭南側の階段上に正門落成
昭55. 4. 1 学区域変更により、梅が丘団地が本校学区に編入される
昭58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
9. 7 校庭改修工事完了
昭61. 4. 3 小プール底改修工事完了
昭62. 3. 19 校庭西門改修工事完了
昭63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
6. 25 A V卓設置工事完了
昭63. 9. 10 外壁塗装工事完了（本校舎北面）
平1. 2. 21 プール管理棟外壁修理塗装完了
1. 10. 3 体育館、補修、改修工事完了（床面、外壁塗装含）

- 平2. 3. 10 新校舎漏水配管修理完了
7. 21 電動バスケットボール設置
8. 3 給食室シャッター取り付け
10. 26 プール、足洗い場設置、とびこみ台撤去
11. 16 開校20周年記念式挙行 記念誌発行
平3. 3. 29 クーラー設置（保健室）
8. 30 給水管改修工事完了
平4. 3. 31 飼育舎新設
平5. 1. 21 和室新設
平5. 4. 1 つくし学級（情緒・通級）開設
平6. 8. 各教室採光ブロックフィルム貼布
図工室流し改修工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	45.4.1～48.3.31
村 田 安 正	48.4.1～51.3.31
田 中 春 男	51.4.1～55.3.31
竹 内 音 治	55.4.1～58.3.31
志 賀 頼 治	58.4.1～59.9.8
村 松 徹 二	59.10.1～63.3.31
草 刈 喜 一	63.4.1～3.3.31
小 笠 原 久 雄	3.4.1～8.3.31
木 内 秀 雄	8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された、百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクリーションの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ、健康な体と、思いやりとたくましさのある心を持ち、自ら判断し主体的に行動する児童の育成をめざし、下記の四つの目標を設定する。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

自らよく考え行動できる児童の育成を指導の重点とする。

「よく考える」ことは日常的に児童が意識するように、児童の発達段階に則して、目標を具体化したり、指導場面を設定する等、創意を生かした教育活動の充実を図る。

- ・全教職員の共通理解のもとに組織的計画的に全教育活動をすすめる。
- ・教職員相互が研修、研究を深め、児童に基礎的基本的内容を身につけるとともに、自ら学ぶ力を培うために、体験的学習を取り入れる等の授業の創造に努める。
- ・自ら、健康の保持、体力の向上をはかる能力・態度を児童一人ひとりに育てるとともに、思いやりとたくましさを持った心を育むため、特に体育、道徳、特別活動の指導の充実を図る。
- ・児童の個性や特性を教師、児童相互が認め、更によりよい伸長をめざして、励まし協力していく姿勢を大切にする。
- ・児童の学びの場として、学校や地域の自然を大切にし、落ち着いた、整理整頓された環境の美化整備に努める中で、環境教育の充実を図る。
- ・開かれた学校をめざし、家庭、地域、学校の連携を密にし、相互の理解と協力のもとに児童の教育にあたる。学校五日制の休業日に当たっては、児童自身や家庭の計画による過ごし方を尊重し、各児童の体験を通した学びを大切にする。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

児童自らがよく考え、主体的、意欲的に取り組む学習をめざす。

- ・教材、教具の工夫、視聴覚機器の活用等を基に、基礎的基本的事項を児童一人一人に身につけさせると共に、児童の興味、関心、学ぶ意欲や学習過程を大切にしたい授業の展開に努める。
- ・体験的学習や地域の素材を取り入れ、その体験に基づく児童一人一人の学習への関わりを大切にする。

イ 道徳

豊かな体験を通し、自他の生命の尊さや思いやりの心を大切にする実践的態度や行動を、道徳の時間の指導の他、全教育活動を通して育み、いかなる偏見や差別を根絶することや、人権を尊重し平和を希求することの大切さを自覚させる。

ウ 特別活動

児童の個性・特性・体験、創意が生かされ、児童が喜びをもって主体的に参加する望ましい集団生活を目指す。その為に、実践活動の有用感を児童相互が認め合えるように援助し、活動を通して、心身の健康や安全、豊かな情操、望ましい人間関係等、人として調和のとれた発達を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・読書指導を更に充実させ、児童に豊かな情操や思考力を育む。
- ・草花の栽培、ミニ動物園の飼育活動を通し、自然をいっくしみ、愛する心を育て環境の改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。
- ・本校通級学級や都立七生養護学校との交流教育の発展、充実をはかり、互いに認め合い、支え合い、励まし合う、豊かな人間性を培う。

- ・3年生以上の児童が学校の仕事を分担し、発達段階に応じた活動を通して主体的実践力を培う。又、児童活動の「百草タイム」では、学年を離れた遊びを通して、他学年児童との交流を図る。
- ・1学期〔水泳〕、2学期〔鉄棒〕、3学期〔縄跳び〕と学期毎の体育の重点を設定し、児童に発達段階に応じた到達度カードを持たせ、意欲的に技術習得に取り組ませる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・「よく考えて行動できる子」を重点目標とし、主体的に生活していく力を培う。児童が親しみ、日常的に意識できるように「さあ、みんなで考えよう。——みんなで出来たを認め合おう！」を、具体目標として、児童の意識化を図る。児童一人一人の成就感、達成感を大切にすると共に、更に、集団としての高まりを目指した指導を基に、基本的生活習慣や集団生活におけるきまりの遵守、安全な行動等を児童が主体的に身につけるよう努める。
- ・教育相談に関わる問題には、正しい児童理解の基に組織的にあたる。

イ 進路指導

- ・生活全般の体験を通して、児童自らが自分の長所を発見し、その長所を伸張し、自己を向上発展させる意欲や態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

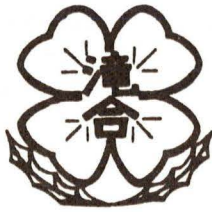
在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。多摩丘陵の一画にあり、自然には恵まれている。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心身障害理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

No.	内訳	研 究 員	開 発 委 員
1		木 内 秀 雄（54. 社会）	丸 カズ子（4. 図工）
2		齋 藤 正 子（63. 書写）	
3		丸 カズ子（52. 図工）	
4		木 附 隆 三（63. 社会）	
5		有 賀 康 美（H6. 社会）	



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2-3-1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男214名 女199名 計413名（4月7日現在）

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 小 杉 博 司

1. 沿革の概要

- 昭44. 12. 26 敷地購入（仮称第11小学校）
昭46. 3. 31 南校舎（A棟）完成。プレハブ校舎
仮設使用
4. 1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成、教職員27名 市職員6
名
4. 6 第1回入学式、始業式
4. 30 運動場体育固定施設の設置
5. 30 北校舎（B棟）完成
6. 1 開校記念日
6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6. 30 給食室竣工
7. 20 プール竣工
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12. 1 校章、校歌制定
昭47. 1. 21 エル・サルパドル国教育局次長視察
2. 20 体育館・校内通路完成
2. 25 落成式
3. 25 第1回卒業式（卒業生78名）
昭50. 2. 18 体力作り研究発表
4. 校庭植樹250本
昭51. 3. 旭が丘小分離（児童201名）
8. 動物園完成
4. 校地内に学童保育所完成
昭53. 9. 26 校庭全面整備完成
昭58. 8. 中庭舗装排水工事完了
昭59. 8. 30 給食室タイル・壁修理完了
昭61. 5. 6 体育館内工事完了
昭62. 1. 29 プールシート防水加工工事完了
2. 6 シューティングボード工事完了
8. 31 A棟外装工事完了
昭63. 8. 31 B棟外装工事完了、校庭南側フェン
ス移設工事完了
平成. 8. 31 給食室ダム、ウエータ工事完了

- 平2. 8. 校舎北側舗装
平3. 8. 外部水飲場改修、A棟1階廊下塗装
平4. 1. A V調整卓交換
8. A棟2.3階廊下塗装、A棟3階教室
内装
平5. 8. A棟廊下改修、2階教室内装
平6. 8. 体育館全面改修工事完了
平7. 8. B棟専科教室・廊下塗装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
峰 岸 敬 次 郎	昭46. 4～昭50. 3
鈴 木 英 夫	昭50. 4～昭53. 3
梅 田 茂	昭53. 4～昭56. 3
鈴 木 敏 郎	昭56. 4～昭59. 3
野 口 昭 平	昭59. 4～昭62. 3
有 泉 徹 郎	昭62. 4～平3. 3
草 刈 喜 一	平3. 4～平7. 3
西 田 敦 子	平7. 4～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南側に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には住宅街もあるが、児童数は減少し続けている。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、自ら進んで調和のとれた人格の形成に努めることのできる児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

○健康でたくましい子ども（心と体の健康）

○勉強に努力する子ども（意欲とねばり強さ）

◎進んで協力し、実行する子ども（心のふれあいと実践力）（◎は重点目標）

○生きものをたいせつにする子ども（思いやりと生命の尊重）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を目指し、自己教育力の育成、基礎・基本の重視、個性・能力を尊重した教育を意図的、計画的に行う。

ア. 教育目標を具現化するために、学年、学級の実態及び児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、学校の教育活動全体を通じて実践活動を進める。

イ. 各教科及び各学年相互間の関連を図り、各教科の目標と各指導事項との関連を十分配慮し、児童一人一人に基礎的・基本的な内容が確実に身につくよう授業の工夫改善を図る。

ウ. 道徳の時間が各教科及び特別活動における道徳教育と密接に関連を図りながら、自他の生命を尊ぶ児童の育成を目指し、計画的、発展的に指導する。

エ. 全教育活動を通じて、生涯にわたり健康で安全な生活を営むために必要な能力や態度が身につくように指導の充実を図る。

オ. 我が国の文化や伝統を大切にする態度を育てると同時に外国の文化に目を向けさせ、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。

カ. 学校行事等の計画を立てる際には、各教科との関連を考慮し、授業時数の確保に努め、児童の負担にならないよう配慮する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○学習内容を焦点化し、体験的な学習や問題解決的な学習を進めるなかで、柔軟な思考力、判断力、表現力等の能力を育てる。

○各教科の内容においては、基礎的・基本的な事項を精選し、個に応じた学習を重視した授業の改善に努める。また、チームティーチングにより指導を推進する。

○児童が主体者となる学習指導を展開していくために、学習材を適切に活用し、自ら進んで学ぶ態度の育成を図る。また、地域の素材を教材化し、日々の学習に生かしていく。

イ. 道徳

○年間指導計画を見直し、道徳の時間の充実を図ると同時に、家庭や地域社会における生活体験を通して道徳的实践力を育成する。

○教育活動全体を通して、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、豊かな体験を通して児童の内面にある道徳性を伸長し人としての在り方生き方を学ばせる。

○人権尊重、生命尊重の心を培う。

ウ. 特別活動

○学校生活における集団活動を通して調和のとれた心の発達と個性の伸長を図り、活動を充実させるための、企画力・実践力を養う。

○学校生活がより良く過ごせるよう、集団の一員としての自覚を更に高め、協力する態度を養い、自主的実践的態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

○地域行事への参加、地域の人材を積極的に活用し、創意ある活動を充実させる。学校園での栽培活動、地域での体験学習を通じて豊かな心を育てる。

- 学校を取りまく環境を生かし、美化に努める奉仕活動を重視するとともに自然をいつくしむ心や環境を大切にすることを育てる。
- 学校行事、委員会活動、クラブ活動、集会活動等の企画や実施にあたっては、異年齢集団での活動・交流を重視し互いに認め合う心を育てる。
- 児童の読書意欲を高めるとともに、効果的に図書館を活用できる力を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 児童理解に基づき、一人一人の児童の人権を尊重し、個性を生かしながら、社会的資質や行動力を高め、学校生活を有意義で充実したものにさせる。
- 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度を身につけるために、地域及び家庭と連携を深めながら指導に当たる。

イ. 進路指導

- 生涯にわたって主体的に学ぶ学び方を身につけさせ、進級、進学についての適切な指導を行う。
- 趣味、特技等児童がもっている能力が発揮できる場への参加を勧め、個性や特性を伸ばし、将来に希望をもたせる。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ学習活動の工夫

7. 本校の特色

校地面積20,458㎡という恵まれた敷地内に1周200mのトラック、バスケットコート2面二の字形にならんだ校舎、周辺部に飼育小屋、プール、体育館があり落ち着いた空間をつくっている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。保護者の学校教育に対する理解は深く、極めて協力的である。学校行事にも積極的に参加し、大いに内容を盛り上げるくれる。通学路の点検も協力的である。

- 野菜の栽培など勤労生産学習の充実
- 児童会主催、学区オリエンテーリング
- 児童が係で活躍する運動会
- 児童の希望を生かしたクラブ活動

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1		小 杉 博 司 (57. 社会)	西 田 敦 子 (60. 家庭)	西 田 敦 子 (58. 海外派遣)
2		佐 藤 文 敏 (3. 教育課題)	小 杉 博 司 (61. 社会)	小 杉 博 司 (63. 教材開発・社会)
3		岡 部 ひとみ (8. 生活)		



学校名 日野市立高幡台小学校
所在地 日野市程久保550
電話 0425-91-7011・7012
順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて5分
高幡台団地下車
児童数 男143名 女112名 計255名

校長氏名 許 斐 文 代

教頭氏名 上 條 茂

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋3階建校舎
普通教室 12 特別室 9
特別教室 4
学級数 12
5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き举行
昭48. 2. 24 校旗・校歌制定
10. 6 体育館落成式
昭49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9・図書室1・職員室
改造工事
昭51. 10. 13 高幡台小学校の位置標識
標高118m
昭53. 3. 31 第二期増築工事完成
昭54. 1. 24 防火シャッターを全部防煙シャッター
へ取替完了
昭54. 3. 4 玄関脇造園工事完了
昭55. 7. 5 校庭南門工事完了
昭56. 2. 7 校舎南側に学級園完成
8. 30 給食配膳室改修工事完了
昭57. 11. 11 開校10周年記念式典
昭59. 8. 20 屋上高置水槽取替（新・旧館）
昭60. 8. 25 プール際防球ネット取付
昭61. 8. 1 丸木遊具製作（職員）
昭63. 7. 27 校庭改修工事
7. 30 新館階段天井アスベスト改修
3. 15 体育館バスケットゴール取付
平2. 7. 23 校庭および屋上フェンス改修
平4. 3. 5 プール改修工事完了
3. 18 和室（いこいの間）完成
7. 29～10. 1 外壁改修工事（第一期）
12. 5 開校20周年記念式典

- 平5. 5. 11 すべり台補修
5. 30 東階段（校庭）手摺取付け工事
8. 11 放送室AV調整卓新設
9. 16 職員室クーラー取付
9. 28 屋上全面防水工事完了
10. 13 東校舎外壁改修工事第二期完了
平6. 6. 4 大プール排水バブル交換工事完了
平7. 9. 13 体育館改修工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
平 松 健 太 郎	昭47.4.1～昭50.3.31
手代木 和 夫	昭50.4.1～昭54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～昭58.3.31
津 野 田 昭 二	昭58.4.1～昭62.3.31
小 泉 宣 夫	昭62.4.1～平4.3.31
兼 島 政 邦	平4.4.1～平8.3.31
許 斐 文 代	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和のとれた人間形成をめざして次のような児童を育成する。

- ① たすけあうあう子ども……あたたかい心で助け合う子ども
- ② かんがえる子ども……よく考えて自分から進んでやりぬく子ども
- ③ はたらく子ども……働くことのすばらしさを身に付けた子ども
- ④ たくましい子ども……健康で明るい子ども

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① 児童相互が個性を認め合い、励まし合い、支え合う望ましい人間関係を推進し、人間尊重の態度の育成に努める。
- ② 児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる能力を育み、生涯に通じて学び続ける意欲や態度を養う。
- ③ 生涯にわたる学習の基礎的な事項を確実に身に付けさせるとともに国際社会に生きる日本人としての資質を育てる。
- ④ 全教育活動を通して道徳的心情を培い、自主的・自立的な態度や勤労を尊ぶ実践的な態度を養う。
- ⑤ 人間愛・自然愛に根ざした教育を推進し、人や環境にやさしくそして環境の保全に主体的に働きかける行動力や実践力の育成をめざす。
- ⑥ 校内研究を充実させ、児童の意欲を伸ばす指導法の研究を推進する。
- ⑦ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年学級経営の充実を図る。
- ⑧ 健康安全への関心を高め、健康作りと体力の向上に努めるとともに心身ともに健康で明るい児童を育成する。
- ⑨ 地域の自然や文化を教育活動に生かし、郷土を愛する心を培うとともに社会性を育む教育を推進する。
- ⑩ 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の趣旨を生かし児童が地域の中で意欲的に活動できるように支援していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

- ・指導内容を精選し、児童自ら学習意欲や態度を高める指導法や学習形態を工夫し基礎的な内容を確実に身に付けさせる。
- ・地域の自然や人材など身近な教材を活用し、体験的な活動を通して日本の文化や伝統にふれるとともに豊かな心情を育てる。
- ・教育機器の活用、学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し、活用したり表現したりする能力や態度を育てる。
- ・学校評価を意図的・計画的に実施し、年間指導計画に則った教育活動の充実を図る。学校週5日制2回実施による授業時間の確保や授業の質の維持・向上に努める。

イ、道徳

- ・集団行動の決まりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心の内面化を図る。
- ・相手の立場を認め合い、力を合わせて物事をやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- ・人や自然を大切にできる態度や公共心の育成を図り、ものを大切にする実践的な態度を身に付けるさせる。
- ・人権尊重の教育を推進し、児童・生徒にとって今日が楽しく明日が待たれる学校づくりを推進する。

ウ、特別活動

- ・児童の共同・協力活動を通して、助け合い、学び合い、支え合う心を育てる。
- ・異年令集団や地域のボランティア活動などの具体的な体験活動を通して、自主的・自治的な態度を育て社会性や国際性を培う。
- ・望ましい集団生活を通して、高幡台小の児童相互の連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるようにする。
- ・勤労生産・奉仕活動を通して友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・学年を越えた異年令集団活動（ミニ遠足・集団遊び・子ども祭り等）と校外地区班の連帯を図り、地区児童の連帯意識を高める。併せて、学校生活における望ましい人間関係を培う。
- ・花作り（菊・菜の葉・ひまわり等）や動物の飼育を通して豊かな心を育むとともに、生命尊重の精神を培う。
- ・和室を有効に活用し、日本の文化や伝統に触れるとともに尊重する態度を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ①全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を図り、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ②全教育活動を通して、温かい人間関係を培い、学校が望ましい自己実現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- ③学校週5日制にともなう休日の過ごし方について、学校・家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ 進路指導

児童が正しい勤労観・職業観を身につけ、自己の個性を生かし自己実現に向かって努力する態度を育てる。

6. 本校の研究主題

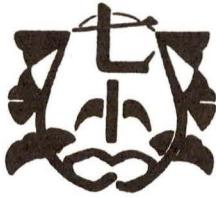
進んで考えることができる児童の育成

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活は平均し、児童の知能程度も比較的高く格差が少ない。反面閉鎖的傾向が見られ、連帯意識に弱さがある。このような実態を考え子どもが相互の縦横のつながりを深めたり、隣接地域の風にふれさせることによりより広い視野を育てることを重点にして実践する。

8. その他（教職員の研究歴）

研 究 生	研 究 員	研 究 員
許斐 文代（63. 理科）	上條 茂（H5. 社会）	宇留賀公夫（H2. 図工）
	高橋 智子（63. 保健）	古越 富子（H5. 保健）
	作山 秀樹（H4. 音楽）	溝口 美枝（60. 給食）



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明 3 - 2
電 話 0425-83-3907・3908
F A X 0425-83-3908
順 路 J R 中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男319名 女269名 計588名

校長氏名 品 田 敏 男

教頭氏名 清 水 義 路

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 開校 12学級 児童384名
トラックを除く運動場全面に洋芝の
植付け
6. 校章制定
9. 校旗制定
12. 校歌制定
- 昭49. 3. 「校舎体育館落成記念式」及び「校
歌発表会」举行
3月1日を開校記念日に制定
第1回卒業式 卒業児童45名
4. 開校2年め 入学児童77名
- 昭52. 4. 開校5年め 入学児童79名 13学級
となる。教室不足のため、プレハブ
教室2増設
10. 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4. 学級数14となる。
5. 増築工事竣工 普通教室6
図書室1
- 昭54. 4. 第7回入学児童93名 15学級となる。
- 昭55. 4. 第8回入学児童111名 17学級とな
る。
- 昭56. 4. 第9回入学児童128名 転入児童第
2学年以上82名 18学級となる。
- 昭57. 4. 第10回入学児童128名 19学級とな
る。
- 昭58. 4. 増築工事竣工、普通教室4、教材室
等3、昇降口、便所
開校十周年記念式典
- 昭62. 4. 第15回入学児童103名
- 昭63. 4. 第16回入学児童115名
- 平元. 4. 第17回入学児童120名
- 平2. 4. 第18回入学児童102名
- 平3. 4. 第19回入学児童96名
- 平4. 4. 第20回入学児童108名
- 平5. 4. 第21回入学児童73名 17学級となる。
- 平5. 10. 開校二十周年記念式典及び祝賀会

- 平6. 4. 第22回入学児童 95名
平7. 4. 第23回入学児童 111名
平8. 4. 第24回入学児童 85名

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	星 野 武 之	48.4.1～52.3.31
2代	上 部 正 彦	52.4.1～56.3.31
3代	梅 田 茂	56.4.1～58.7.27
4代	和 田 国 平	58.9.1～63.3.31
5代	小 幡 建	63.4.1～4.3.31
6代	小 林 繁 人	4.4.1～7.3.31
7代	品 田 敏 男	7.4.1～現在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。

校地の周囲は、住宅が増え、昔ほどの緑は少なくなっているが、屋上に上ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地を隔てて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には遺跡が発掘されている等、教育的には環境に恵まれた場所と言える。

本校の児童の約60%は中央線の線路を隔てた西側の住宅地に居住している。この地域はここ10数年の間に、旧甲州街道ぞいに増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅がある。なお、本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等があり、児童が学習するに最適の地域であると思われる。

しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時間帯と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神にみちた、心豊かでたくましく生きる心身共に健康な児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

◎自分の力で考える子（本年度の重点目標）

○思いやりのある子

○力いっぱいやりとおす子

○じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 学校の教育目標に基づき学年・学級の目標を定め、人間としての在り方生き方に関わる指導を重視した学年学級経営をすすめる、児童一人一人の自己表現を図る。
- ② 児童一人一人が自ら主体的に学習できるよう、指導計画を充実し、課題解決学習や体験的な活動あるいは表現活動、チームティーチングなど多様な学習方法の工夫及び評価法の改善などを行い、日々の授業を充実させる。
- ③ 教育活動全体を通して児童の基本的な生活習慣を培い、互いに認め合い支え合い励まし合う思いやりの気持ちを育てるとともに、人権尊重の精神を養いあらゆる偏見や差別の根絶に努める。
- ④ 児童が自らすすんで健康と安全の保持と増進及び体力の向上を図る態度と能力の育成を目指し、生命の尊厳を基盤とした教育をすすめる。
- ⑤ 身の回りの環境の保護や改善についての関心や問題解決の能力、実践力を育てる。
- ⑥ 健全な地域社会の形成者の育成を目指し、保護者及び地域の人々との連携のもとに学校週五日制を児童の自己教育力育成の機会とし、「ふるさと」意識を育てる。

5. 本年度の指導の重点

本年度の重点目標「自分の力で考える子」

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 児童自ら考え、判断し、表現することを重視し、多様な学習活動や評価を工夫する。
- ② 地域の学習環境を効果的に生かし、児童が自ら課題を見つけ追及することの喜びを味わえる指導を工夫する。
- ③ 日々の授業の充実を目指し、指導計画の整備と活用に努める。

イ. 道徳

- ① 全教育活動を通して、生命と人権を尊重するとともに、主体的によりよく生きようとする精神を養う。
- ② 道徳の時間には、一人一人のよさを認め、豊かな心情を育てることにより、道徳的実践力の育成を図る。
- ③ 資料や教具の整備と、全体計画や年間計画の活用を図る。

ウ. 特別活動

- ① 充実した学級活動を基盤とし、児童会活動やクラブ活動への参加意識を高め、自主的自律的態度を培い、主体的に行動できる力を育てる。

(2) 特色ある教育活動

ア 異学年の班活動を重視し、児童の連帯意識と高学年児童の指導性を培う。

イ 環境教育副読本や老人福祉副読本等を活用し、体験的な活動を通して、主体的な実践力を育てる。

ウ 読み聞かせや金管バンド活動を通して、心の豊かさを深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、人権尊重の精神にたって行動できる児童を育てる。
- ② 健康と安全への関心を高め、互いの生命を大切にできる態度を育てる。
- ③ 多面的で共感的な児童理解に努め、学校生活に主体的に取り組む力を養う。
- ④ 保護者や地域の人々と連携し、学校内外の児童の健全な生活の充実を図る。

イ. 進路指導

- ① 児童の自己実現を図るために、児童の自主的自立的な態度や行動を認め励まし、児童自らが目標を決め、その達成を目指して努力する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

(1) 研究主題名

「児童一人一人が自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫」

(2) 研究内容の概要

- ◎重点教科を、生活科・社会科とし、基礎的・基本的研究を充実させるとともに応用・発展を図る。
- 地域において活用できると思われる教材について探索・調査・収集を一層深化するとともに収集した教材について検討し、授業に活用できる資料作成をする。
- 資料を授業に活用し、実証する。
- 講師を招聘し、地域教材の活用の工夫や指導方法の改善・授業の質の向上を図る。
- 学校週五日制に対応した教科内容の精選について検討する。
- 研究内容を集録としてまとめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。
- (2) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して、自分の力で考える子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校外・校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開発委員会委員
1	品 田 敏 男 (62. 社会)	品 田 敏 男 (2. 社会)
2	小 坂 克 信 (元. 社会)	清 水 義 路 (6. 教育方法)
3	川井田 和 子 (2. 道徳)	
4	寺 澤 千代子 (4. 音楽)	



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022 FAX 0425-92-2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
兄 童 数 男230名 女218名 計448名

校長氏名 馬 場 武

教頭氏名 俱 橋 茂 子

1. 沿革の概要

- 昭48. 12. 27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11 職員室1、校長・事務室1、特別教室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
5. 22 南平小学校PTA設立
11. 15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹を「スズカケ」とする
校歌・校旗・校章・開校記念日の制定。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了
12. 31 体育館完成
- 昭50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築
- 昭56. 9. 15 NHK全国学校音楽コンクール東京地区優良校受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取り組む学習指導法の改善」全都研究発表
- 昭58. 3. 31 学校園整備
- 昭59. 11. 22 十周年記念式典、祝賀会举行
- 昭61. 8. 25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭62. 11. 4 体育館照明器具設置

- 昭63. 1. 23 体育館屋根塗装
3. 19 体育館緞帳改修
3. 19 校舎北側万年べいの改修工事
8. 31 家庭科室机新設
12. 20 体育館北側防音壁完成
- 平元. 8. 30 体育館床面、家庭科室改修工事
陶芸釜設置完了
10. 16 ランチルーム開設
- 平2. 1. 24 ランチルーム机・椅子新設
- 平3. 2. 13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装
- 平4. 3. 17 ランチルーム床、壁面、窓等全面改修
4. 6. 1 生活科ゾーン完成（田んぼ2枚、井戸2基、水路、池等）
- 平4. 7. 2 校庭南東フェンス改修
- 平5. 6. 4 校庭西側移動式フェンス取り付け
- 平6. 12. 3 開校20周年記念式典・祝賀会举行
- 平7. 3. 31 校庭設備改修（ジャブジャブ池、水路、造形砂場、南側防球フェンス、鉄棒移動）
- 平8. 3. 21 開放教室内装工事完了（PTA会議室、クラブ室、会議室）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭49.4.1～昭55.3.31
松 日 楽 敬 治	昭55.4.1～昭59.3.31
鈴 木 敏 郎	昭59.4.1～昭62.3.31
石 井 三 士	昭62.4.1～平3.3.31
有 泉 徹 郎	平3.4.1～平6.3.31
馬 場 武	平6.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、南側に多摩丘陵を切り開いた南平台（なんぺいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道を挟んだ南平中・下（昔からの集落が現存する）地区と京王線と浅川に挟まれた向島地区、更に、平成8年3月に本校南側に完成した初の大規模マンション等の入居に伴い、新たに設けられた南平上地区（旧南平中地区からの分離）の七地区から構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がし易い。

南平中・下地区を除き、何れも新興の分譲住宅地であり、保護者の社会的、経済的地位は比較的安定している。学校教育によせる関心や期待は高く、学校にも協力的である。

宅地化が進んだとは言え、地域には、まだまだ雑木林や畑（野菜）、果樹園（梨）等があり、自然条件には比較的恵まれている。また、西方に丹沢連邦から秀麗富士を仰ぎ見ることができ、学校施設、設備、校庭等の整備と相まって、教育的環境としても恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を旨とし、次の教育目標を設定する。

- ◎自ら考え学ぶ子
 - 目あてをもってやりぬく子
- ◎思いやりのある子
 - 健康でたくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人権尊重の精神をもとに、教育目標の具現化を図るため、全教職員の協力・協働体制を確立し、意図的・計画的・組織的に教育活動を推進する。また、体験活動を重視し、児童の興味・関心・意欲を高め、児童一人一人の良さや可能性を生かした個性重視の教育活動を進める。

- ・人間尊重の精神を根幹に据え、自分と異なるものに対する理解を深めると共に、いじめや性による差別に対する意識を高め、互いに認め合い、高め合う学年・学級経営に努める。
- ・基礎的・基本的内容を身につけさせると共に、自ら学ぶ力を育成するために、児童一人一人の思いや願いを大切に、チームティーチング等を通して、個性を生かす授業の構築を図る。
- ・健康安全の保持増進、体力の向上を図る能力・態度と思いやり、たくましさを持った心を育むため、体育・道徳・特別活動・生活指導の充実を図る。
- ・教育活動全体をとおして、地域や我が国及び諸外国に文化・伝統を理解し、尊重する態度を育くみ、国際社会に参加、協力できる態度や能力を培う。
- ・地域の環境に関心を持たせ、環境を大切にすると共に環境保全を図る態度・能力を育て、環境教育の充実を図る。
- ・家庭・地域・関係諸機関との連携を密にし、地域の自然・文化・人材の活用を図ると共に、学校教育・施設の開放を進め、地域と共に歩む教育の推進を図る。

5 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ・指導方法や指導形態の工夫をし、基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、直接体験活動を取り入れ、児童自らが学ぶ力を培う。
- ・児童一人一人の良さや可能性を生かし、目当てを持って粘り強く、課題を追求しようとする態度を育てる。
- ・心身の健やかな成長を図るため、水泳・縄跳び・持久走等の活動をとおして、生涯にわたって、健康な生活を営むための素地を養う。
- ・地域の自然、文化、人材を活用した教育活動の推進をとおして、環境への理解と保全に努める態度・能力を育てる。

(2) 道徳

- ・人間尊重・生命尊重の精神を基調とする道徳的实践力を学校教育全体の中で育成する。特に、いじめ等についての指導の徹底を図る。
- ・道徳の時間は、多様な指導資料を活用すると共に、指導方法を工夫し、児童の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力や実践力を養う。

(3) 特別活動

- ・望ましい集団活動をととして、自己実現を図らせると共に、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てる。
- ・学校行事等への主体的な関わりをととして、集団への連帯感・所属感を育てる。

(4) 特色ある教育活動

- ・ティーム・ティーチングに対する教師の一層の理解を深め、個性を生かした教育をより効果的に進める。
- ・男女の性の違いを理解させると共に、本質的に、男女は平等であるという意識を育てる。
- ・「なかよし広場」での野菜・草花作り・稲作りやワラ細工、生活科等の体験活動をととして、自然の恵みや勤労の尊さ、地域の文化・伝統等を理解し、尊重する態度を育てる。
- ・草取り、石拾い等の日常活動をととして、環境美化への意識を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・児童一人一人の成長への意欲や願いを的確に把握し、一人一人の児童の自己確立に向けて適切な援助をする。
- ・月目標の活用をととして、進んで生活を改善していこうとする意欲を持たせる。
- ・家庭、地域と連携し、望ましい基本的生活習慣や社会規範意識を育てる。

イ 進路指導

- ・児童一人ひとりの実態を的確に把握し、長所を認め、励まし、生涯にわたって学び続けることの楽しさに気づかせる。
- ・自己の特性、長所に気づかせ、自尊感情を育てると共に、意欲的に自己実現を図ろうとする態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

“児童の主体性を生かす学習活動の研究”

- ・様々な体験を積み重ねることによって見通しを持って学習できる能力を育てる。
- ・生活科ゾーンを活用して、創造的学習を組み立てていく。

7. 本校の特色

- ・児童は比較的素直で、礼儀正しい。知的好奇心も強く、与えられた課題に対しては、熱心に取り組み、理解力もある。反面、指示待ちの傾向も見られる。
- ・米作り、野菜・草花作りを中心にした勤労・生産的体験学習を重視し、地域の教育力も積極的に取り入れている。
- ・生活科、5・6年の理科の授業を通して、望ましいT・T指導の在り方を研究している。

8. その他

No.	内訳	研 究 員	現代化委員・開発委員	海 外 派 遣
1		馬場 武 (48 理科)	馬場 武 (50. 理科・開発)	馬場 武 (54 ヨーロッパ)
2		高橋 茂子 (3. 特別活動)		
3		千葉 正美 (4. 道徳)		
4			山田 栄子 (6. 特別活動・開発)	



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保 1-14-2
電 話 0425-92-5014・5015 FAX 0425-92-5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて 5 分
中程久保下車徒歩 3 分
児 童 数 男158名 女148名 計306名

校長氏名 小 林 繁 人

教頭氏名 田 中 晴 美

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の拡大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開校 潤徳小学校に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数18 児童数652 教員数26
市職員 8
7. 15 体育館竣工
10. 20 落成式挙行。この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を行う。
- 昭53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置（1教室）19学級
- 昭55. 1. 18 体育倉庫竣工
11. 11 飼育舎竣工
- 昭56. 12. 17 受水槽竣工
- 昭58. 6. 15 校庭砂場竣工
- 昭58. 12. 20 球技場（テニスコート）竣工
- 昭59. 2. 29 プール改修工事完了
8. 14 体育館ステージ照明設備工事
- 昭60. 8. 29 校庭整地完了
- 昭62. 10. 4 開校十周年記念運動会
11. 6 開校十周年記念式典挙行
11. 14 開校十周年記念展覧会
- 昭63. 8 普通教室黑板改修
- 平1. 6. 30 事務室エアコン設置
8. 1 放送室AV卓取り替え
11. 7 日野市研究奨励校として「豊かな心を育てる体験学習」の主題のもとに研究発表会を開催
- 平2. 6 校長室エアコン設置
10 プール側フェンス完成
- 平3. 1. 8 ランチルーム用テーブル椅子購入
8. 9 保健室エアコン設置
- 平4. 10. 2 ランチルーム完成

- 平5. 3. 26 飼育舎完成
8 保健室流し全面改修
- 平6. 2. 7 日野市研究奨励校として「子どもの意欲が生きる学習指導」の主題のもとに研究発表会を開催
8. 9 放送室改修工事完了
- 平7. 6. 16 プールフェンス改修工事完了
9. 9 正門取り替え工事完了
11. 24 生活科室水道設備設置工事完了
- 平8. 4. 10 生ゴミ処理機設置工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭52. 2. 1～昭58. 3. 31
大 島 昭 子	昭58. 4. 1～昭62. 3. 31
三 浦 勝 也	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
倉 重 利 恵	平2. 4. 1～平7. 3. 31
小 林 繁 人	平7. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井電建・下程久保の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に立てられている。

緑が多く自然環境には恵まれているが、通学路やその近辺の道路では、人通りの極めて少ないところもある。その反面、住宅地内を通過する車の増加が著しい。そのため、多方面にわたる児童の安全対策が、急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育目標は、教育基本法及び学校教育法に基づき、生命と人権の尊重を基調とし、個性豊かで主体的に学び国際性を身につけた児童の育成を期して、次の様に教育目標を定める。

- 一、元気 ○健康で生き生きした子ども
- 二、本気 ○自ら考え進んで行動する子ども
 ○心豊かで思いやりのある子ども
- 三、根気 ○目標に向かって努力する子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ① 児童の自己学習力を育てるために、指導計画、指導内容、指導方法等を工夫し児童の意欲や個性を生かした授業を行う。
- ② 地域の学習材や人材を活用した学習や、協力的な指導を行う。
- ③ 学習環境の点検と整備を計画的に行う。

(2) 道徳

- ① 児童相互や児童と教師の相互理解と温かい人間関係を深めるとともに、基本的行動様式を身につけさせる。
- ② 思いやりのある心豊かな児童を育てるために実線活動や体験的な活動を重視する。
- ③ 道徳教育の全体計画のもとに、各教科領域や生活全般の中で、保護者や地域と連携して、児童の道徳的実践力を高める。

(3) 特別活動

- ① 児童の自主的、協力的な集団活動を支援し、楽しい学校生活の実現に努めさせる。
- ② 児童の興味や関心を重視し、自分を打ち込める体験的な活動を意欲的に行えるように配慮する。
- ③ 児童の学校生活に変化を与え、自主的に参加できるような学校行事を工夫して行う。

(4) 特色ある活動

- ① 学年の枠を外した異年齢集団（「縦割り班」）活動により、児童の好ましい相互理解を深め、健全な社会性を育てる。
- ② 日常的な体育活動を計画的に行う。
- ③ 年間計画の中に「やまゆりの時間」を設け、個別指導や体験的な活動などを行うことにより、児童の個性や創造性、主体性や社会性などを幅広く育てる。
- ④ 他校との交流を深めたり、学校や地域の環境を愛護する活動を進める。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 児童相互の認め合い助け合いを助長し、受容的な態度で児童に接し、偏見や差別などのない明るく楽しい学校生活の実現に努めさせる。
- ② 発達段階に即した基本的な生活習慣の育成やいじめのない生活の実現をめざし、校内体制の充実とともに家庭や地域の理解と協力を積極的に求める。
- ③ 校内外生活の安全の確保や災害時の対策を見直すとともに、安全指導を徹底する。
- ④ 健康の自己管理能力の向上をめざし、計画的に保健教育を行うとともに、救急処置等を適切に実施する。
- ⑤ 特に配慮を要する児童の理解や指導を協力的・組織的に行う。

イ 進路指導

- ① 児童の個性を大切にし、児童が自己のよさや特性に気づき、将来にわたって自己実現を図ろうとする態度を育てる。
- ② 性にかかわる指導をふくめ、児童に自己の生き方に関心を持たせる指導をすすめる。

6. 本年度の研究主題

「子どもの意欲が生きる学習指導」

本校の児童は、課題に対して興味・関心をもって意欲的に学ぼうとする。その一人一人の意欲をさらに伸ばし、主体的に学ぶ態度をさらに育成するために、算数科・音楽科を通して学習指導法の研究を進める。

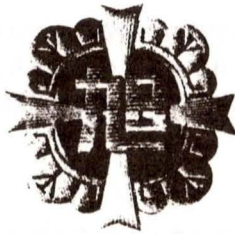
7. 本校の特色

学校生活全般を通して、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、自ら学ぶ態度と主体的に取り組む態度を育てるとともに、人の気持ちや立場を考えて行動できる心情、実践力を養うことに努める。このため、教師の指導力を高め、計画的に研究・研修の充実を図り、指導に創意工夫をしていく。

- ① 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り、集団のモラルと質を高めていく。
- ② 全教科・領域にわたって学習指導要領の主旨にそい、体験的な活動を重視し、児童の主体性や感性の育成に努める。
- ③ 児童自らが体力作りに励むよう、全体的な取り組みを行い、健康安全に関する理解を深め、日常的に実践する態度を養う。
- ④ 特別活動の充実を図り、体験や実践を通して自主的な集団活動を育てるとともに個性の伸長を図る。
- ⑤ 地域に根ざした教育推進のため、地域の自然・文化・人材の活用を積極的に教育計画に取り入れる。
- ⑥ 道徳教育の充実を図るとともに、地域の人々・心身障害児・高齢者・帰国児童等多くの人々との相互理解を図り、豊かな心の教育を推進する。
- ⑦ 学習指導と評価の一体化を図り、個に応じた指導の充実と生涯にわたって学び続けるための自己学習力を身につけさせる。
- ⑧ 教師相互が研究・研修を深め、複数の教師による指導など取り入れ学習指導の改善に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	研 究 生
1	小 林 繁 人 (53. 教育課題)	小 林 繁 人 (44. 経営)
2	丸 山 まり子 (57. 給 食)	
3	田 島 佳 子 (平3. 保 健)	
4	三 木 滋 (平7. 教育課題)	



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘 5-21-1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分
京王・西東京バス（石川入口）下車10分
児 童 数 男394名 女359名 計753名

校長氏名 熊 野 時 巳

教頭氏名 八 木 文 夫

1. 沿革の概要

- 昭51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定
- 昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 教頭、教諭等25名、市職員 8 名
計33名発令
4. 6 第1回入学式149名 4 学級
全校18学級 707名
5. 20 校舎完成
6. 30 プール完成
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
11. 21 校歌制定 開校式典
- 昭53. 3. 25 第1回卒業式110名
- 昭55. 10. 13 体育館ボーダーライト
- 昭57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
- 昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成
8. 11 給食室排水工事完成
- 昭59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始
- 昭60. 1. 20 プールフェンス工事開始
- 昭61. 1. 13 プール排水工事・シューティグボード工事
6. 4 理科室天井工事
8. 31 AV調整卓が入る
理科室・図書室の暗幕取替え
- 昭62. 1. 7 プールの平板工事
11. 22 開校10周年記念式典
- 昭63. 1. 7 体育館屋根塗装
10周年記念日時計工事
1. 30 故大熊校長献花式
8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取りつけ完了
12. 23 故大熊校長遺稿集発行
- 平元. 5. 26 給食室クーラー設置
- 平2. 6. 25 校長室エアコン設置
7. 28 体育館バスケットゴール取付

- 平3. 1. 16 学区変更説明会
8. 7 体育館床張り替え工事
- 平4. 2. 29 旭小15年を語る会
9. 12 備蓄倉庫設置
- 平5. 2. 15 生活科用畑工事
5. 30 第17回運動会
6. 5 プールタオル掛け工事
6. 10 プールフェンス張り替え
8. 1 校庭改修工事開始
8. 31 給食室床工事完了
11. 10 子供議会出席
- 平6. 7. 11 外壁工事
- 平7. 6 雑木林土留め、フェンス工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 野 寺 東 雄	昭52.2～昭58.3
大 熊 喜 一	昭58.4～昭62.12
飯 沼 宏	昭63.1～平4.3
信 夫 清 彦	平4.4～平8.3
熊 野 時 巳	平8.4～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西2km南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間が30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、

その周辺に個人住宅や集合住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中で、学区変更が策定されている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- ・よく考える子ども
- ・なかよくする子ども
- ・がんばりぬく子ども
- ・からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 共感的児童理解をもとに、人間尊重の精神を培い、豊かな感性と人間性を育て、いじめのない楽しい学校を作るために心の教育を推進する。
- ② 「よ・な・が・か」を地域ぐるみの合言葉とし、旭が丘小19年の成果をふまえ今日的視点から教育活動を見直し、教育目標の達成を目指す。
- ③ 学校教育目標の「なかよくする子ども」を重点目標とし、全教育活動を通して教育目標の達成を目指す。そのために、児童相互、児童と教職員が触れ合う時間を生み出す工夫をしていく。
 - ・一人ひとりの児童の個性と創造性を伸ばし、人権尊重の精神を培う。
 - ・体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、児童の主体的な学習を促す。
 - ・豊かな学校環境を活用し、自然をいっしょに楽しみ、環境を改善する心と態度を育てる。
 - ・地域に根ざした教育を推進し、地域を愛し、地域の一員としての自覚を育てる。
 - ・自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、生涯にわたって体力の向上とスポーツを継続する心と身体の健康づくりを進める。
- ④ 発達段階に応じた指導の手だてを工夫し、一人ひとりに行き届いた教育を推進する。
- ⑤ 保護者・地域から信頼される学校を目指し、教職員の研究・研修活動を充実する。
全員公開授業を行い、指導技術を磨き合い、教材研究を深め分かりやすい授業の確立と授業の効率化を図る。
- ⑥ 学校週五日制への移行に伴い、保護者や地域との連携のもとに、児童の学習・生活環境の充実を図るとともに、児童が自ら考え、判断し、行動する態度を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけ、個性を生かす教育活動を進める中で学ぶ意欲と学習の仕方を得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。理解の不十分な児童の個別指導をきめ細かく行う。
- ・児童の主体的な学習活動を促すため、体験的な活動・問題解決学習を取り入れ、学習活動の多様化を図る。また、地域を生かした教育活動を大切に、社会人講師や地域の環境を教育活動に生かしていく。

イ. 道徳

- ・児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して、自ら考え、正しく判断し、行動する主体的な道徳的実践力の向上に努める。
- ・道徳の時間は指導計画に基づき多様な指導資料を活用するとともに指導方法を工夫する。

ウ. 特別活動

- ・集団活動に積極的に参加し、望ましい人間関係を築き、自ら考え、行動する児童の育成に努める。
- ・学校行事では個を生かす活動を重視し、日常の学習の総合的発展の場とする。
- ・日常生活への適応指導、健康・安全指導では教師の意図的・計画的指導を強める。

- ・「全校活動」の時間を通して、異年齢集団の中で生き生きとしたまとまりのある交流を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・栽培活動、飼育活動、雑木林の活用、資源の節約など環境教育を全校で取り組み、自然愛護物を大事に使う心、勤労意欲を高める。
- ・全学年を通して、性教育を計画的に行い、人間尊重・男女平等の精神を培う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・基本的な生活習慣を身につけ、自立心・自律心を高める力を育てる。
- ・教育相談の機能を高め、いじめや問題をもつ児童への組織的な対応を進める。

イ. 進路指導

- ・体験的な活動を通して、成就感、達成感を味わわせ、自ら考え、判断し、決定する能力を育成する。
- ・各種の催し物・競技会への参加を働きかけ個性や能力を引き出し伸ばす援助を行う。

6. 本年度の研究課題

○子どもによく考えさせる授業のあり方

7. 本校の特色

- (1) 「なかよくする子ども」の育成を重点目標に設定。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。＜「よく考える子」の育成を大テーマとして＞
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・サマージャンボリー・旭が丘少年野球リーグなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	熊野 時巳（H3. 体育）		
2	八木 文夫（59. 体育）		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分
児 童 数 男98名 女97名 計195名
(内わかき学級13名)

校長氏名 増 賀 従 男

教頭氏名 雨 宮 充

1. 沿革の概要

- 昭53. 1. 7 現在地に建設着工
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、
平山小学校の学区から新たに平山1、
2、3、6丁目を平山台小学校の学
区と定める。児童数男268名、女2
82名 計550名 17学級（心障2学
級含）の規模で開校する。
10. 24 校舎落成式 校章発表
11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
11. 10 心障学級作業学習コーナー設置
昭55. 3. 20 校舎増築8教室完成
8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床
張替え、ガス配管一期完成
10. 20 野焼きの授業展開、テレビ放映
昭56. 3. 13 屋上フェンス（音楽室上）完成
4. 1 男385 女367 計752名
22学級（心障3含む）
昭57. 4. 1 男356 女348 計724
21学級（心障2含む）
8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了
昭58. 4. 1 男335 女337 計672
20学級（心障2含む）
10. 30 屋外バスケットボール施設完了
昭59. 4. 1 男290 女312 計602
16学級（心障1含む）
3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成
昭60. 4. 1 男276 女273 計549
17学級（心障2含む）
12. 9 プール全面塗装
昭61. 4. 1 男236 女245 計481名
15学級（心障1含む）
昭61. 12. 8 研究公開（体育を中心とする）

- 昭62. 3. 30 体育館どん張取替
4. 1 男215 女208 計423名
14学級（心障1含む）
昭63. 2. 5 研究発表公開（心障）
昭63. 4. 1 男191 女175 計366名
13学級（心障1含む）
8. 体育館照明装置取付け
11. 19 開校十周年記念式典挙行
平元. 3. 体育館バスケットゴール取付け
4. 1 男167 女171 計338名
14学級（心障2含む）
4. 日野市研究奨励校
5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定
8. 30 多目的教育工事完成
平2. 4. 1 男151 女146 計297名
13学級（心障2含む）
10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発
表
10. 30 ふれ合い広場完成
平3. 4. 1 男135 女138 計283名
12学級（心障2含む）
10. 30 屋上防水工事
平4. 4. 1 男131 女121 計252名
12学級（心障2含む）
平5. 4. 1 男115 女122 計237名
10学級（心障1含む）
5. 7. 3 堀之内3号トンネル全校生見学
平6. 4. 1 男115 女113 計228名
10学級（心障2含む）
平7. 4. 1 男110 女107 計217名
10学級（心障2含む）
平8. 3. 18 校長室・事務室の移設完了
平8. 4. 1 男105 女103 計208名
10学級（心障2含む）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月	氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭53.2～昭57.3	馬 淵 金 男	昭63.10～平3.3
蓮 池 守 一	昭57.4～昭61.3	波 多 野 坦	平3.4～平6.3
野 村 武 郎	昭61.4～昭63.9	増 賀 從 男	平6.4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きに開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大島瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく、体験学習をする上での生きた教材を得た学校である。学区は京王電鉄が造成、分譲した平山1，2，3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に努めているため、静かで落ちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法・教育基本法の示す国民の育成に努めるために、地域・児童の実態を基に、学校の教育目標をさだめる。本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自らを考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子（本年度重点目標）
- 明るく たくましい子

＜目標達成のための基本方針＞

教育目標の具現化を目指して、教育課程の編成と実践に努める。

- ① 「心豊かな やさしい子」を重点に掲げ、全教育活動を通じて生命及び人権を尊重する態度を育成する。
- ② 教師と児童、児童相互の心の交流を深め、明朗で協力的に活動する児童を育成する。
- ③ 学習の過程を重視した指導法を工夫し、豊かな表現力を身につけた児童を育成する。
- ④ 行事の精選や週時程の工夫、また、年間指導計画の見直しを行い、児童がゆとりをもって学習できるようにする。
- ⑤ 家庭・地域との連携を密にするとともに、地域の教育力を活用し、開かれた学校を目指す。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア. 各教科

学習指導要領の主旨をふまえ、児童が意欲的に取り組む授業の創造を目指す。

- ① 基礎・基本の定着と豊かな表現力の育成を図る。そのため、一人一人の個性・能力を生かす指導を心がけ、体験的学習、他学年他学級との合同学習・小集団による学習などを工夫する。
- ② 課題解決的学習を取り入れ、児童の主體的な学習を通して、学ぶ喜びを味わわせ自ら学ぶ力を育成する。
- ③ 生命の大切さを学びとらせる。そのため、生命に関連する各教科及び各領域の結びつきを明らかにして指導にあたる。
- ④ 郷土や諸外国についての認識を深めるとともに、地球環境保全への関心を高める。

イ. 道徳

- ① 児童一人一人が自己を見つめる道徳の授業を工夫し、心豊かでよりよく生きようとする児童を育成するとともに、他領域との密接な関連のなかで道徳的实践力を高める。
- ② 生命尊重の精神をもとに、全教育活動を通じて自分、及び他人を大切にすることを培う。

ウ. 特別活動

集団の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある生活を目指す。

- ① 児童一人一人の個性を尊重し、創意を生かした学級活動を心がけ、自己を生かす力を育てる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を、自発的・自治的に解決する力を高めるとともに、帰属意識を育む。
- ③ 小規模校の特色を生かした異学年集団の交流を通して、全児童の心の結びつきを深める。
- ④ 高学年の活動の場を設定し、リーダーとしての自覚と指導力を高める。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に潤いや充実感を与える活動を計画し、豊かな心情を育てる。(花づくり、子供祭り、オリエンテーリング、たて割り清掃や班遊び)
- ② わかくさ学級との交流を通して、障害児者への理解を深め、ともに生きようとする態度を培う。
- ③ 地域の教育力を活用し、児童に社会の一員としての認識をもたせるとともに、日常の学習が一層深まるようにする。(ほほえみ給食、夕涼み会、ふれあいマラソン)

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

児童が生活の中で生き生かされる喜びの場を通して、力を合わせ、ねばり強くねばりぬく児童を育てる。

- ① 児童一人一人の個性・特性の把握に努め、よりよく伸ばしていく指導を工夫する。
- ② 児童が相互に生命や人権を尊重する態度を身につけさせる。
- ③ 集団生活に必要な基本的態度や健康・安全を心がける態度を身につけさせる。
- ④ 家庭・地域社会及び関連諸機関との連携を密にし、児童の健全育成に努める。

6. 本年度の研究主題

「人権尊重教育の推進」

7. 本校の特色

- 開校18年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と、全校たてわり活動による協働、共学を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめたり、地域の老人クラブとふれ合う体験を通して「心豊かな心やさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について、青少年育成会等と協力したり、地域行事への参加をしたりしてその具体化を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	開 発 委 員
1		増 賀 從 男 (56. 国)	
2		中 村 康 成 (55. 体、61道)	
3		雨 宮 充 (60. 道)	
4		吉 尾 真理子 (8. 社)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町 3-24-1
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男167名 女155名 計322名

校長氏名 鍋 田 良 子

教頭氏名 武 内 忠 雄

1. 沿革の概要

- 昭52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54.5.31
昭54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54.10.31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。
日野第三小学校の学区から、新町3
丁目と栄町1,2,3,4,5丁目を東光寺
小学校の学区と定める。児童数54
5名（男287名 女258名）15学級の
規模で開校する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 PTA創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、
校章・校旗披露、校歌発表
昭57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭62. 11. 20 東京都図面工作研究会南多摩研究大
会会場となる。
平成. 11. 18 開校十周年記念式典を挙行
平4. 3. 31 飼育舎（ログハウス）新設
平7. 8. 11 校庭に木製遊具を設置
平8. 3. 31 卒業生総数1,318名となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 田 智	昭54.2.1～昭58.3.31
近 内 信 輝	昭58.4.1～昭60.3.31
志 村 桂 次	昭60.4.1～平4.3.31
鍋 田 良 子	平4.4.1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町3丁目、栄町1,2,3,4,5丁目、東西1.8km、南北0.8kmと東西に長く、学校は学区の中央南側に位置している。通学時間は、遠い児童で15分である。

学区には、大正16年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地に農家が点在していたが、都市化にともなって兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設・設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法 の精神に基づき、「自他を尊重しながら、心身ともにたくましく、主体的・創造的に生きる児童の育成」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- 明るい子ども（本年度重点目標）
- 考える子ども
- 強い子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 全教育活動を通して、生命尊重・人権尊重の意識高揚に努める。
- ② 主体的に学ぶ意欲の高揚を図り、自ら考え、正しく判断し、行動できる児童の育成に努める。
- ③ 人間として必要とされる基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、児童一人一人の個性を生かした教育の推進に努める。
- ④ 児童が、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図ることができるように、健康・安全教育を計画的・組織的に推進する。

- ⑤ 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築き、豊かな体験活動や触れ合い活動を通して、互いに認めあい、学び合い、他を思いやる心と実践力を育てる。
- ⑥ 家庭・地域との連携を深め、より開かれた学校を目指すとともに、地域の文化や伝統及び環境問題への理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任感を養う。
- ⑦ 教師一人一人が研修に努め、より緊密な協働体制を確立する。
- ⑧ 児童がより主体的に自己の生活時間を見直す一方、人や自然との体験的関わりを深め、より豊かな感性と高い自律性を培うことができるよう支援する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 地域素材の教材化・活用等を行い、児童一人一人の学習への興味・関心を高め、自ら進んで学習に取り組むことができるよう、自主的な学習態度を育てる。
- 一人一人の個性や能力に応じた学習の指導法を工夫し、各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けさせるとともに、感動体験を大切にした学習指導を進める。
- 地域や学校の特性を生かし、生活科をはじめ、各教科を通して豊かな体験的学習・問題解決的学習を系統的に行い、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動できるなど道徳的实践力を全教育活動を通して育てる。
- 各教科の指導や生産体験学習、生き物との触れ合い等を通して、自他の生命や人格を尊重し、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
- 勤労の尊さを理解させ、学校や地域への奉仕の気持ちを深め、進んで働く態度を育成する。

ウ. 特別活動

- 児童の発想や創意を生かし、自ら進んで活動し、集団の一員としての自覚を持ち学校生活を充実・向上させていこうとする態度を育てる。
- 自分の生活を見つめ、進んで考え、自ら責任を果たそうとする態度を育てる。
- 地域社会や自然と関わり、触れ合える活動を多く経験させ、進んで学校や地域に奉仕する態度を育成する。
- 自分の特性を知り、学校生活で進んでそれを生かし、更に伸ばそうとする積極的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の豊かな自然や広い校地を活用し、児童の創意を生かした異学年活動を行い、地域の人々や児童相互の好ましい人間関係を育み、児童が自ら進んで考え行動できる教育活動を推進する。
- PTAや地域の人々との協力のもと、学年園・花壇等を活用した生産体験活動や奉仕活動に進んで取り組ませ、生き物を育てる楽しさ、大切さを知らせ、勤労意欲や豊かな心を育成する活動を積極的に進める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教育活動を通して、進んで学校生活のきまりを守り、話を聞く態度を育てるとともに、児童が安全で明るく健康な活力ある学校生活を送ることができるように努める。
- 組織的な指導体制を確立し、一人一人の児童の生活上の問題点を把握し、きめ細かい指導を行うとともに、他の教育機関との連携・協力を推進する。
- 児童各自に生活時間を見直させ、より計画的で有効な時間の使い方を指導する。

イ. 進路指導

- 児童一人一人が自分の個性を自覚し、進んでそれを生かし、将来への高い目標を持って学校生活が送れるよう努力する。

6. 本年度の研究主題

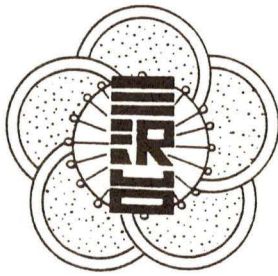
「一人ひとりが生き生きと課題に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立場を強く自覚し、その期待にいつそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 本年度の重点目標である「明るい子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、P T A ・地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行われるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

No. / 内訳	研 究 員	開 発 委 員
1	武 内 忠 雄 (52・体育)	武 内 忠 雄 (59・体育)
2	高 木 宏 (63・特活)	
3	渡 辺 知 子 (平5・学校保健)	



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 日野市百草896-1
電 話 0425-92-2351・2352
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩15分
児 童 数 男142名 女127名 計269名

校長氏名 飯 田 國 代

教頭氏名 佐 藤 静 雄

1. 沿革の概要

昭55. 4. 1 開校 日野第八小より分離 児童数
666名（男319名 女347名）、教職
員34名で発足
4. 7 第1回入学式111名入学
6. 10 プール完成
8. 4 体育館完成
9. 1 校庭使用開始（芝生、アンツーカー
の運動場）
9. 10 市主催による落成式
昭56. 2. 10 校歌・校章発表会 開校記念日とす
る
3. 25 第1回卒業式 126名卒業
4. 6 第2回入学式 114名入学
学級数18
9. 22 校庭改修工事完了（ダスト舗装に）
昭57. 3. 25 第2回卒業式 125名卒業
4. 6 第3回入学式 90名入学
学級数17
昭58. 3. 25 第3回卒業式 110名卒業
4. 6 第4回入学式 66名入学
学級数16
昭59. 3. 24 第4回卒業式 110名卒業
4. 6 第5回入学式 82名入学
学級数16
昭60. 3. 25 第5回卒業式 117名卒業
4. 6 第6回入学式 68名入学
学級数15
6. 28 音楽室冷房設備工事完了
昭61. 3. 25 第6回卒業式 131名卒業
4. 7 第7回入学式 79名入学
学級数14
昭62. 3. 25 第7回卒業式 119名卒業
4. 6 第8回入学式 60名入学
学級数13
8. 31 三沢台小学童クラブ開設
昭63. 3. 25 第8回卒業式 104名卒業
4. 6 第9回入学式 55名入学
学級数13

9. 1 体育館舞台照明設備工事完了
平元. 3. 25 第9回卒業式 79名卒業
4. 6 第10回入学式 67名入学
学級数12
平2. 3. 24 第10回卒業式 89名卒業
4. 6 第11回入学式 52名入学
学級数12
8. 24 体育館床張替え工事完了
AV放送器機設置
平3. 2. 1 ランチルーム設備充実
2. 9 創立十周年記念式典
父母の会より記念品贈呈（遊具）
3. 25 第11回卒業式 79名卒業
4. 6 第12回入学式 50名入学
学級数12
平4. 3. 25 第12回卒業式 77名卒業
3. 31 鳥小屋・砂場・畑新設
4. 6 第13回入学式 41名入学
学級数12
平4. 8. 31 ランチルーム改修工事完了
8. 31 音楽室防音工事完了
9. 3 生ごみ分解消滅機使用開始
平5. 3. 20 桜、梅の苗木を植樹
3. 25 第13回卒業式 56名卒業
4. 6 第14回入学式 47名入学
学級数12
平5. 9. 30 暖房機工事完了
12. 24 雨水利用設備工事完了
平6. 3. 25 第14回卒業式 61名卒業
4. 6 第15回入学式 48名入学
学級数12
平7. 2. 4 開校15周年記念コンサート
3. 25 第15回卒業式 69名卒業
4. 6 第16回入学式 37名入学
学級数11
平8. 3. 23 屋上一部雨漏り防止工事完了
3. 25 第16回卒業式 50名卒業
4. 6 第17回入学式 29名入学
10学級

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月	氏 名	年 月 ～ 年 月
初代 深尾 眞	昭55.2～昭59.3	四代 西田 敦子	平2.4～平7.3
二代 松日楽敬治	昭59.4～昭62.3	五代 飯田 國代	平7.4～現在
三代 福地 保	昭62.4～平2.3		

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調に、国際社会において心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

一、すすんで学ぶ子

一、明るく思いやりのある子（重点目標）

一、よく考え行動する子

一、からだをきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 自ら学ぶ意欲を高め、柔軟な思考力、豊かな創造力・表現力を育てるとともに学ぶことの楽しさや喜びを体得させる。

イ. 自尊と敬愛の心を育て、明るい希望をもち、心豊かに生活できるよう指導・援助する。

ウ. 自ら考え正しく判断し、行動できるよう主体性と実践する力を育てる。

エ. 生命を尊重し、自ら進んで健康の増進と体力の向上をめざすとともに、運動に親しむ態度や能力を育てる。

オ. 安全で美しい教育環境を整え、家庭や地域との連携を深め、学校相互の連携や交流を図る。また、教師自ら研修に励むとともに校内研究を充実させ識見と指導力を高め、創意ある教育を推進する。

カ. 学校週5日制の導入により、子どもの学習負担が増大したり、教育水準が低下しないよう指導計画及び指導方法を工夫する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的に取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

○児童の学習への意欲や関心を高めるために、体験的な活動を重視した学習指導の工夫に努める。

○学習のねらいと評価の観点をはっきりさせ、計画的な学習をすることにより児童の基礎学力の定着を図る。

○教材、教具の効果的な活用を図り、学習効果の向上に努める。また、地域の素材を教材化し学習の中に生かす。

○複数の教員がチームをつくり個に応じた指導の充実をめざす。

イ. 道徳

○生命の尊重を基調に明るく思いやりの心をもち、たくましく生きる子を育てる。

○望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

○児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努める。

○異年齢組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のあるよい校風づくりにはげむ態度と実践力を育成する。

(2) 特色ある教育活動

- 異年齢児童のふれあいの場を多くし、児童相互、児童と教師の交流をさかんにする。
- 校内、校外での奉仕活動を通し、勤労の大切さを育み、併せて学校と地域との連携を深める。
- 自然をいつくしむ心を育てると共に、環境の改善に働きかける実践力を育てる。
- 児童の遊びを豊かにし、創造性を育み心身の調和のとれた発達の基礎を培う。
- 我が国の文化や伝統についての理解を深めるとともに、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、尊重する態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 楽しい学校生活が送れるように、全教育活動を通じて、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 児童の豊かな人間性を培うために 正しい、美しい、温かい 言葉で話すことができるようにする。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導、健全育成の手立てに万全を期す。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し生涯学習を指向する基礎作りを目指す。
- 各教科、道徳、特別活動との関連を密にして、職業や勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕することの大切さを体得させる。
- 海外から帰国した児童については、学校生活への適応を図るとともに、外国における経験を生かすなど適切な指導に努める。

6. 本年度の研究主題

「豊かな心を持ち、進んで実践できる児童の育成」を目指す指導法の研究 教科 国語

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No. 内訳	都・文部省委員	研 究 員
1	飯田 國代 (61. 都研究奨励費)	飯田 國代 (60. 特活)
2		佐藤 静雄 (H2. 社会)
3		茂木 敏光 (H6. 教育課題)



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町 6-1-74
電 話 0425-81-8511 FAX 8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
児 童 数 男132名 女134名 計267名

校長氏名 河 野 和 昌

教頭氏名 森 野 豊

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

昭58. 3. 30 仲田小学校新設のための市条例一部改正を市議会が可決

6. 22 現在地に建設着工

昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任

4. 1 開校

4. 6 第1回入学式

5. 23 校庭・プール竣工

7. 31 体育館竣工

10. 12 市主催落成式挙行

11. 12 校歌・校章披露式挙行

昭60. 3. 25 第1回卒業証書授与式

昭61. 3. 25 第2回卒業証書授与式

昭62. 3. 25 第3回卒業証書授与式

4. 1 2代校長 岩下和夫就任

昭63. 3. 25 第4回卒業証書授与式

11. 21 開校五周年記念式典

平元. 3. 25 第5回卒業証書授与式

平2. 3. 25 第6回卒業証書授与式

平3. 3. 25 第7回卒業証書授与式

平4. 3. 25 第8回卒業証書授与式

4. 1 3代校長 中村孝一就任

4. 6 第9回入学式

平5. 3. 25 第9回卒業証書授与式

4. 6 第10回入学式

3. 25 第10回卒業証書授与式

平6. 4. 6 第11回入学式

平7. 3. 25 第11回卒業証書授与式

平7. 4. 6 第12回入学式

平8. 3. 25 第12回卒業証書授与式

4. 1 4代校長 河野和昌就任

4. 6 第13回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
山 口 武 彦	昭59. 2. 1～昭62. 3. 31
岩 下 和 夫	昭62. 4. 1～平4. 3. 31
中 村 孝 一	平4. 4. 1～平8. 3. 31
河 野 和 昌	平8. 4. 1～

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道（国道20号線）、西にJR中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋めたて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場（日野第一桑園）跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

生涯学習社会を迎え、個性尊重の精神を基調として、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

◎すすんで学ぶ子

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に対応できる力を育てる。

○からだをきたえる子

自ら進んで、健康の保持・増進及び体力の向上を図る能力と態度を育てる。

○思いやりのある子

生命尊重を基盤とし、人間性を尊重し、人格を尊重する、豊かな心を育てる。

○最後までやりぬく子

困難や障害を乗り越えて自己実現を目指す、たくましく生きる力を育てる。

5. 本年度の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○「すすんで学ぶ子」の育成を目指し、全教育活動を通して、的確な助言・援助を行い、自ら学んでいく学習意欲や心優しい豊かな心情を育てる。

○各教科の特性を踏まえて、学習集団の編成・活用を図るなど個に応じた指導を重視する。特に児童が進んで楽しく学習し、自ら基礎・基本を身に付けていく授業の実現を目指して、指導法の工夫・改善に努める。

イ. 道徳

○社会の一員としての自覚を覚え、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する心情及び態度を育てる。

○常に目標をもち、その達成を目指して、自分から進んで行動し、最後まで根気強くやりとげる意志と態度を養う。

ウ. 特別活動

○児童の主體的な活動を促し、諸行事や学級活動を推進する。特に、できるだけ児童に企画・運営させるなどして、集会活動の充実を図る。

(2) 特色ある教育活動

○昨年度までの人権尊重教育推進校の研究成果を生かし、校内研究の継続を図る。

○学校裁量の時間を無理のない範囲で教育過程に位置付け、児童の希望を生かした全校の活動や保護者や地域の人々とともに活動する体験的な活動を実施する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○一人一人の児童を尊重した教育を推進するため、学級での指導を充実させるとともに教育相談、生活指導職員会議・朝会等を通して、児童理解と校内体制の確立に努め、問題点の早期発見・早期対応に心掛ける。

○生活指導目標の達成を目指して、学校生活における基本的生活習慣の定着を図るとともに、学校週五日制の月2回実施を踏まえて、地域・家庭での生活体験などの成果を学校の教育活動に生かす。

イ. 進路指導

○一人一人の児童の能力・適性を捉え、将来を見通した個性の伸長を図る。

○学級における諸活動等を通して、自主的な活動意欲や実践力を高める。

6. 本年度の研究

(1) 研究主題

「お互いに認め合い高め合いながら進んで学ぶ子の育成」

(2) 研究教科

「生活科」「社会科」他

(3) 研究内容

① 基本的方向

○生活科・社会科研究領域として、上記主題を追究し、本年度の重点教育目標「お互いに認め合い、高め合いながら進んで学ぶ子の育成」の具現化を図る。

○昨年度までの研究及び課題を踏まえて実践し、定着を図るとともに、期待される児童像をさぐる。

○人権尊重教育推進校の積み重ねを生かし「一人一人を大切にしたい指導」により、思いやりのある児童を育てる。

② 研究方法

○講演及び教材研究を通して、学習指導要領の趣旨、内容の理解を深める。

- 授業研究を通して、指導内容・方法を実証していく。
- 研究推進委員会の計画・推進により、校内を二分科会に分けて進める。
- 研究教科の教材・資料図書の充実を図るとともに、教育環境の整備に努める。

7. 本校の特色

本校は、開校13年目を迎えた教職員の意欲と児童の活力にあふれる学校である。

(1) 恵まれた自然環境

本市の北東部に位置する学区は、緑豊かな仲田緑地や、流れも清き多摩川など、美しい自然に囲まれている。また学校の前には、樹齢100年に達する大ケヤキやイチョウがそびえ、四季おりおりの景観が子供たちの心をはぐくんでくれる。

(2) あいさつが上手な明るい子

本校の子供たちは、すこぶる明るく、素直である。来客者は口をそろえて、「この学校の子供たちはあいさつが上手ですね」とほめてくれる。

あいさつは、心と心を結ぶ最高の手段であり、好ましい人間関係の形成に役立つ。豊かで明るい学校生活を過ごすために、あいさつは不可欠なものであり、全校で取り組んでいる。

(3) 研究熱心な教職員

本校では、「お互いを認め合い高め合いながら進んで学ぶ子の育成」をテーマに、昨年度までの研究の成果を生かし、生活科・社会科他、を通して更に一層の飛躍・深化に努めている。

また用務員は、庭木の剪定の時期を研究したり、事務職は廉価で品質のよい物品購入に心がけ、調理員は、子どもの側に立った味付けなどを絶えず研究している。

(4) 協力的な地域の方々

本校を取り巻く地域は、「日野宿」跡地に象徴されるように、大変歴史の古い所である。それだけに貴重な遺産や資料がたくさんある。以前、開校五周年記念の資料集を作成するため、地域の方々に資料提供を要請したところ、驚くほど多くの資料や古文書を寄せてくれ、また古老から、昔の話を十分聞かせていただいた。昨秋、十周年記念行事を地域の協力のもと実施し連携を深めた。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	道 徳 助 言
1		岩 崎 英 夫 (元・体育)	八 木 正 子 (5・生活科)	和 田 いさお (53.教育方法)	雨 宮 宣 夫 (7.)
2		植 松 久美子 (2・国語)			
3		八 木 正 子 (2・教育課題)			
4		雨 宮 宣 夫 (6・教育課題)			
5		小 山 しおり (7・社会科)			



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町7-7-7
電 話 0425-81-0009・0261
順 路 J R 日野駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男344名 女265名 計609名

校長氏名 松 澤 茂 久

教頭氏名 石 川 光 男

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置認可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭41. 7. 1 体育館落成式
- 昭42. 11. 4 創立20周年記念式典举行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑
- 昭55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始
- 昭62. 11. 7 創立40周年記念式举行
- 平2. 9. 3 校庭整備工事
- 平3. 10. 25 柔道室改築
- 平4. 2. 24 コンピュータ室工事
- 平7. 8. 31 給食室空調工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
町 田 勘 之 助	昭22.4～昭25.9
飯 塚 節 三	昭25.10～昭37.3
大 沢 彰	昭37.4～昭40.3
大 沢 量 作	昭40.4～昭45.3
安 部 達 郎	昭45.4～昭49.3
東 恭 朝	昭49.4～昭53.3
松 延 耕 作	昭53.4～昭57.3
小 林 節 夫	昭57.4～昭59.3
奥 村 節 生	昭59.4～昭63.3
高 橋 豊 彦	昭63.4～平元.1
宮 本 裕 子	平元.2～平6.3
松 澤 茂 久	平6.4～現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

- (1) 一人一人を尊重し、心理と平和を求める社会の形成者として、世界に開かれた人間の育成を目指し、次の目標を定める。

- 一、自ら考え、学びつづける人（主体性）
- 一、協力し、全体につくす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

- (2) 教育目標を達成するための基本方針

- ①生徒一人一人の個性や能力を生かし、基礎・基本を重視した分かりやすい授業の実践と指導の工夫により、自ら学ぶ意欲と柔軟で豊かな思考力・創造力を育て、主体的に考え、判断、行動できる能力を育成する。
- ② 生徒に学級・学年・学校、さらに地域社会の一員としての自覚を促し、集団との一員としてよりよい生活を築こうとする自主・自律的態度、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、郷土愛を培う。また、校内や地域の美化活動・奉仕活動から環境改善への意欲を育む。
- ③ 人権尊重の精神を培い、常に国際的視野を持ち、一人一人の生徒の成長・発達と自己実現を図る人間性豊かな教育を徹底する。
- ④ 生徒が生命を尊び、健康で明るく活力のある生活を送るため、生涯にわたって運動に親しむことができるよう体育の充実を図り、健康の保持増進と体力の向上を図る能力・態度を育成する。また、性に関する理解を深めるための指導を充実する。
- ⑤ 学校5日制に伴い、指導方法の工夫・改善に

努めると共に、家庭や地域社会との連携を一層深め、地域との連帯感、地域への帰属意識を培い、開かれた学校教育を進める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎・基本を重視したわかりやすい授業、そして生徒の理解を助ける授業の実践により、基礎学力の充実を図り、生徒自ら学ぶ意欲を培う。
- ・学校5日制をふまえ、授業時数の確保と教材の精選及び指導内容の重点かを図る。
- ・理科・保健体育科におけるチームティーチングの導入や選択教科の充実により、個に応じた指導法の工夫を進める。
- ・体験的学習、問題解決的学習、地域素材を生かした学習や学校図書館、視聴覚教材、教育機器を活用した学習を充実し、生徒の興味・関心・意欲を伸長させるとともに、情報を選択し活用する能力を高める。

イ. 道徳

- ・道徳の時数確保とともに3年間を見通した道徳の年間指導計画に沿って組織的・計画的・継続的な指導に努める。
- ・道徳及び教育活動全体を通していじめや暴力・差別・偏見を排除し、人権尊重精神に基づき、思いやり、認め合い、支え合う心と態度を育てる。
- ・地域や社会の一員として、社会規範を身に付け、自主的判断のもとに責任ある行動が取れる道徳的实践意欲と態度を培う。
- ・他領域、特に進路指導との関連を図りながら、各学年の発達段階に応じて、生き方・在り方などの指導を充実し、豊かな心を育てる。

ウ. 特別活動

- ・教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。
- ・小集団を基礎に、個人の自発性や個性及び責任感を啓発し、学級集団の質を高める。
- ・生徒会活動や部活動を充実させ、生徒の自主的活動力と一人一人の個性・能力の伸長を図る。
- ・学校行事を通して体験的な活動を促進し、成就感が意欲につながる指導に努め、あわせて集団への所属感を深めさせる。

(2) その他の活動

サンフラワー一中（学習・心身・環境）を合い言葉に、落ち着きと潤いのある学校生活を築くため、次の環境教育や社会性を育む教育、並びにボランティア協力校としての活動を推進する。

- ・清掃・美化活動の徹底を図り、心豊かな教育環境の醸成する。
- ・クリーンフェスティバル、花と緑のある学校づくり、古切手・テレフォンカード集め、ユニセフ募金等の体験的・勤労的・奉仕的な活動を通して、心豊かな社会性を育む。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒の規律ある充実した学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図り、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育てる。
- ・生徒指導の共通理解・共通実践に努め、職員が一枚岩となって取り組む生徒指導態勢を確立する。
- ・あいさつや朝会等の集会指導の充実により、集団行動の質的向上を図る。
- ・教育相談室を活用し、カウンセリングを重視して生徒理解を深めるとともに、生徒一人ひとりの内面に迫る個別指導の徹底を図る。
- ・保護者、地域、小学校、関係機関等と緊密な連携を図り、生徒の健全な育成に努める。

イ. 進路指導

- ・一人一人の生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と態度を育てる。生徒進路の選択に当たっては、生徒の能力・適性・希望等に基づいて適切に助言・援助を行う。
- ・3年間を見通した全体計画に基づき、組織的・計画的・継続的な指導を行う。
- ・学級活動における進路指導の時間を確保し、充実に努める。
- ・職場訪問・職業調べ・留学生の話を書く会・上級学校調べ・卒業生の話を書く会・高校の先生の話を書く会等体験的な学習を通して、生きた進路情報を習得させ、適切な進路選択能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- ① 進路指導と関連した道徳教育のあり方
- ② 生徒の活力を引き出す指導のあり方

7. 本校の特色

次のことを、組織的な活動のもとに推進する。

サンフラワー 一中

- ・学・心・体の力
- ・美しい環境

8. その他

	研 究 員	開 発 委 員	道 徳 助 言 研
1	松澤 茂久 (59. 特活)	石川 光男 (60. 保体)	荒 延江 (61)
2	石川 光男 (46. 保体)	山田 智之 (7. 美術)	清水 肇 (2)
3	吉田 俊明 (63. 教育課題)		
4	岸 隆男 (63. 国語)		
5	浅野 和也 (2. 教育課題)		
6	清水 肇 (3. 特活)		
7	沢田 陽子 (5. 英語)		
8	菅野 武 (5. 保体)		
9	鈴木 直也 (5 保体)		
10	山田 智之 (6 教育課題)		



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4-5-2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 北へ徒歩10分
生 徒 数 男297名 女260名 計557名

校長氏名 日 食 和 雄

教頭氏名 辻 野 良 子

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式（生徒200名）
第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第1回卒業式（卒業生204名）
昭33年度 校旗・校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される
昭35年度 特別教室（工作、調理、理科）竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行 研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典挙行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成（6教室）
昭42年度 防音校舎第二期工事完成（18教室）、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境裁花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭48年度 創立20周年記念式典挙行
昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。中庭・他整備
昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装
昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備
昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭55年度 第二技術室の新設
昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・事務室の床張替え工事
昭57年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイド改修工事。体育館床塗装工事
昭59年度 創立30周年記念式典挙行
昭60年度 給食棟建設工事着工

昭62年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事
昭63年度 南校舎内部塗装工事
体育館西側舗装工事
健全育成相談室設置
平元年度 南校舎二階廊下改修塗装
青桐祭（文化の部）市民会館で挙行
平2年度 体育館、床、壁、更衣室等改修
被服室、理科室の床改修
平3年度 コンピューター室新設
平4年度 南校舎一階廊下天井改修
北校舎階段張替え工事
北校舎二階トイレ改修
平5年度 南校舎二階教室天井改修
南校舎昇降口1,2階戸改修
北校舎廊下手すり新設（第二音楽室）
創立40周年記念式典挙行
平6年度 南校舎一階教室天井改修
金工室前廊下天井改修
南校舎二階トイレ改修
平7年度 南校舎三階教室天井改修

2. 歴代校長

氏 名	
橋 本 貴 一	昭29.3.1～昭30.9.30
増 山 恒	昭30.10.1～昭41.3.31
飯 田 栄 一	昭41.4.1～昭46.3.31
河 村 俊 一 郎	昭46.4.1～昭48.3.31
飯 田 卯 吉	昭48.4.1～昭51.3.31
小 林 政 之 助	昭51.4.1～昭55.3.31
渡 辺 吉 彦	昭55.4.1～昭59.3.31
小 林 節 夫	昭59.4.1～昭63.3.31
大 野 隆 久	昭63.4.1～平6.3.31
日 食 和 雄	平6.4.1～現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、たくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

年間指導計画を基に、指導内容の充実・精選及び、指導方法の工夫改善につとめ、基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習を通して自主学習を促進し内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

また、指導方法の改善のひとつとして、理科においてチームティーチングを実行し、授業の効果を高める。

イ 道徳

日常的教育活動全体を通して、組織的・計画的に内容の重点化を図り、学校生活全般において自主的判断のもと、責任ある行動がとれる豊かな道徳性の育成に努める。

また、人権尊重教育の立場から学校の教育活動全体を通して、

- ① 互いに認め合い、励まし合う態度を育む。
- ② 『人の命の尊さ』を学ばせる場面を設定する。
- ③ 偏見や差別の根絶に努める。

ウ 特別活動

学年・学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動を通して、自主性・協調性・奉仕性等を養う。

特に、生徒会活動においては環境教育の一環として、リサイクル運動を発展させ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加させる。

部活動の種類や内容の充実を図ることによって、生徒の活動意欲を促進し、学校生活の活性化を図る。

(2) その他の活動

小集団を基に学級・学年・生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し、生徒集団の質を高める。

行事や諸活動を充実させ、活発な活動を促進することによって生徒自身の参加の意欲を高め、主体性・協調性・創造性の伸展を図る。

地域に根ざした学校教育を推進するために、生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情を育む。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めることによって、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。

問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続・徹底するとともに、ゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

上記の目的を達成させる手段として、教育相談を進め、生徒一人一人を理解することによって、指導・助言を行う。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の交流を促進し、発達段階に応じた指導をすすめる、自己の個性や適性の伸長を図り、正しい職業観を育成し自らの進路を選択できる能力を高める。

進路学習として次のことを学級活動時に行う

第1学年……『自己を知る』『職業調べ』

第2学年……『上級学校』

第3学年……『進路の選択』

6. 本年度の研究主題

「カウンセリングマインド」にたった指導法の研究

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も16年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員	開 発 委 員
1		日 食 和 雄（55. 保健体育）	日 食 和 雄（58. 保健体育）
2		辻 野 良 子（4. 道徳）	秋 庭 英 子（7. 家庭）
3		田 中 幸 美（7. 音楽）	



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6 - 7 - 1
電 話 0425-91-0174・0175 FAX0425-91-0178
順 路 南平駅（京王線） 下車徒歩 8 分
豊田駅（J R） 下車徒歩18分
生 徒 数 男224(5・4) 女210(2・1) 計434(7・5)
() 内は心障・相談学級の生徒数

校長氏名 名 塚 三 雄

教頭氏名 片 倉 俊 秀

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校式举行 2部授業で発足
昭23. 2. 15 七生村南平1994番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を举行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
昭32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を举行
創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表を举行
昭33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭37. 7. 31 プール開きを举行
昭37. ～39. 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
昭41. 7. 1 体育館落成
昭42. 11. 3 創立二十周年記念式典举行
昭45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
4 ～ 9 七生中学校に三中分校設置
昭46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
昭47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
昭50. 5. 22 南校舎西側（4 階）増築工事完成
訪問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平 6 - 7 - 1
昭52. 11. 3 創立三十周年を祝う会举行
昭54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
昭57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
昭58. 4. 1 心障学級開設（2 教室改造）
5. 心障特別教室完成
昭59. 5. 校庭南フェンス改修（歩道完成）
昭59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換・外装吹付け工事実施
昭60. 3. 廊下塗装工事実施
5. 給食棟（厨房・食堂）完成
昭61. 3. 校庭南フェンス（高）延長

- 昭62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会を举行
平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
2. 4. 相談（情障）学級を開級
3. 10. 体育館を改修
4. 3. コンピュータールーム工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
飯 塚 節 三	昭22. 4 ～昭25. 9
増 山 恒	昭25.10～昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10～昭37. 3
木 村 巧	昭37. 4 ～昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4 ～昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4 ～昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4 ～昭51. 3
吉 岡 孝 二 郎	昭51. 4 ～昭55. 3
山 本 保	昭55. 4 ～昭61. 3
川 崎 昭 三	昭61. 4 ～平成. 3
村 田 志 信	平成. 4 ～平 4. 3
名 塚 三 雄	平 4. 3 ～現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川に沿う静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、自然環境に恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、次のことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心を持とう。
- ・健全な心と身体を作ろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育活動全てにわたり人権尊重の精神を培い、生徒の個性を伸長し、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ② 基礎的・基本的な内容を身に付けるために各教科および学年間の連携を密にして、組織的・計画的な研究を日常的に進める。
- ③ 心身障害学級との積極的な交流を図ることを通して、障害児に対する理解を深め、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育てる。
- ④ 学区小学校、諸機関との連携を深め、生徒の健全育成に努めるとともに、学校5日制に伴い、地域の人々と文化と触れ合う機会を通して、地域との連帯感、地域への帰属意識を培い、地域に開かれた学校教育を進める。
- ⑤ 生命を尊び、健康で明るく活力のある学校生活を送ることを目指して、自ら進んで健康の保持、増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。
- ⑥ 自主性と創造性に富む集団の育成を目指して、生徒会活動や学級での話し合い活動を積極的に推進する。
- ⑦ 教科・学級での指導を通して、自国の文化や伝統に対する理解を深め、国際的な視野に立って行動できる生徒を育てる。

(3) 心障学級の目標

- ① 情緒・情操豊かで、健康な身体を育てる。
- ② 一人一人の発達段階に応じて、言語による表現活動（認識）を豊かに育てる。
- ③ 生活に必要な知識や技能を学び、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ④ 互いに命や個性を大事にし、助け合って働ける力を育てる。

(4) 相談学級の目標

- ① 登校のための援助を通して、健康的な生活のリズムを回復するよう努め、基本的な生活習慣を養う。
- ② 小集団指導の中で個別指導を中心として、継続してものごとに取り組む意欲を育て、豊かな人間性を養う。
- ③ 体験を豊かにし、判断力を養い、自ら行動できる自立心を養う。
- ④ 人間性を豊かにし、人権を尊重する対人関係を養い、社会性に適応し自らの能力を発揮できる力を育てる。
- ⑤ 学習に対する不安感を取り除きながら、学習の遅れを取り戻し、学習の習慣化に努めさせる。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・指導内容・方法・評価の改善を通して、基礎的・基本的事項の指導を徹底し、生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- ・基礎的・基本的事項を徹底し、より一層の定着を図るために、2・3学年の外国語、3学年の社会、理科、保健体育、技術家庭の授業時数は下限を超えて定める。
- ・理科においてティーム・ティーチングを導入し、個に応じた指導法の研究を進める。

イ. 道徳

- ・健康で、明るく、他を思いやり、互いに協力する態度を育てる。
- ・物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てることを通して、社会規範を身に付ける。

ウ. 特別活動

- ・学級活動・生徒会活動、クラブ活動を一層充実することを通して、生徒の自主的活動を積極的に援助し、一人一人の個性・能力の伸長を図る。
- 生徒が主体的に取り組む行事を行うことを通して、達成感・充実感を味わうよう指導する。

(2) その他の活動

- ・生徒理解を深めるための教育相談を充実し、生徒一人一人の内面を捉えることを通して、生活意欲の向上に努める。
- ・学校5日制と関連し、地域社会と結び付いた活動を充実し、地域の社会人講師を活用する。
- ・小学校、育成会との連携を通して、地域に開かれた学校教育を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・啓発・体験的な行事活動への取組みを通して、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- ・学級を基盤として、支え合い、励まし合う集団の育成を通して、中学生として望ましい生活態度・基本的生活習慣を身に付ける指導の徹底を図る。
- ・多面的に保護者と話し合い、地域、関係機関との連携を密にして保護者とともに生徒の個性を伸ばし、健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己理解を深め、自分の特性に合った進路を選択するとともに、自ら向上し、生涯にわたって自己実現を図ろうとする態度を育てる。
- ・啓発的活動を重視し、生き方・在り方を考える指導の充実を図る。

6. 本年度の研究主題

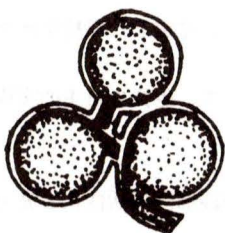
生活指導の在り方

7. 本校の特色

- 生徒は明るく素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して意欲的に活動している。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒会活動が盛んで、新入生を迎える会、三年生を送る会等の行事が、活発に行われている。
- 地区育成会や小学校とも連携して、開かれた学校づくりに努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. / 内訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	名塚 三雄（43. 特活）	柳沢 美澄（56. 英語）	瀬川 昭英（元. 国語）
2	柳沢 美澄（55. 英語）	瀬川 昭英（63. 国語）	
3	瀬川 昭英（60. 国語）	櫻井 圭子（8. 音楽）	
4	片倉 俊秀（62. 道徳）		
5	長坂 昌弘（元. 音楽）		
6	岡田 洋子（元. 障教）		



学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保650
電 話 0425-91-2228・2229
順 路 京王線高幡不動駅下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分
生 徒 数 男288名 女277名 計565名

校長氏名 福 島 良 樹

教頭氏名 正 留 久 巳

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始
生徒数26名、教職員数12名
- 昭45. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校、七生中学校内で授業 生徒数44名、教職員14名、百草、高幡の両団地を学区域にする
- 昭46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区域変更、程久保地区の全部 三沢地区上、中を加える
7. 1 学区域変更、西部百草団地を加える
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開校記念日とする 校章・校歌を発表
- 昭48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭59. 4. 1 学区域変更、西部百草園住宅および日本信販西部百草園住宅地域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プール管理棟竣工
- 昭62. 3. 31 プール改修工事竣工
- 平元. 8. 31 集中コントロールガス暖房工事竣工
- 平2. 6. 22 クラブハウス竣工
- 平2. 6. 26 校庭夜間照明施設竣工
- 平2. 8. 13 給食棟竣工
- 平2. 9. 28 給食開始
- 平2. 11. 17 創立二十周年記念式典
- 平4. 5. 20 校庭改修工事着工
- 平4. 7. 27 体育館改修工事着工
- 平4. 10. 3 校庭改修工事完了
- 平4. 10. 20 体育館改修工事完了
- 平5. 4. 26 パソコン教室工事完了
- 平8. 3. 18 教育相談室工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭45. 9 ～昭48. 3
松 延 耕 作	昭48. 4 ～昭53. 3
田 中 弘 明	昭53. 4 ～昭56. 3
長 岡 宗 次	昭56. 4 ～昭59. 3
千 葉 廣 志	昭59. 4 ～昭63. 3
清 水 春 海	昭63. 4 ～平3. 3
高 木 宏 文	平3. 4 ～平6. 3
福 島 良 樹	平6. 4 ～現在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区域は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星学園があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって文教地区を形成している。

4. 教育目標

- (1) 人権尊重の精神を基調に国際社会に活躍できる心身共に健やかな人間を育成するため次の目標を定める。「自ら判断し、責任をもって実行する人となる。」
- 自ら学び、考え工夫する人
 - 自然や人々を大切にする人
 - 自ら心身を鍛え、やりぬく人
- (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針
- ① 教育目標を具体化した学年・学級目標を設定し、それに基づいて学年・学級経営の充実を図る。
 - ② 指導方法の改善、工夫、基礎基本の重視をするため、パソコン、VTRなど視聴覚機器の利

用やチームティーチング・外国人講師を導入し、生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。

- ③ 修学旅行の自主学習を始め、学年・生徒会行事・委員会の諸活動を通して、生徒の自主的実践的な特別活動を充実させるとともに、満足感のある学校生活を送らせる。
- ④ 行事の精選や授業内容の精選を図り、ゆとりのある学校生活を送らせる。
- ⑤ テームティーチングや外国人講師の導入による効果を通し、研究・実践部門の活性化と充実を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

『その場にふさわしい声できちんと話をさせる。』この指導を授業の中心に据え行う。

ア. 各教科

- ・教材を基礎的・基本的な内容への一層の精選を図り、自ら学ぶ意欲を大切にし、自主的な学習を促進する。特に、T・Tの導入により基礎学力を向上させ、AETの導入においては基礎的英会話力を身につけさせるとともに、国際理解を役立たせる一助とする。
- ・視覚に訴える機器、VTR・パソコンなどを活用し工夫することにより、生徒によりわかりやすい授業を展開する。
- ・指導と評価の一体化により、学習意欲の増大を図る。

イ. 道徳

- ・他領域との関連を図りながら豊かな心を育てる。自主的判断のもとに責任ある行動ができる生徒を育てるよう、指導内容を工夫する。豊かな体験を通して思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級・学年内の小集団を基本に、学校行事等に主体的に取り組ませ、協力し、力強く生きていく能力を育む。諸行事における班活動や、学校行事での兄弟学級の活動を通して、生徒の自主的活動の力を育てる。
- ・生徒会活動に重点をおき、各委員会为重点目標を設定し、生徒の自主的・体験的な活動を重視する。また、清掃活動などを通して、勤労生産・奉仕活動の充実を図る。
- ・地域の中での交流を通して、心や身体に障害のある人への正しい理解を培い、思いやりの心を育てる。

(2) その他の活動

- ・落ち着きと潤いのある学校生活を送らせるため、清掃美化指導の徹底を図る。あわせて、地域環境美化につとめるため、リサイクルボックスの利用・空き缶の回収を行う。
- ・諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主的・自立的な活動ができるように指導にあたる。
- ・地域の小学校・養護学校との交流を図り、相互の理解を深めるため、小学校との交流会を行い、養護学校生徒を合唱祭に招く。
- ・移動教室においては、校内では経験できないスポーツを体験するとともに地域では経験できない自然に親しむ機会を与える。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・自ら正しく判断することを基本に、自律ある生活態度を身につけさせる。具体的には、「時間のけじめをつける」「話を聞く態度を養う」を2本の柱として指導する。
- ・教育相談を充実させ、学校生活への適応に関する指導をする。
- ・問題行動に対する指導は、全教職員の共通理解に基づき、一致した指導の徹底をめざす。

イ. 進路指導

- ・各学年に応じた系統的指導の徹底をめざし、生き方に関わる指導を充実させる。1年の職業調べ、二年の進路指導行事、3年の卒業生の話しを聞く会を通して、具体的に自己の進路を考えさせる。
- ・教師、生徒、保護者の緊密な交流を図り、進路情報を有効に活用し、適切な進路選択ができるようにする。

6. 本年度の研究課題

ア. 主題「生徒理解を深めるための工夫」

イ. 研究内容

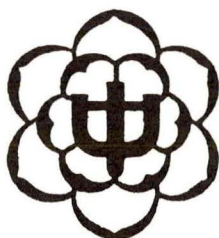
- ① 生徒一人一人が生き生きとできる学級活動の工夫
- ② 教育相談（カウンセリング）の手法を学ぶ
- ③ 教育相談の手法を生かした面談のあり方と実際

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校26年目で、学級数は16、学区内の小学校は、潤徳小、百草台小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具現化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。
- 学校、地域環境美化と省資源・省エネルギーのためリサイクルボックス利用、空き缶回収を行う。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	福 島 良 樹 (52理)	福 島 良 樹 (57教)	福 島 良 樹 (61研究生、理科)
2	山 口 俊 浩 (4 保体)	正 留 久 巳 (62美)	山 口 俊 浩 (H 6 海外派遣短期)
3	井 上 義 孝 (5 技)		
4	正 留 久 巳 (6 教課)		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-83-3905・3906 FAX 0425-83-3915
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス（長房団地行、都立科学技術大学下車 5分）
生 徒 数 男335名 女324名 計659名 18学級

校長氏名 松 原 勇

教頭氏名 酒 井 徳 行

1. 沿革の概要

- 昭47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置
8. 21 校舎起工式（工事費19億円施工小田急建設）
12. 7 学区決定
昭48. 1. 18 屋内体育館着工
3. 26 都教委・第四中学校設立を認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎
以下 教員24名発令・開校
7. 2 屋内体育館完成 使用開始
（工費約4,600万円 施工 小田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費2,700万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定、教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
昭49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室 冷房装置取り付け
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築部完成 校舎3スパン
機械室（工費約1億6千万円
施工 小田急建設）
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎にU字溝設置
昭51. 1. 16 図書館開館
昭52. 4. 1 二代校長 山口幸雄 着任
昭52. 9. 13 第三期工事開始（工費9,500万円
施工 小田急建設、年度末完成）
昭53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置
昭54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置

6. 26 校庭南側に防球フェンス設置
昭56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲 着任
昭58. 4. 10 学校警備、機械化となる
11. 21 創立十周年記念式典挙行
校歌碑建立・除幕
昭60. 4. 1 四代校長 立川泰司 着任
昭62. 1. 17 給食棟建設工事着工
9. 30 給食棟及びテニスコート（全天候型
に）改修
昭63. 4. 1 五代校長 桑原和正 着任
5. 16 給食開始
平2. 8. 18 西側校舎外壁塗装
平3. 7. 21 東側 “
平4. 4. 1 六代校長 高橋和子 着任
平5. 10. 30 体育館改修工事終了
平5. 11. 5 開校20周年記念式典
平6. 9. 10 相談室完成
平7. 2. 7 健全育成研究発表会
平7. 4. 1 七代校長 松原 勇 着任

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊 一 郎	昭48.4.1～昭52.3.31
山 口 幸 雄	昭52.4.1～昭56.3.31
花 牟 礼 哲	昭56.4.1～昭60.3.31
立 川 泰 司	昭60.4.1～昭63.3.31
桑 原 和 正	昭63.4.1～平3.3.31
高 橋 和 子	平4.4.1～平7.3.31
松 原 勇	平7.4.1～

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分は浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年

多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

平和で民主的な国際社会の形成者として世界にひらかれた個性豊かな生徒の育成をめざし、つぎの目標をさだめます。

- 一、よく考え、自ら学ぶ人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人
- 一、他を思いやり、責任ある行動をとる人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人権尊重の精神のもとに、健全育成を推進する。

そのため、望ましい人間関係を育てる基盤である学級経営の充実、心豊かな生徒を育てるための道德教育の充実、生徒理解を深め、個を生かす教育の充実、基礎・基本の徹底と意欲を高めるための指導法の改善に努める。

1. 各教科・領域及び学年の指導目標を学校教育目標との関連において明確にし、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。
2. 生徒の自主的活動を重視した行事、および学年・学級経営の充実をめざし、研修・実践に努める。
3. 基礎的・基本的な内容を重視する上に個に応じた指導に努めるため、上限下限の時数を示された教科については、3年保健体育を除き上限の時数とする。
4. 生徒理解を深めるため、余裕教室を教育相談室として活用するとともに諸会議の効率化を図り、学校裁量の時間を計画的に運用し日常的教育相談活動の充実を図る。
5. 学ぶにふさわしい教育環境の整備、美化に努め、あわせて地域の自然や文化を大切にする態度を育成する。
6. 地域・家庭との連携を密にし、理解と協力を得て、教育目標の達成を図る。
7. 学校週五日制への対応については、地域・家庭に理解を得られるように配慮する。
8. 教師としての力量を高めるため、研修の充実・指導資料の収集・活用を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道德、特別活動

ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材等の精選につとめ、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人一人の能力の伸長に努める。
3. ティームティーチングなど指導法の改善を図るとともに教材や指導法の工夫によって、個を生かす指導を進める。
4. 音楽科の指導をティームティーチングにより充実させ、学校全体の情操教育の向上に役立てる。

イ. 道德

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切にする心を養う。
3. よく考えて行動し、結果に責任を持って着実にやりぬく強い意志を養う。
4. 各学年の発達段階に応じて、生き方在り方などの指導を充実し、よりよい生き方を考えさせる。
5. 八王子東養護学校をはじめ近隣の福祉施設との交流を進め、生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進を図る。

ウ. 特別活動

1. 学級経営の充実を目指し、教師と生徒、生徒の相互の心のふれ合いを深める。
2. 生徒自身が自己の役割や責任の自覚を深め、集団の一員としてよりよい集団生活を送れるよう社会性を育む。

3. 諸活動を通して、生徒の能力や個性を的確にとらえ、個を生かす場の設定と伸長に努める。
4. 学級活動と生徒会活動との関連を深めて、生徒の主體的な活動を充実する。
5. 生徒会活動や学級活動の充実を図り、生徒一人一人が満足感・充実感をえられる行事にできるように努める。
6. クラブ活動は、部活動によって代替し、年間の計画のもとに実施する。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送らせるために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的体験的活動を重視する。
2. 生徒一人一人の学習や生活の悩みを解決するため、教育相談活動を充実し、生徒理解を深める。
3. 「八王子東養護学校との交流」や「旭が丘ふれあいマラソン大会」など生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進に努める。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

1. 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、家庭・地域との連携を密にし、生徒の健全育成に努める。
2. 身近な環境の清掃活動や整備に努めさせ、ものや自然を大切にすることや勤労意欲を向上させる。
3. 心身の健康安全に対する指導の充実を図り、事故防止に努めさせる。
4. 学級活動や学校行事などを通して、集団生活の意義や個人の果たす役割を理解させ、主体的に責任を果す態度を養う。
5. 一人一人の生徒について正しい理解を深めるため、教育相談活動を充実する。
6. 生徒による全校集会・学年集会などの企画運営を通して、集団としての資質を向上させる。

イ. 進路指導

1. 3年間の系統的な指導で自己理解を図り、生徒一人一人が将来の進路を主体的に選択する能力と態度を育成する。
2. 各教科の学習活動を通して人間の生き方・在り方に触れる指導の工夫をする。
3. 図書資料等の情報を有効に活用し、主体的に進路を選択する能力の育成を図る。

6. 本年度の研究主題

「豊かな人間形成をめざした指導のあり方」

7. 本校の特色

- (1) 教育活動 各領域の調和を保ちながら、明るく活力ある校風を育てる。
- (2) 健全育成の推進……東京都健全育成推進校として健全育成の推進に努めた。
- (3) 父母との連携……学級・学年父母会・地域懇談会などにより、共通理解をふかめ連携を図る。
- (4) 美化・緑化の推進……清掃のゆきとどいた校舎内外の環境美化に努める。
- (5) 体験学習の推進
 - ・八王子東養護学校や光の家との触合いマラソン等の交流を通して、共に生きる豊かな心を育てる。

8. その他（教職員の研修歴）

No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生 等
1	松原 勇 37 保健体育	酒井 徳行 63 特別活動	酒井 徳行 3 海外派遣
2	斉藤 道 6 特別活動	高麗 隆治 4 英 語	
3	石川 晴一 7 道 徳		
4	高麗 隆治 63 英 語		



学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢 1-17-4
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩10分
高幡不動駅より東へ徒歩12分
生 徒 数 男266名 女265名 計531名

校長氏名 山 崎 妙 子

教頭氏名 深 山 睦 弘

1. 沿革の概要

昭51. 9. 18 仮称 5 中学校校舎起工式
昭52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭以下
教職員22名発令
4. 6 始業式（2年156名、3年147名）
4. 7 第1回入学式（1年188名、全校生
徒491名）
9. 16 第1回開校記念日
昭53. 3. 22 第1回卒業式（男80名女66名）
4. 7 第2回入学式（男109名女85名）
昭54. 3. 19 第2回卒業式（男75名女88名）
4. 7 第3回入学式（男111名女91名）
昭55. 3. 18 第3回卒業式（男93名女91名）
4. 8 第4回入学式（男107名女105名）
昭56. 3. 20 第4回卒業式（男105名女86名）
4. 6 第5回入学式（男131名女94名）
昭57. 3. 19 第5回卒業式（男108名女95名）
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
4. 7 第6回入学式（男137名 女108名）
昭58. 3. 19 第6回卒業式（男110名 女108名）
4. 7 第7回入学式（男107名 女122名）
18学級 教職員35名
昭59. 3. 19 第7回卒業式（男130名 女95名）
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第8回入学式（男174名 女161名）
昭60. 3. 19 第8回卒業式（男136名 女102名）
3. 31 西側第二グラウンド完成
昭60. 4. 8 第9回入学式（男171名 女153名）
昭61. 3. 20 第9回卒業式（男110名 女119名）
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第10回入学式（男169名 女170名）
24学級 教職員55名
昭62. 3. 20 第10回卒業式（男174名 女169名）
4. 1 三代校長 綿引正己発令

4. 7 第11回入学式（男173名 女142名）
23学級 教職員55名
11. 7 創立10周年記念式典
昭63. 3. 18 第11回卒業式（男175名 女164名）
4. 7 第12回入学式（男142名 女129名）
23学級 教職員56名
平元. 3. 20 第12回卒業式（男170名 女168名）
4. 7 第13回入学式（男132名 女97名）
21学級 教職員50名
平2. 3. 20 第13回卒業式（男173名 女142名）
4. 1 四代校長 阿部忠志発令
4. 7 第14回入学式（男129名 女111名）
18学級 教職員44名
平3. 3. 20 第14回卒業式（男142名 女123名）
4. 8 第15回入学式（男96名 女103名）
17学級 教職員42名
平4. 3. 19 第15回卒業式（男133名 女99名）
4. 7 第16回入学式（男108名 女86名）
18学級 教職員 42
平5. 3. 19 第16回卒業式（男136名 女111名）
4. 1 五代校長 山崎 妙子発令
4. 7 第17回入学式（男86名 女101名）
15学級 教職員 40
平6. 3. 19 第17回卒業式（男97名 女106名）
4. 7 第18回入学式（男80名 女78名）
14学級 教職員38
平7. 3. 20 第18回卒業式（男107名 女87名）
4. 7 第19回入学式（男100名 女98名）
14学級 教職員38
11. 8 文部省生徒指導総合推進校研究発表
会
平8. 3. 21 第19回卒業式（男88名 女103名）
4. 8 第20回入学式（男84名 女82名）
16学級 教職員40

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月	氏 名	年 月 ～ 年 月
古 川 豊	昭52.2.1～昭57.3.31	阿 部 忠 志	平2.4.1～平5.3.31
降 旗 経 雄	昭57.4.1～昭62.3.31	山 崎 妙 子	平5.4.1～現在
綿 引 正 己	昭62.4.1～平2.3.31		

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、広い視野に立って平和で民主的な人間に育成することを目指して、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科、各領域の調和とそれぞれの充実により、学習の基礎的・基本的内容の定着を図る。
- (2) 教育相談室の一層の活用を図り生徒と教師、生徒相互の理解を深め、一人一人を生かす指導を充実する。
- (3) 学校週五日制の拡大に伴い、指導内容の精選、指導方法の工夫に努め、現行の教育水準を維持する。
- (4) 健康・安全の指導を充実、体位、体力の向上に努めるとともに、集団の一員としての自覚ある態度を育てる。
- (5) 教育環境を整えるとともに、生徒の自主的・自治的能力の育成に努め、明るく生き生きした校風を確立する。
- (6) 保護者、地域と連携し、その役割を明確にし、一体感のある指導態勢を高め、社会の信頼に応える。

◆指導の重点

(1) 各教科

自ら学ぶ意欲を高める指導を推進する。そのために

- ア. 各教科、特に選択教科の指導内容の充実を図り、個性を重視した教育を推進する。
- イ. ティームティーチング、体験的な学習、地域の教材を生かした教育活動等を重視し、基礎基本の徹底に努める。
- ウ. 授業研究、授業公開を年間計画に具体的に位置づけ、教職員の研究意欲の高揚と、指導技術の向上、共有化を図る。

(2) 道徳

- ア. 人権尊重の精神を基本に据え、自他を尊重し、認め合い、支え合い、励ましあう態度の育成に努める。
- イ. 自然をいつくしむ心を育て、心の豊かさを培うとともに、環境改善に主体的に働きかける実践力を育てる。
- ウ. 郷土を愛する心、地域社会の一員としての自覚を育む指導に努める。

(3) 特別活動

- ア. 望ましい集団活動を育成し、自己実現をはかる能力の向上に努める。特に、生徒会活動、学級活動の活発化とともに、学年、学級単位の活動の創意工夫に努める。
- イ. 自主性、自律性の向上を目指す指導の推進に努める。そのために自己理解の深化、集団の一員としての自覚の高揚、進んで生活課題の解決に取り組む態度の育成に努める。
- ウ. 学校行事を体験的な学習の機会として生かし、個性、創造性の伸長に努める。

(4) その他の活動

- ア. 校舎外の美化活動を通して、連帯感や奉仕の心を育てる。
- イ. 生徒理解を一層深め、一人一人の心の居場所となる学級づくりを目指す。

ウ. 社会人講師の活用を積極的に推進し、社会性や広い視野に立った国際感覚を養う。

(5) 生活指導

評価の基準・方法を明確にし、主に次の事項を焦点化し、徹底する。

ア. 教育相談の手法を取り入れ、教師と生徒との心の触れ合いを深め、全教職員のまとまりのある指導を徹底する。

イ. 健康・安全についての理解を徹底し、規則正しい態度を身につけさせる。

ウ. 進んで協力し、責任を果たす態度を育てる。

エ. 集団生活のきまりを守り、明るい学校生活を送らせる。

オ. 余暇を有効に利用できるようにするため、地域との連携を一層深め主体的に行動できる態度を育てる。

(6) 進路指導

進路資料集「明日への展望」の活用を図りつつ、評価の基準方法を明確にし、主に次の事項の指導を徹底する。

ア. 3年間を見通した進路指導を整備し、適時、適切な指導を工夫する。

イ. 将来の希望や期待をもたせ、目標達成への意欲を高める。

ウ. 個性、能力の理解を深め、進路選択を適切に援助する。

5. 本年度の研究主題

平成6、7年度 文部省「生徒指導総合推進校」としての研究の継続、定着を図るべく、主題を「生徒理解の方法と実践」とし、評価の基準・方法を明確にしつつ、生徒理解の研究を深める。

6. 本校の特色

学校長の学校経営方針（安全、安心、安定）に基づき、全教職員の協力のもと、「見える学校、聞こえる学校、開かれた学校」を目指す。文部省の研究により、教職員の教育相談能力が高まり、生徒理解に立った指導が行きとどいている。地域との連携も深まり、極めて良好な協力関係ができています。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく、のびやかな雰囲気大切にしている。その中で自ら考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成を目指している。

7. その他（教職員の研究歴）

中 央 研 修	開 発 委 員	道 徳 助 言 研	研 究 員
石田 匡志(平6.)	深山 睦弘(61. 英語)	山崎 妙子(46.47年度)	稲積 裕之(63. 社会)
	稲積 裕之(平1. 社会)		
	磯部 博子(平6. 国語)		



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上4-17-1
電 話 0425-83-9755・9756・9696 FAX 0425-83-9696
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
生 徒 数 男351(5) 女318(4) 計669(9)
() 内 心障学級生徒数

校長氏名 谷 合 明 雄

教頭氏名 鈴 木 渉

1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校 教頭以下教職員37名発令
4. 8 第1回入学式 272(2)名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式挙行
8. 11 生徒標準服、校章・校旗制定
11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌発表会挙行
昭56. 3. 9 第一回卒業式挙行(244名)
昭56. 5. 9 第一回PTA総会開催
昭57. 8. 27 日野市姉妹都市、米国レッド・ランド市長本校を訪問
昭58. 3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、普通教室4完成
5. 18 学校給食開始
昭61. 12. 4 タイ国営テレビ本校取材
昭63. 2. 6 日本テレビ本校取材
4. 1 第2代 名塚三雄校長着任
平1. 8. 25 体育館改装工事完了
平2. 11. 10 創立十周年記念式典
平3. 9. 30 米国コロラド州York. Jr. Highschool, John. Dewey. Jr. Highschool, の2校と姉妹校提携書交換
平4. 2. 17 日野市教育委員会研究奨励校として「国際理解教育」学校・授業公開
4. 1 第3代 伴野博夫校長着任
7. 1 コンピューター室完成
11. 21 大坂上中地区育成会第一回総会
11. 28 校則改正臨時生徒総会開催
平7. 4. 1 第4代 谷合明雄校長着任
8. 3. 18 教育相談室完成

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	長 谷 川 辰 美	昭55.2.1～昭63.3.31
2	名 塚 三 雄	昭63.4.1～平4.3.31
3	伴 野 博 夫	平4.4.1～平7.3.31
4	谷 合 明 雄	平7.4.1～

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向上しつづける人になろう。

- ① よく考え、進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心もち、他につくそう(敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう(健全)

* 本年度は、②を重点目標とする。

特殊学級の教育目標

- ① 自分で考え、判断し、自主的に行動する生徒を育成する。
- ② 生徒が楽しく、意欲的に授業に参加できるよう指導内容・指導法の工夫・改善に努める。特に、個に応じた指導を徹底する。
- ③ 生活に密着した教材を提供することにより実践的な学力が身に付くよう、教材研究に努めるとともに、教室や活動場所の環境設定を工夫する。
- ④ 生徒が通常の学級の活動に積極的に参加し、多くの友達が作れるよう交流の機会と場を工夫する。

- ⑤ 生徒が自分自身をしっかりとみつめ、自己の良さを伸長できるよう援助助言に努める。特に、表現力や感性を磨くための行事や活動の工夫・改善に努める。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ① 授業規律の確立を図るとともに、具体物の制作や操作を主体とした学習活動、小集団による創造的、協力的活動を準備し、生徒の興味、関心、意欲を引き出す授業を展開する。その際、地域の自然や文化、歴史的事象の教材化にも配慮するようにする。
- ② 外国語科（英語）及び数学科でチームティーチングを採用入れ、生徒一人一人の個性や能力に応じたきめ細かな指導を推進し、基礎学力の定着を図る。
- ③ 学習に遅れがちな生徒への指導、個に対応した選択教科の内容・方法の検討など、生徒一人一人の実態に即した指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。
- ④ 芸術教科においては、生徒の創造的な活動を重視し、豊かな心と感性を培う。
- ⑤ コンピュータ設備や学校図書館の効果的な活動を図るなどして情報教育を充実し、生徒の選択能力を伸長するとともに、さまざまな情報を主体的に選択・処理・活用していく能力の育成を図る。

イ 道徳

- ① 人権尊重の精神を徹底し、互いを認め合い、思いやる態度の育成を図る。
- ② 生徒の精神的な自立を援助し、事の善悪を正しく判断できる能力及び態度の育成を図る。
- ③ 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- ④ 生徒のよりよく生きたいとの関心に応え、学校の全教育活動をととして生き方教育を充実させる。
- ⑤ 道徳の指導計画を整備するとともに、道徳の時間の確保に努める。

ウ 特別活動

- ① 主体的な実践活動を充実し、生徒の自主性や協調性を育て、豊かで創造的な学校生活を構築する。
- ② 体験的な学校行事をととして社会性を培い、豊かな感動や充実感を得させる。
- ③ 歌声の響く学校づくりをととして、豊かな心と瑞々しい感性を養う。
- ④ 部活動（クラブ活動）の活性化や地域スポーツとの積極的な関連を図りながら、生涯体育の基礎づくりを推進する。
- ⑤ 心身障害学級との交流活動をととして、心障理解教育を推進する。

(2) その他の活動

ア 教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、受容的な雰囲気づくりを進めるとともに、学校生活に変化と潤いを与えるものとして、学年・学級の諸活動の充実を図る。

イ 落ち着きと潤いのある教育環境の実現のため、清掃・美化指導を徹底させる。

ウ 委員会や学級の係活動を組織的・計画的に行うとともに、リサイクル運動を強力に展開し、環境に配慮した望ましい行動のとれる生徒の育成を図る。

エ 各種委員会等の活動を活性化し、一人一人を生かす教育の充実を図る。

オ 外国人講師を招聘しての交流活動をととして、国際理解教育の推進を図る。

カ 地域の社会人講師を招聘しその生き方に学ぶ会を設定することにより、生徒の視野を広げ、生活感覚を深め、もって進路指導の一助とする。

キ 地区育成会や自治会との連携のもとに、施設・設備や地域の人材の活用を図り、地域に開かれた教育経営を展開する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 生徒一人一人の自尊感情を高め、自らの生活は自ら律することの出来る態度と能力の育成を図る。
- ② 規律ある学校生活の実現のため、約束や規則を守る態度と基本的な生活習慣の育成に努める。
- ③ 言語に対する意識や関心を高め、時と場に応じた適切な言動ができるようにする。
- ④ 生徒一人一人との対話を重視し、生徒が納得する指導に努める。
- ⑤ 教育心理やカウンセリングの技法の研修を進め、学校教育相談についての理解を深めるとともに、教

育相談室を活用し生徒一人一人の不安や悩みの解消に努める。

- ⑥ 指導すべき内容と方法について職員間で十分に共通理解を深め、学年や学級の枠を超えて一貫した指導ができるような指導体制の整備・充実を図る。
- ⑦ 不登校や登校拒否生徒への対応については、関係諸機関との相談や連携を図りつつ家庭や保護者と一体となった指導を展開し、問題の解消に努める。

イ 進路指導

- ① 生徒が自己理解を深め、自己の能力と適性を伸長し、広い視野と確かな目的意識をもって将来の進路を選択できるようきめの細かい援助・助言に努める。
- ② 生涯に渡ってたくましく、意欲的に生き抜く力を育てるために、小学校の指導の延長のもとに3年間を見通した系統的、発展的な指導を展開する。
- ③ 外国人留学生や社会人講師との啓発的交流活動をととして、自己の在り方・生き方に対する認識を深めさせるようにする。
- ④ 生徒の能力や適性、進路希望等に基づいて適切な進路選択ができるよう、進路指導計画の整備を図るとともに、指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。

6. 本年度の研究主題

生き生きと魅力ある学校をめざして—— 一人一人の生徒に目を向けた指導 ——

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校14年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる榎がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

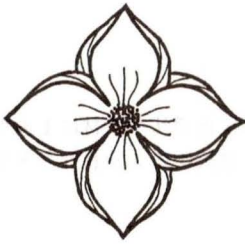
また本校は心身障害学級設置校であり、交流学习等教育内容の充実にも努めている。幸いにして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成六年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備するとともに、家庭・地域との一層の連携を推進していく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心を持ち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1	谷 合 明 雄 (50. 道德)	鈴 木 渉 (59. 音楽)		佐 藤 至 正 (59. 進路中央研)
2	田 熊 裕 (49. 数学)	佐 藤 至 正 (60. 技術)		鈴 木 渉 (H元. 道德助言)
3	渡 辺 やす子 (H 3. 家庭科)	成 瀬 誠 (60. 特活)		谷 合 明 雄 (61. H元 指導要領改訂)
4	宇田川 修 (H 4. 心障)	木 嶋 健 (62. 社会)		谷 合 明 雄 (4~6 道德 資料作成協力委)
5		山 田 よし子 (H元 音楽)		
6		高橋 陽子 (H 4. 美術)		



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 0425-93-3015
順 路 J R中央線豊田駅下車 徒歩18分
京王線 南平駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男190名 女175名 計365名

校長氏名 中 根 勉

教頭氏名 中 野 秀 樹

1. 沿革の概要

- 昭55. 6. 14 校舎建設工事着工
昭56. 2. 1 初代校長 河野 寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭29名 主査1名 市職員11名着任
4. 7 第一回入学式挙行（男子137名 女子140名 計277名 7学級）
5. 6 市内中学校最初の完全給食開始
5. 27 プール完成
8. 21 体育館完成
12. 25 校旗完成
昭57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
昭58. 1. 24 平山中PTA規約成立
4. 1 第二代校長 川崎 昭三着任
昭61. 4. 1 第三代校長 高木 宏文着任
平成 8. 31 図書室（四階）の改修完了
平3. 4. 1 第四代校長 北原 景昭着任
11. 9 10周年記念式典
平4. 4. 13 食堂建設工事完了
平5. 4. 26 パソコン室工事完了
平6. 4. 1 第五代校長 中根 勉着任
平6. 9. 1 下水道工事完了

2. 歴代校長

氏 名	在 職 期 間
河 野 寿 忠	昭56.2.1～昭58.3.31
川 崎 昭 三	昭58.4.1～昭61.3.31
高 木 宏 文	昭61.4.1～平3.3.31
北 原 景 昭	平3.4.1～平6.3.31
中 根 勉	平6.4.1～現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北部に開けた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先を京王線が走り、校舎北側は、堤防道路を隔てて浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境に恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴い、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増がみられたが生徒数は昭和62年度を峠に漸減に向かっている。

保護者の教育への関心は極めて高い。

4. 教育目標

本校は、憲法・教育基本法の示すところに従い、学力・体力の基礎とゆたかな情操を身につけることを教育の基本とし、生涯を通じて学び続ける人間を育てることを目標とする。

1. 考え、工夫する人

1. 協力し、進んで働く人

1. 自然や人々を、大切にする人

1. 心身を鍛え、やりぬく人

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・教育内容を精選し、わかりやすく、楽しい学習を展開し、個性を伸ばす指導法や教材に工夫をこらす。
- ・教育機器や学校図書館の活用を通し、生徒が積極的に主体的に情報を選択する力を養うとともに、機器操作の基本を学ぶ機会を通し、情報社会への適応能力を高める。
- ・地域の自然、文化を教材や教育活動に取り入れる。
- ・基礎学力の充実を図り、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。
- ・体験学習を通し情操教育を充実させ豊かな感性を養う。
- ・地域への教育への期待にこたえ、かつ基礎・基本の充実を図る観点から、第2学年の音楽、美術、第3学年の社会、理科、技術・家庭は上限の時数で実施する。また、外国語（英語）は、1年、2年、3年とも1時間を学校選択として履修する。

イ. 道徳

- ・温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心情の育成を図る。
- ・ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇気をもって実践する態度を養う。
- ・全教育活動を通して、人間としての生き方についての自覚を深め道徳実践力を育成する。

ウ. 特別活動

- ・生徒会・クラブ・部活動・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯感の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- ・1年野外活動・2年スキー教室・3年修学旅行などを実施し、各学年の発達段階に応じた協力・思いやり・責任感等の心を育てるとともに、物事を計画的・組織的に進める能力や態度を養う。

(2) その他の活動

- ・（一人一人の能力や個性を生かす）教育相談・個人面談・進路相談の実施をおしすすめる。
- ・基礎的な学力を身につけるための自主活動、補充学習、質問教室など計画的にすすめる。
- ・生徒会活動を通じて、浅川の清掃活動やリサイクル活動などボランティア活動を積極的にすすめる。また、地域の福祉施設との交流を深める。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒が主体的に運営する集会活動などを計画的に実践し、望ましい生活集団や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- ・個人面談、教育相談などを通して、生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、豊かな人間関係を育てる。
- ・全教職員が一致して指導する体制をつくって、問題傾向には早期に対応策を構じ、家庭や関係諸機関との連携を密にして、全生徒の健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- ・個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、3年間を見通した計画的、系統的な指導を実施する。

6. 本年度の研究主題

「生徒理解を深めるための指導法の工夫」

7. 本校の特色

生徒一人一人の個性を尊重し、生徒一人一人を大切にする教育を基本としている。

- 生徒が自信と誇りを持って生き生きと学んでいる学校
- 生徒のために力一杯やろうとする教師のいる学校

○生徒を取り巻く教育環境のよい、活気に満ちた学校

8. 教職員の研究歴

No	内訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1		中 根 勉 (56.教育課程)	中 根 勉 (62. 社会)	坂 井 悦 子 (元. 理科)	中 根 勉 (63. 海外派遣)
2		中 野 秀 樹 (61. 社会)	中 嶋 建一郎 (8. 特別活動)	中 野 秀 樹 (平 3. 社会)	

